

平成 26 年度
第 3 期鶴見区地域福祉保健計画
区民アンケート調査

調査結果報告書

平成 27 年 1 月

横浜市鶴見区

平成 26 年度 第 3 期鶴見区地域福祉保健計画区民アンケート調査

***** 目 次 *****

I. 調査概要	1
II. 回答者の属性	1
III. 集計及び分析結果	
第 1 章 単純集計	
「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」について	問 1.....4
「民生委員・児童委員」「地区社会福祉協議会」「地域ケアプラザ」について	問 2-1~2-3.....4
鶴見区への愛着について	問 3-1~3-3.....5
近隣とのかかわり具合について	問 4-1~4-4.....7
地域活動への参加状況について	問 5-1~5-5.....8
地域の活動に関する情報の入手方法について	問 6.....10
地域での必要な支援について	問 7-1~7-3.....11
あなたの健康などについて	問 8-1~8-9.....12
第 2 章 クロス集計	
「あいねっと」の認知度について16
「民生委員・児童委員」の認知度19
「地区社会福祉協議会」の認知度20
「地域ケアプラザ」の認知度21
鶴見区への愛着22
近隣との関わり27
近隣との希望する関わり35
日ごろからの関係づくりのために必要なこと37
地域活動の参加状況38
地域活動に参加したきっかけ47
活動して良かったと思うこと48
地域の活動に関する情報収集方法49
近所で手伝いをしてもらいたいこと50
近所の困っている人にできる手伝い52
住みやすくなるために、今後充実するとよいこと55
健康について63

I. 調査概要

調査対象	住民基本台帳から、鶴見区内に在住する満20歳以上の方2,000人を外国人を含めて無作為抽出
調査期間	平成26年9月～10月
調査方法	郵送配布・郵送回収法によるアンケート調査
回答方法	無記名、選択式（一部記入式）
集計方法	単純集計及びクロス集計
回収状況	調査票発送数：2,000件 回収数：992件（回収率49.6%）

II. 回答者の属性

*四捨五入しているため、割合の合計（全体）は100%にならない場合があります。

性 別	男性：40.7%	女性：56.7%	無回答：2.6%
年 齢	20～29歳：8.5%	30～39歳：16.0%	40～49歳：18.4%
	50～59歳：14.6%	60～69歳：18.4%	70～79歳：14.5%
	80歳以上：7.0%	無回答：2.5%	
居住年数	3年未満		: 11.1%
	3年以上5年未満		: 6.3%
	5年以上10年未満		: 8.7%
	10年以上20年未満		: 18.2%
	20年以上		: 52.8%
	無回答		: 8.8%
居住形態	持ち家（一戸建て）		: 45.3%
	持ち家（分譲マンション、共同住宅）		: 28.3%
	借家（一戸建て）		: 1.9%
	借家（賃貸マンション、アパート、共同住宅）		: 18.3%
	社宅、寮、公務員住宅等		: 2.2%
	その他		: 1.1%
	無回答		: 2.8%

自治会・町内会 加入の有無	している : 73.5% していない : 23.2% 無回答 : 3.3%
世帯構成	ひとり暮らし : 14.2% 夫婦だけ : 24.2% 親と子 (2世代) : 49.4% 親と子と孫 (3世代) : 8.5% その他 : 0.7% 無回答 : 3.0%
就業状況	正社員・正規職員 (会社役員を含む) : 28.7% 自営業 (商店経営、農業、開業医など) : 4.5% 契約社員・嘱託社員・派遣社員 : 7.2% パート・アルバイト : 16.4% 学生 : 1.3% 専業主婦・主夫 : 16.4% 無職 : 20.1% その他 : 1.9% 無回答 : 3.4%
居住地区 居住地区	<u>あ行</u> 朝日町一丁目 : 0.4% 朝日町二丁目 : 0.5% 安善町一丁目 : 0.0% 安善町二丁目 : 0.0% 市場上町 : 0.8% 市場下町 : 1.1% 市場西中町 : 0.5% 市場東中町 : 0.4% 市場富士見町 : 0.5% 市場大和町 : 0.7% 潮田町一丁目 : 0.5% 潮田町二丁目 : 0.3% 潮田町三丁目 : 0.3% 潮田町四丁目 : 0.4% 江ヶ崎町 : 1.4% 扇島 : 0.0% 小野町 : 1.1% <u>か行</u> 梶山一丁目 : 0.7% 梶山二丁目 : 0.8% 上末吉一丁目 : 0.5% 上末吉二丁目 : 1.1% 上末吉三丁目 : 0.5% 上末吉四丁目 : 0.3% 上末吉五丁目 : 0.8% 上の宮一丁目 : 1.9% 上の宮二丁目 : 0.8% 寛政町 : 0.6% 岸谷一丁目 : 0.7% 岸谷二丁目 : 0.7% 岸谷三丁目 : 1.9% 岸谷四丁目 : 0.9% 北寺尾一丁目 : 0.8% 北寺尾二丁目 : 0.4% 北寺尾三丁目 : 0.6% 北寺尾四丁目 : 0.6% 北寺尾五丁目 : 0.7% 北寺尾六丁目 : 1.6% 北寺尾七丁目 : 1.1% 駒岡一丁目 : 0.9% 駒岡二丁目 : 0.3% 駒岡三丁目 : 1.3% 駒岡四丁目 : 2.0% 駒岡五丁目 : 0.5%

さ行

栄町通一丁目：0.3% 栄町通二丁目：0.4% 栄町通三丁目：0.4%
栄町通四丁目：0.3% 汐入町一丁目：0.4% 汐入町二丁目：0.1%
汐入町三丁目：0.1% 獅子ヶ谷一丁目：1.2% 獅子ヶ谷二丁目：0.7%
獅子ヶ谷三丁目：0.0% 下野谷町一丁目：0.3% 下野谷町二丁目：0.2%
下野谷町三丁目：0.1% 下野谷町四丁目：0.3% 尻手一丁目：1.6%
尻手二丁目：0.5% 尻手三丁目：1.3% 下末吉一丁目：0.8%
下末吉二丁目：0.6% 下末吉三丁目：0.3% 下末吉四丁目：0.5%
下末吉五丁目：1.6% 下末吉六丁目：0.5% 末広町一丁目：0.0%
末広町二丁目：0.1% 菅沢町：0.5% 諏訪坂：0.7%

た行

大黒町：0.1% 大黒ふ頭：0.0% 大東町：0.6%
佃野町：1.5% 鶴見一丁目：1.1% 鶴見二丁目：0.3%
鶴見中央一丁目：1.0% 鶴見中央二丁目：1.2% 鶴見中央三丁目：2.0%
鶴見中央四丁目：0.8% 鶴見中央五丁目：1.1% 寺谷一丁目：1.1%
寺谷二丁目：0.7% 豊岡町：1.2%

な行

仲通一丁目：0.2% 仲通二丁目：0.5% 仲通三丁目：0.2%
生麦一丁目：0.4% 生麦二丁目：0.0% 生麦三丁目：0.6%
生麦四丁目：1.3% 生麦五丁目：1.1%

は行

馬場一丁目：0.2% 馬場二丁目：0.5% 馬場三丁目：0.9%
馬場四丁目：1.5% 馬場五丁目：1.0% 馬場六丁目：0.7%
馬場七丁目：0.6% 浜町一丁目：0.1% 浜町二丁目：0.2%
東寺尾一丁目：2.0% 東寺尾二丁目：0.9% 東寺尾三丁目：1.5%
東寺尾四丁目：0.3% 東寺尾五丁目：1.2% 東寺尾六丁目：1.3%
東寺尾北台：0.7% 東寺尾中台：1.4% 東寺尾東台：1.4%
平安町一丁目：1.2% 平安町二丁目：1.1% 弁天町：0.0%
本町通一丁目：0.4% 本町通二丁目：0.3% 本町通三丁目：0.3%
本町通四丁目：0.2%

ま行

向井町一丁目：0.4% 向井町二丁目：0.3% 向井町三丁目：0.1%
向井町四丁目：0.1% 元宮一丁目：0.4% 元宮二丁目：0.1%

や行

矢向一丁目：1.7% 矢向二丁目：0.1% 矢向三丁目：1.4%
矢向四丁目：1.0% 矢向五丁目：0.8% 矢向六丁目：0.4%

無回答：9.9%

Ⅲ. 集計及び分析結果

第1章 単純集計

鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」について

問1 あなたは「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」を知っていますか？

（○はひとつだけ）

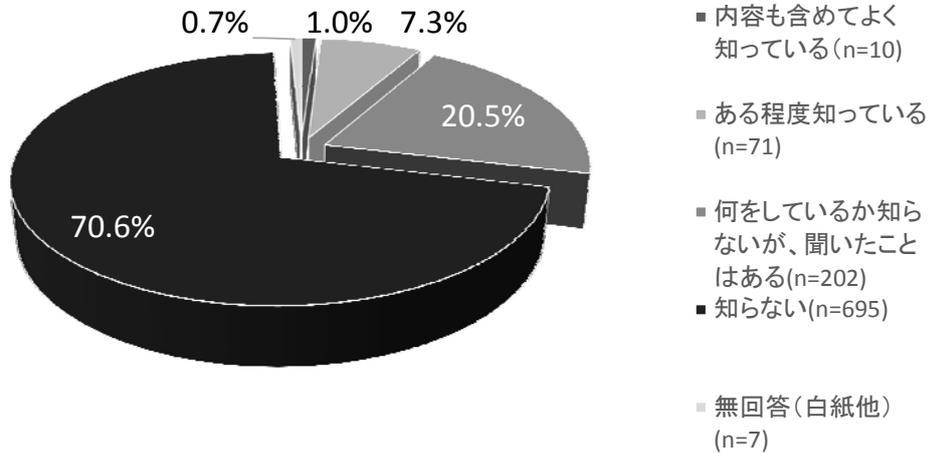


図1. 「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」の認知度

「民生委員・児童委員」「地区社会福祉協議会」「地域ケアプラザ」について

問2-1 あなたは「民生委員・児童委員」を知っていますか？（○はひとつだけ）

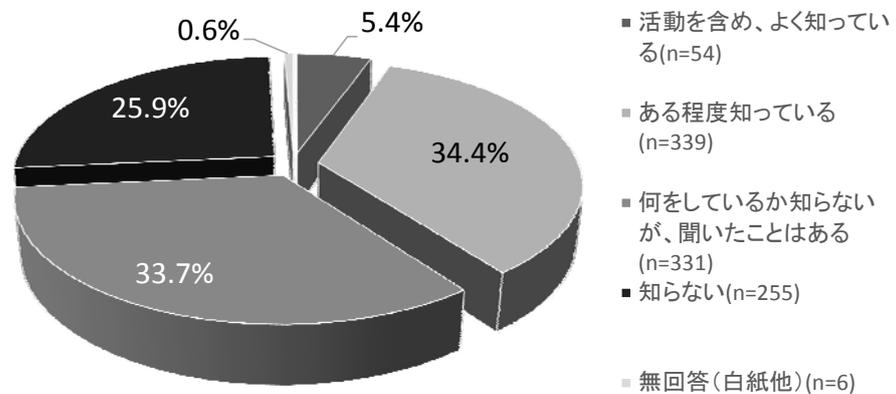


図2-1. 「民生委員・児童委員」の認知度

問2-2 あなたは「地区社会福祉協議会」を知っていますか？（○はひとつだけ）

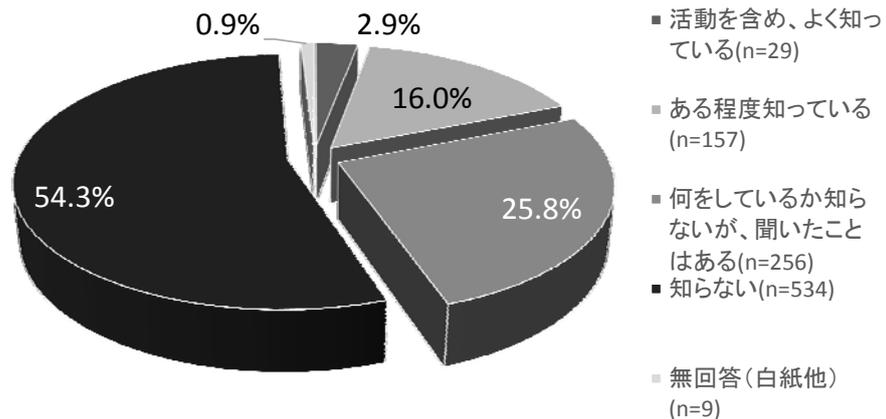


図2-2. 「地区社会福祉協議会」の認知度

問2-3 あなたは「地域ケアプラザ」を知っていますか？（○はひとつだけ）

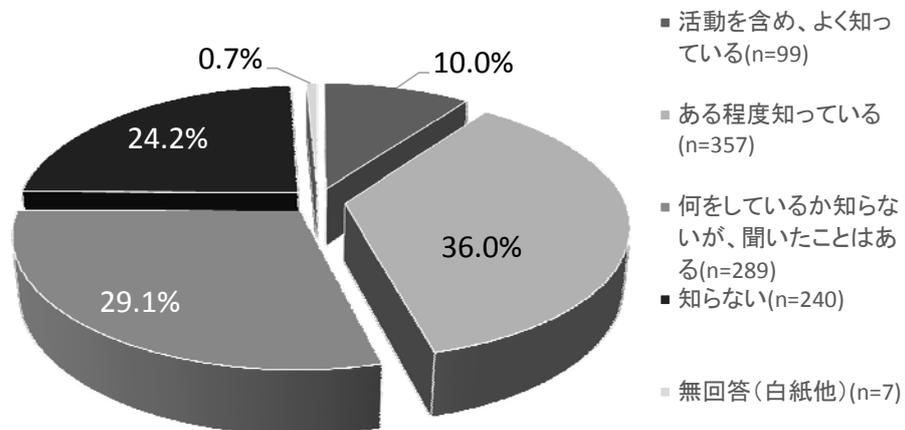


図2-3. 「地域ケアプラザ」の認知度

鶴見区への愛着について

問3-1 あなたは鶴見区に愛着を感じていますか？（○はひとつだけ）

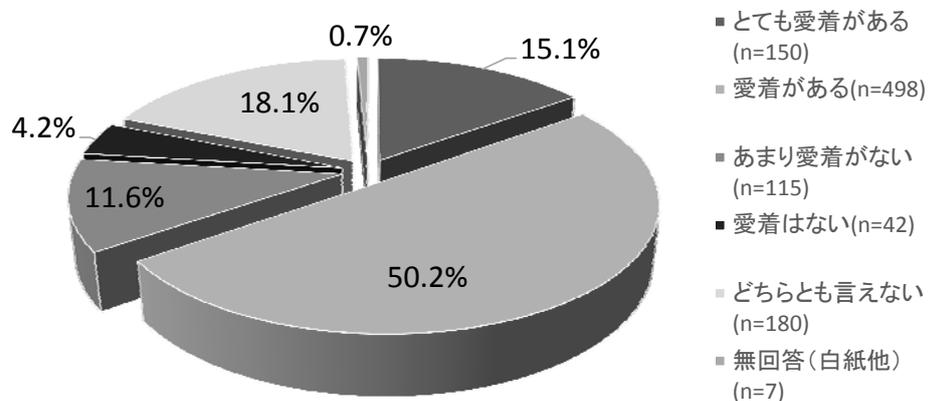


図3-1. 鶴見区への愛着

問3-2 あなたは現在お住まいの地域に、これからも住み続けたいと思いますか？
(〇はひとつだけ)

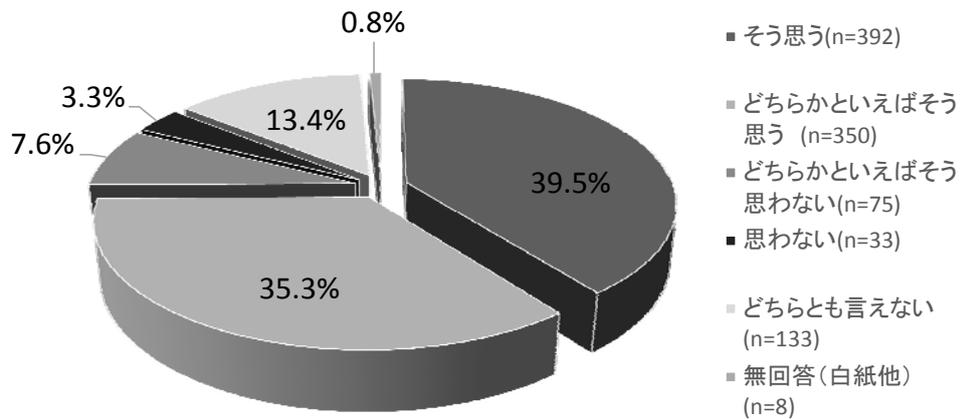


図3-2. 「継続居住」を希望する率

問3-2で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を選択した人に伺います。

問3-3 そう思う理由は何ですか？(〇はいくつでも)

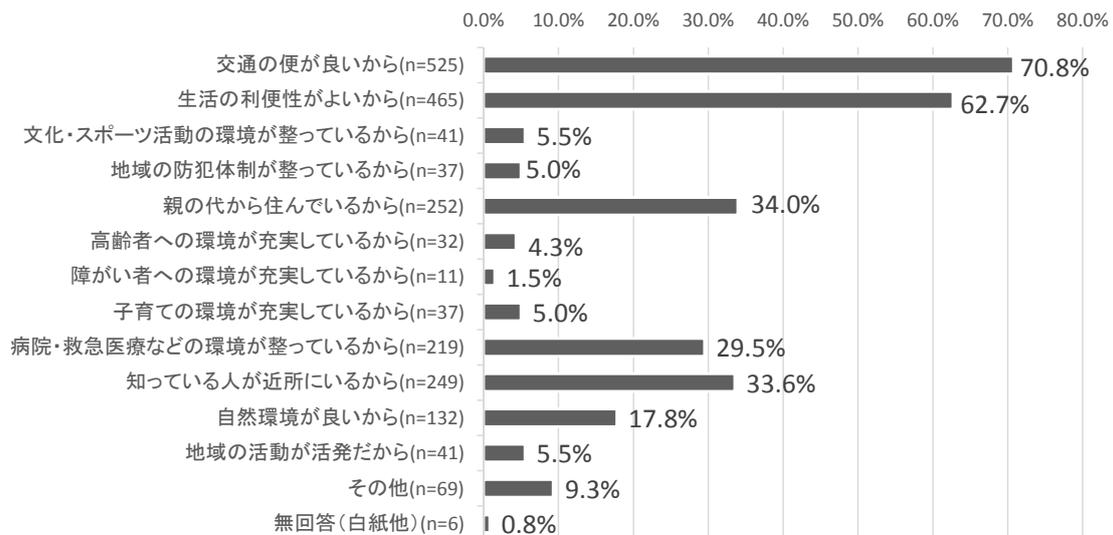


図3-3. 「継続居住」を希望する理由

近隣との関わり具合について

問4-1 あなたは日頃、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか？

(○はひとつだけ)

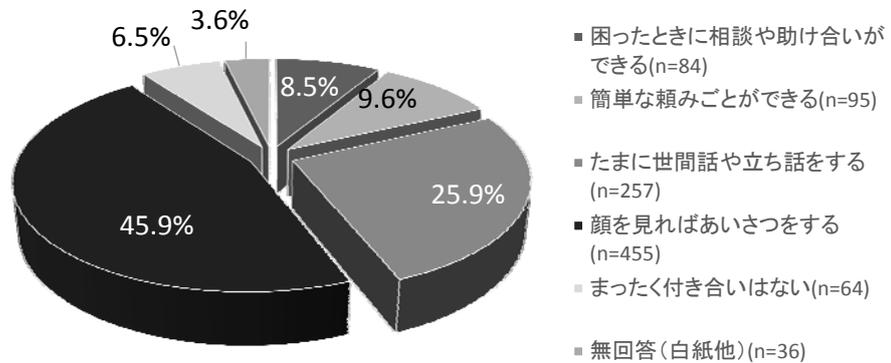


図4-1. 近隣との関わり具合

問4-2 あなたは日頃、近所の人とどの程度の付き合いを望みますか？

(○はひとつだけ)

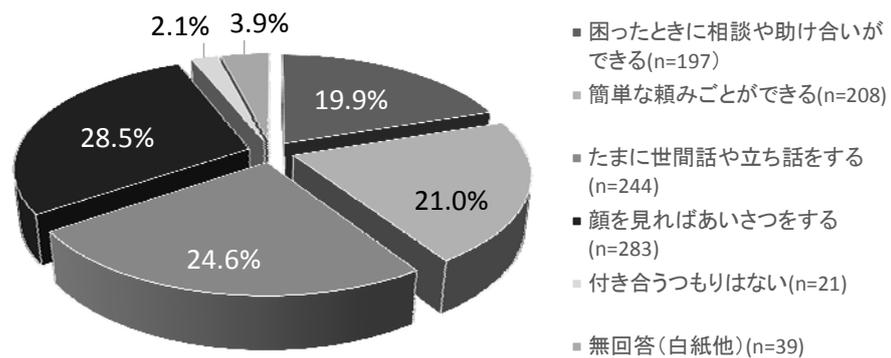


図4-2. 希望する近隣との関わり具合

問4-3 災害時に地域での助け合いが行われるためには、日頃からの地域での顔の見える関係が築けていることが必要だと思いますか？ (○はひとつだけ)

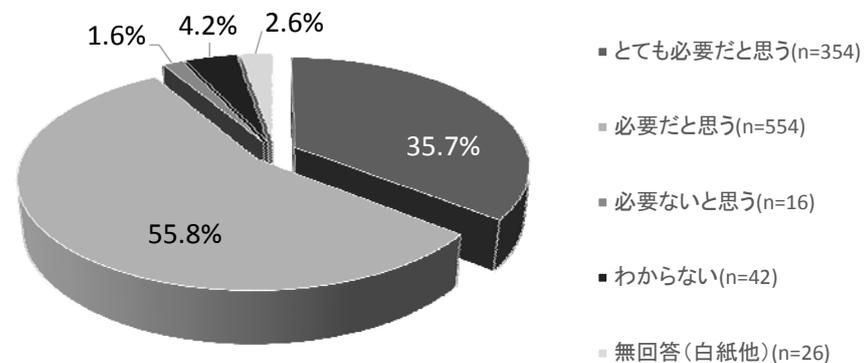


図4-3. 災害時に必要と考える地域の関係

問4—4 日頃からお互いの関係づくりができるためには、どのようなことが必要だと思いますか？（〇はいくつでも）

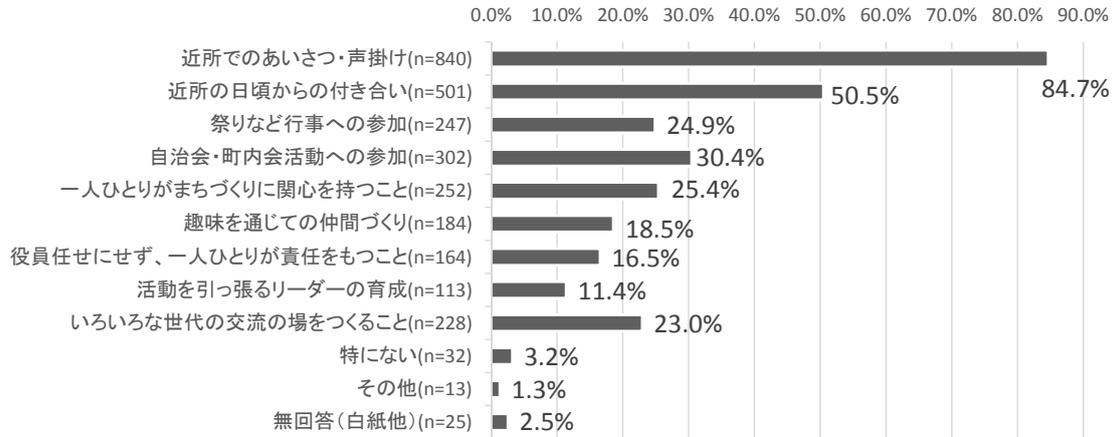


図4-4. 地域の関係づくりに必要だと考えること

地域活動への参加状況について

問5—1 あなたはご近所や区内で行われている次のような活動に参加していますか？（各項目に〇はひとつだけ）

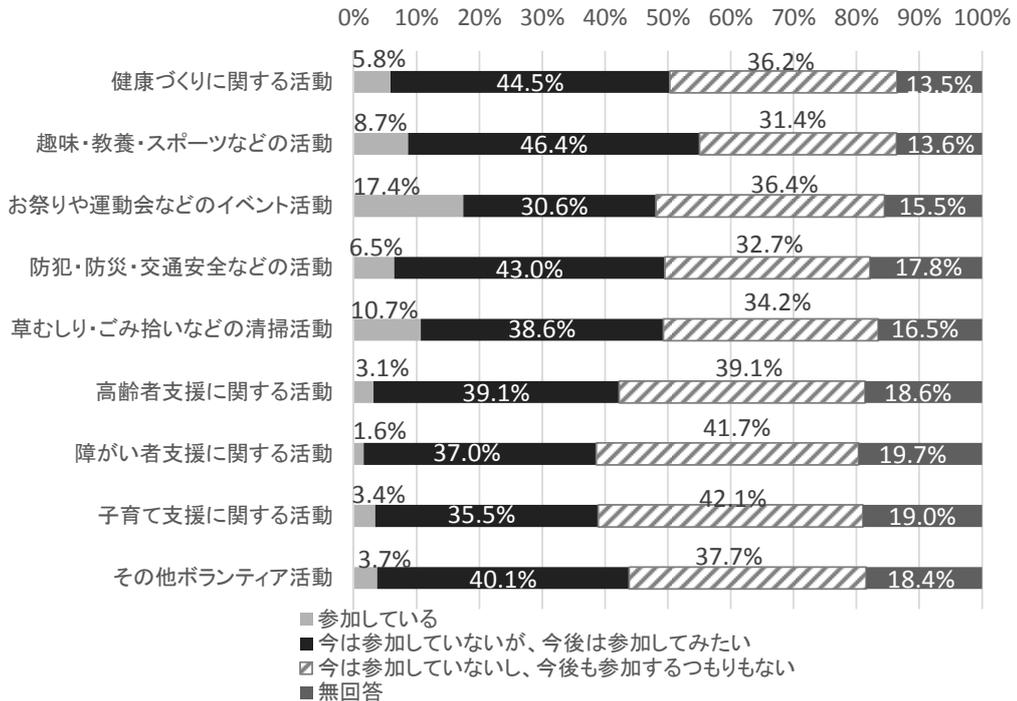


図5-1. 地域活動への参加率

問5-1で「1. 参加している」をひとつでも選択した人に伺います。

問5-2 活動に参加したきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

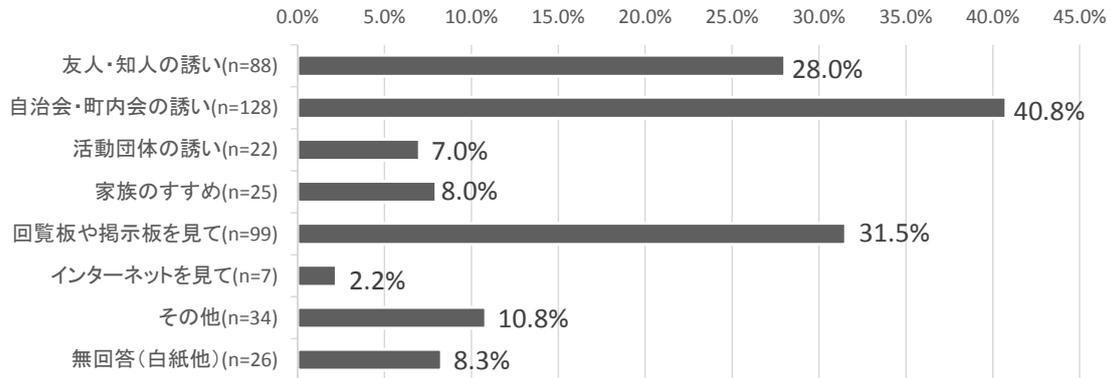


図5-2. 地域活動に参加したきっかけ

問5-3 活動に参加してよかったと思うことは何ですか？（〇はいくつでも）

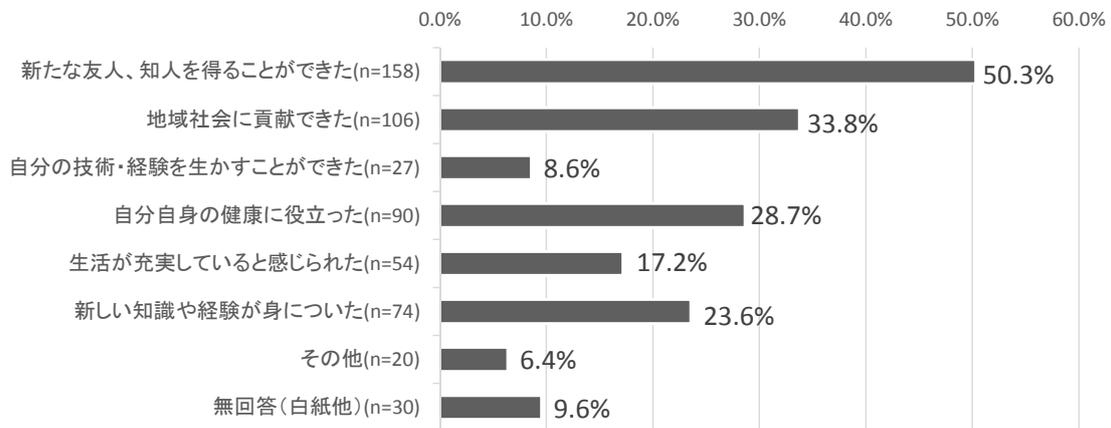


図5-3. 地域活動に参加した感想

問5-1で「2. 今は参加していないが、今後は参加してみたい」をひとつでも選択した人に伺います。

問5-4 活動に参加するときどのようなことを期待しますか？（〇はいくつでも）

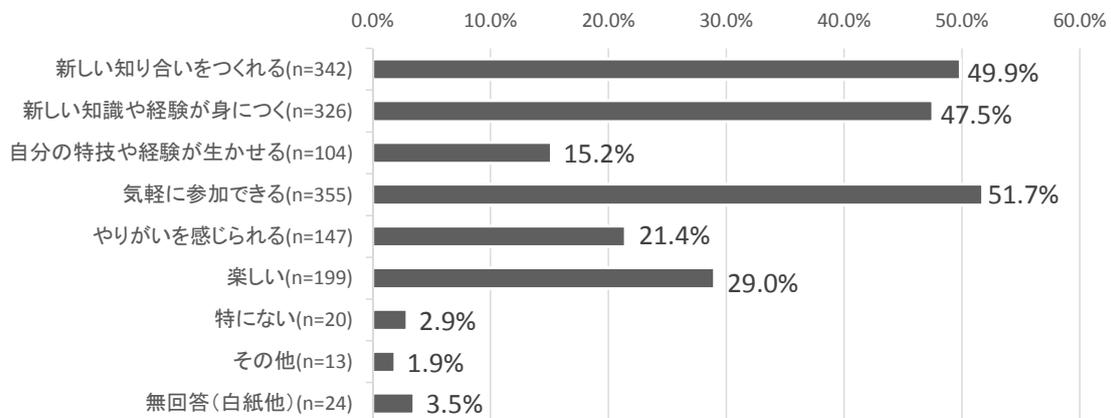


図5-4. 地域活動に対する期待

問5—5 どのような状況であれば活動に参加しやすいですか？（〇はいくつでも）

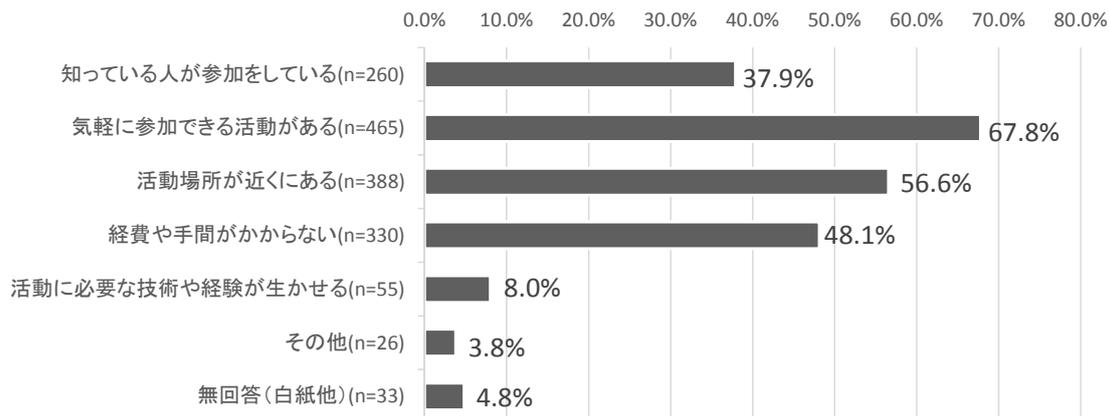


図5-5. 地域活動に参加しやすい条件

地域の活動に関する情報の入手方法について

問6 あなたは地域の活動に関する情報をどこから得ていますか？（〇はいくつでも）

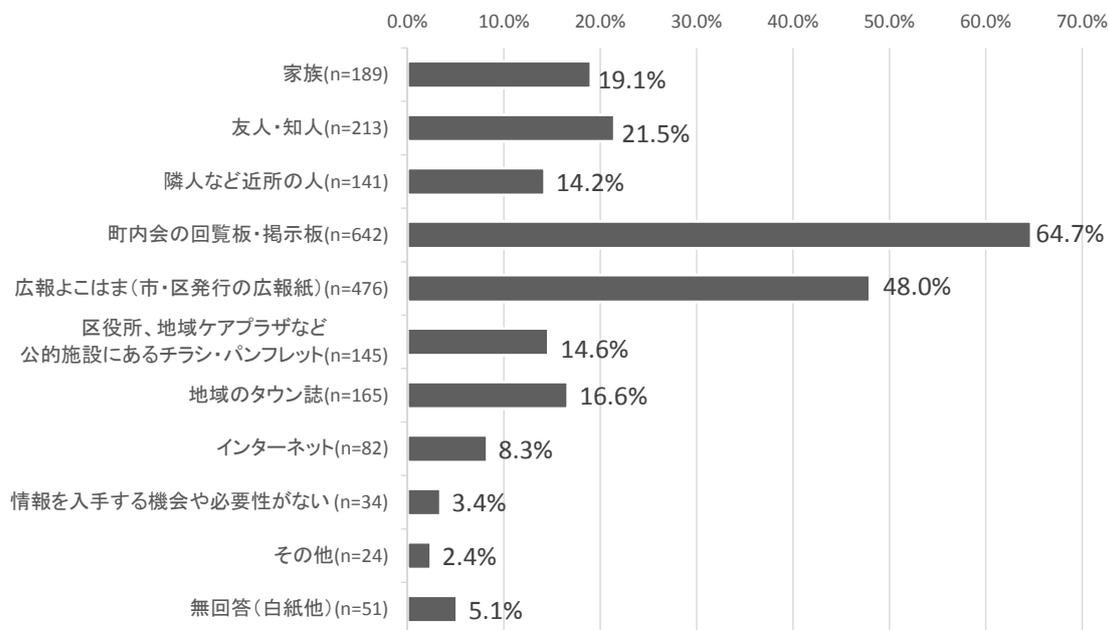


図6. 地域活動の情報入手先

地域での必要な支援について

問7-1 あなたは近所で手伝いをしてもらいたいことはありますか？（〇はいくつでも）

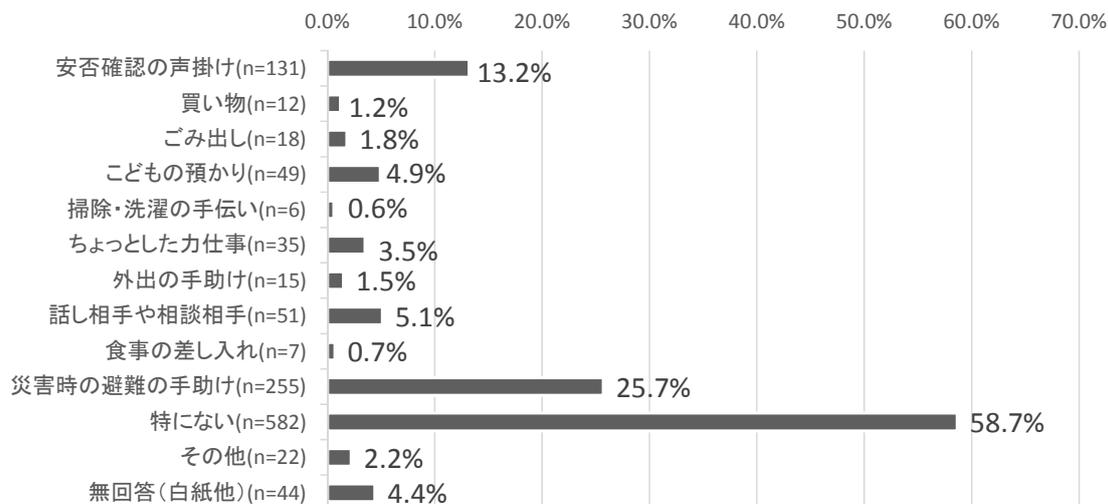


図7-1. 自分が希望する支援活動

問7-2 あなたは近所の困っている人にどのような手伝いができると思いますか？（〇はいくつでも）

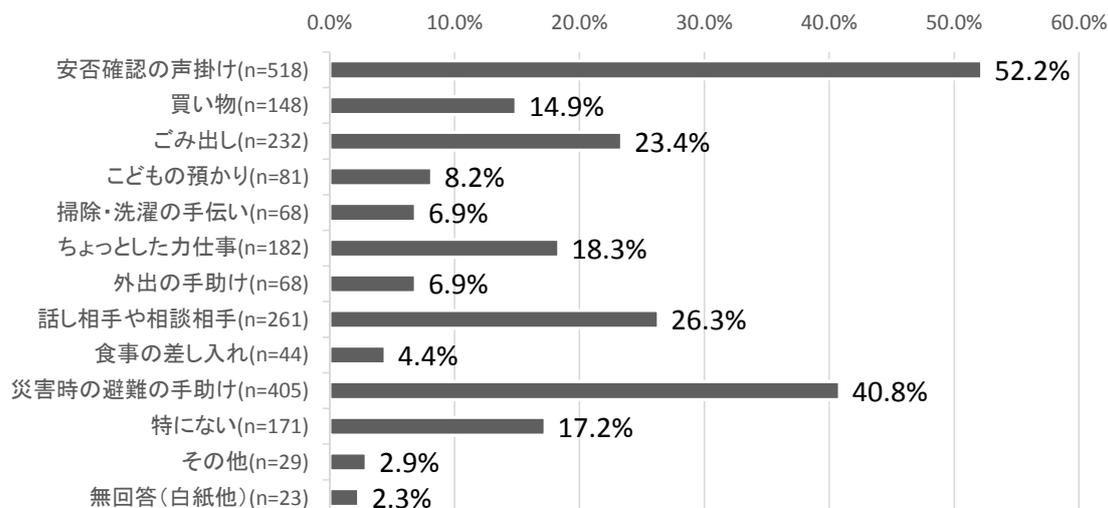


図7-2. 自分ができる支援活動

問7—3 お住まいの地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後充実するとよいと思いますか？（〇は5つまで）

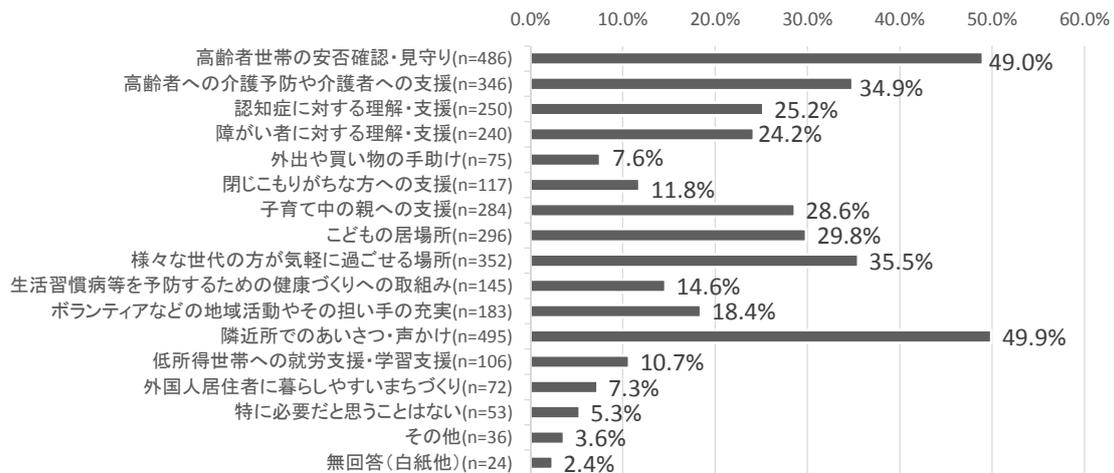


図7-3. 地域の充実のために必要と考えること

あなたの健康などについて

問8—1 あなたはご自身のことを健康だと思えますか？（〇はひとつだけ）

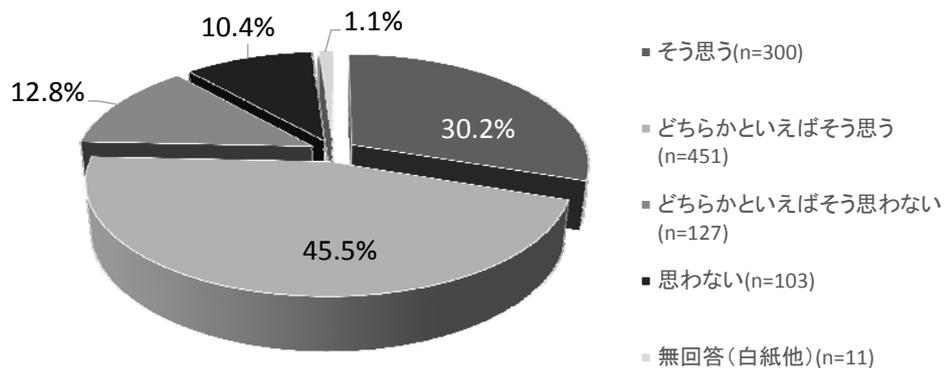


図8-1. 健康状態

問8—2 あなたはどの程度の頻度で、ご自分の健康のために意識して、からだを動かしたり運動したりしていますか？（〇はひとつだけ）

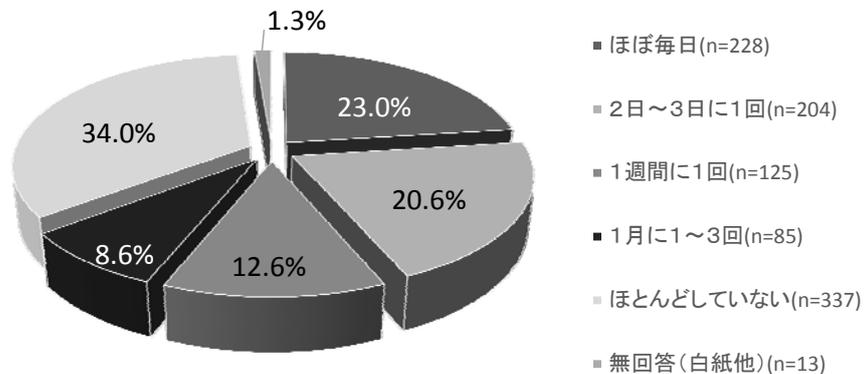


図8-2. 自身の健康のための運動の程度

問8—3 あなたは過去1年間に一般的な健康診断を受診されましたか？（〇はひとつだけ）
※一般的な健康診断・・・身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査など基本的な項目を含む健康診断

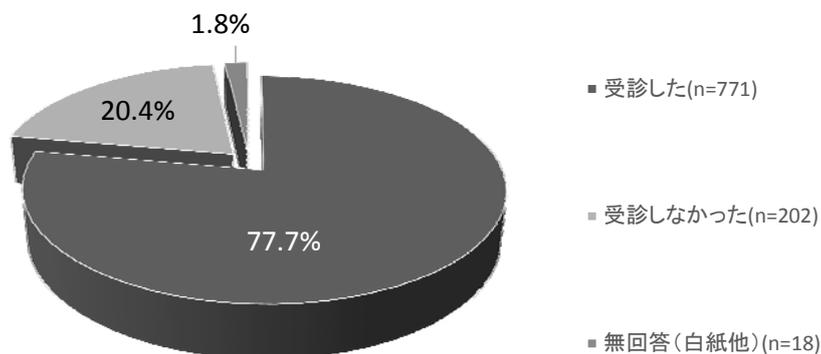


図8-3. 健康診断の受診率

問8—3で「2. 受診しなかった」と選択した人に伺います。

問8—4 あなたが受診されなかった理由は何ですか？（〇はいくつでも）

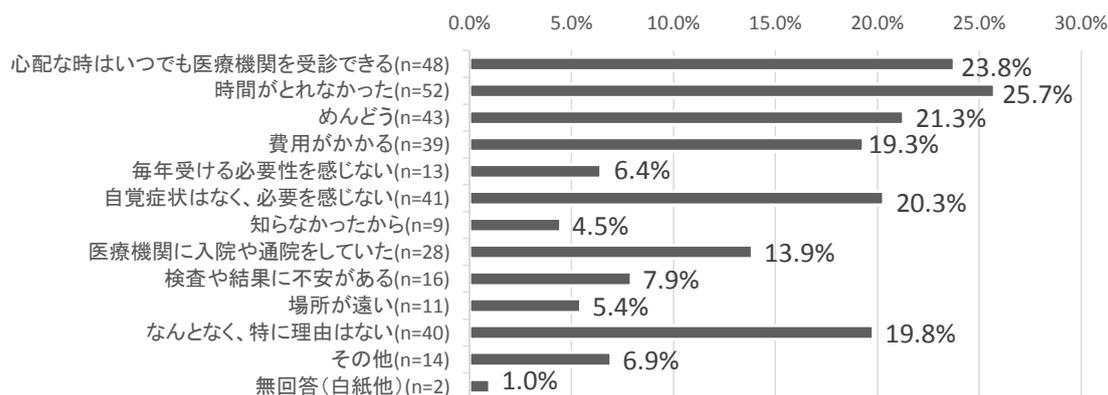


図8-4. 健康診断を受診しなかった理由

以下は、全員の方に伺います。

問8—5 あなたが健康診断を受ける上で必要なことは何ですか？（〇はいくつでも）

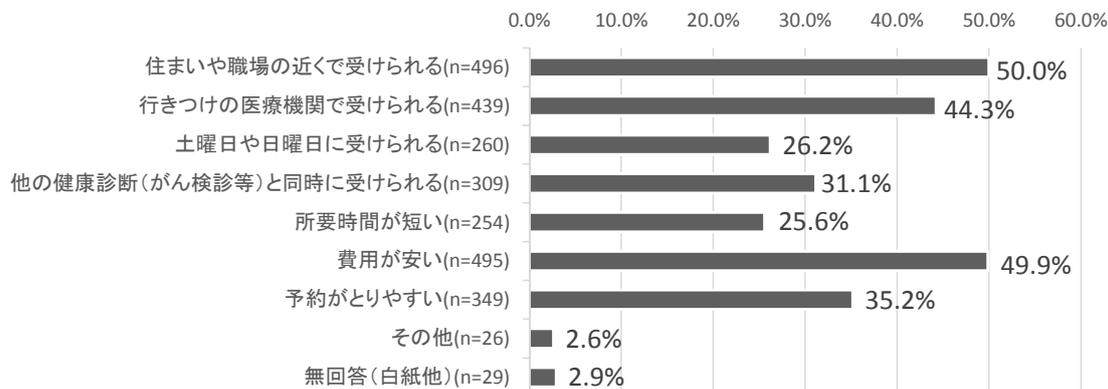


図8-5. 健康診断受診のために必要なこと

問8-6 あなたが健康行動（例 健診を受ける、食事に気をつける、体を動かすよう心がける）をとる際に、周囲のどなたからの声かけや助言が影響していますか？
 (〇はいくつでも)

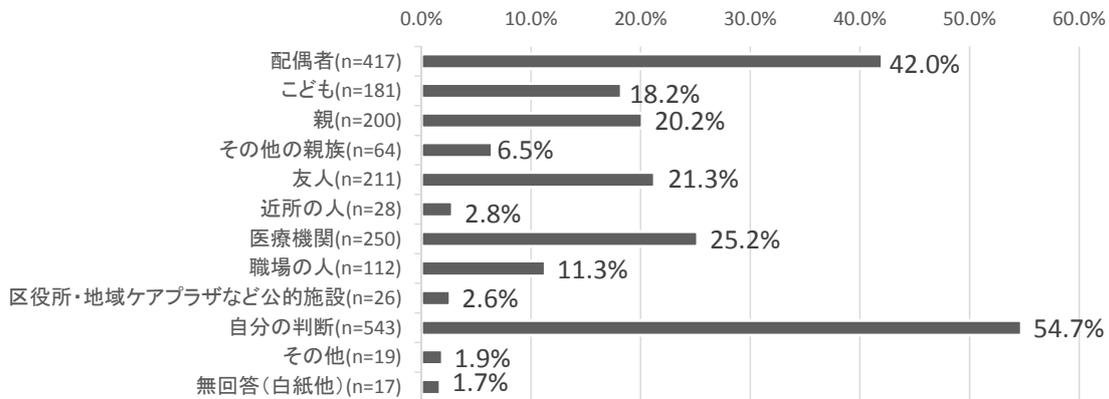


図8-6. 健康行動に影響を与える人物

問8-7 あなたは日頃、三食の食事をどのようにとっていますか？朝食、昼食、夕食のそれぞれについて、最もあてはまるものを1～9から選び、口の中に該当する番号を記入してください。

(1) 朝食

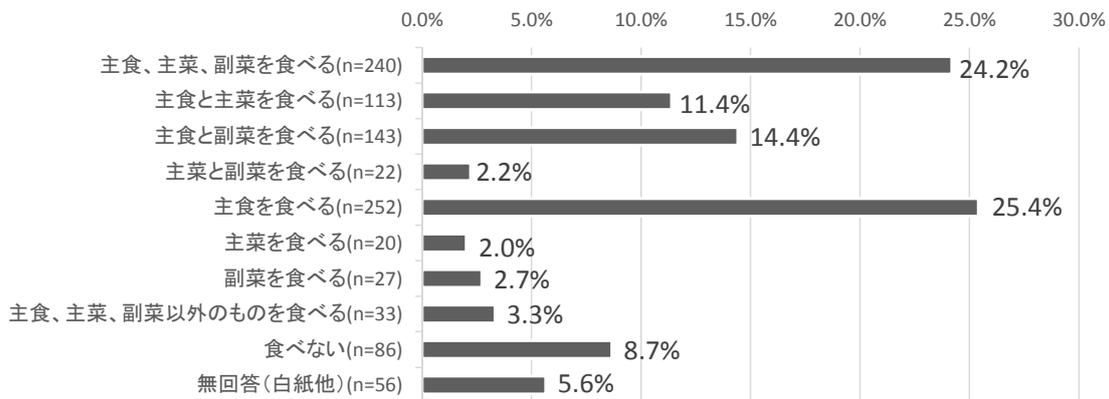


図8-7. 食事のとり方（朝食）

(2) 昼食

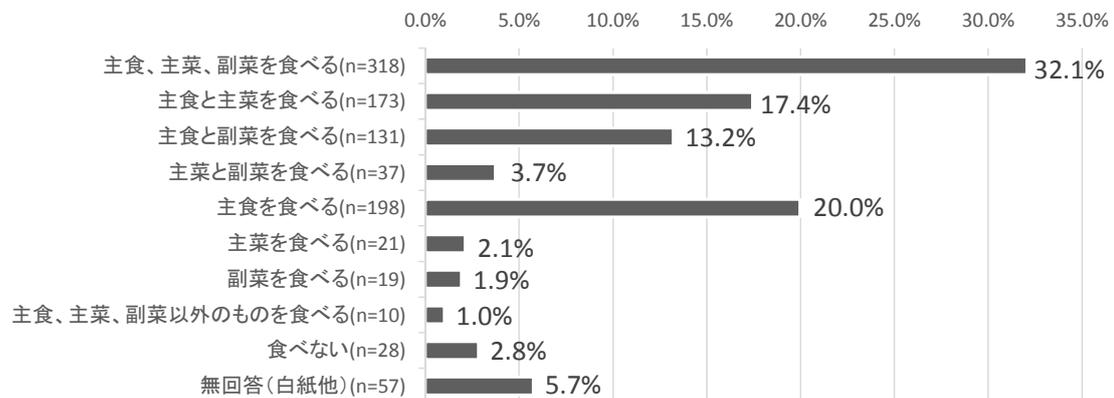


図8-8. 食事のとり方（昼食）

(3) 夕食

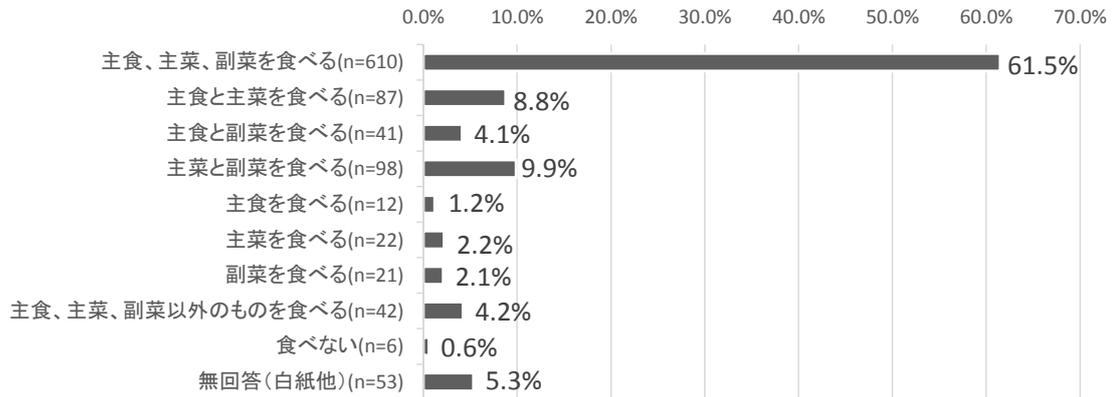


図 8-9. 食事のとり方 (夕食)

問 8—8 あなたはこの 1 年間に歯科健診を受けましたか？ (〇はひとつだけ)

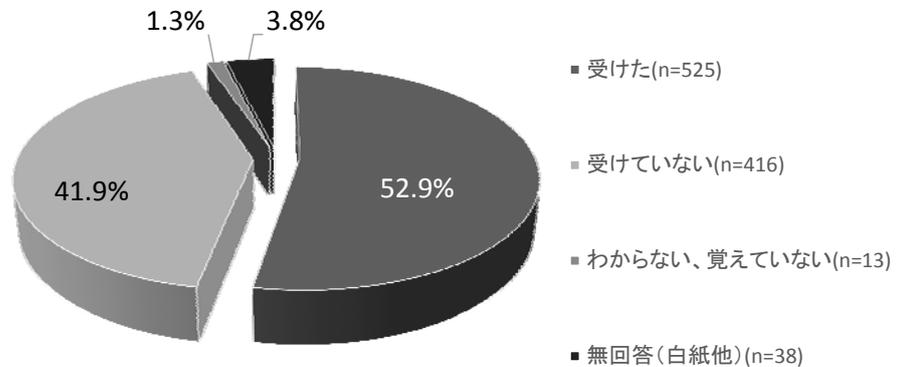


図 8-10. 歯科健診の受診率

問 8—9 あなたはお口の健康のために、どのようなことをしていますか？ (〇はいくつでも)

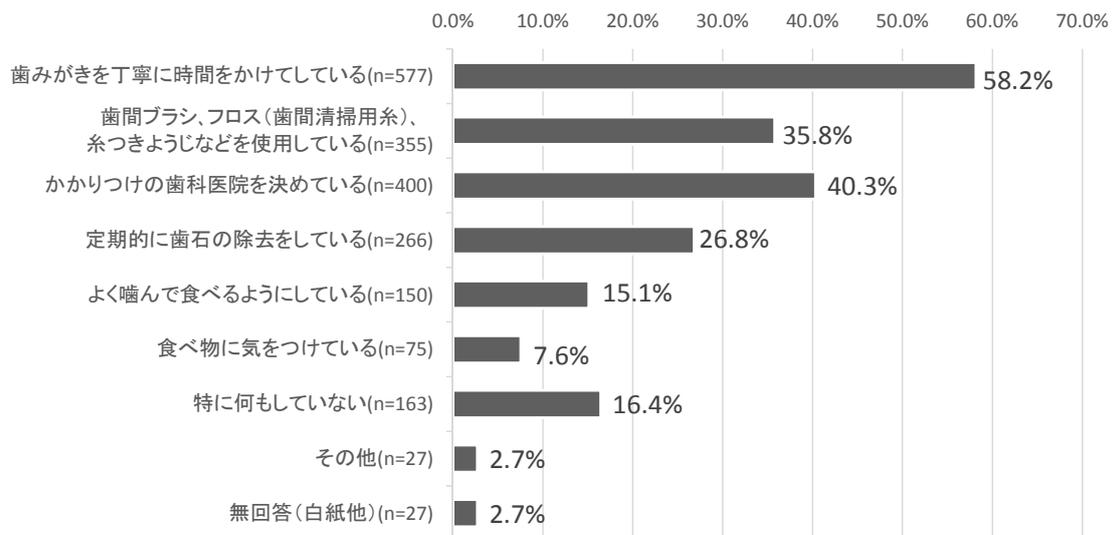


図 8-11. 口腔内の健康のために実施していること

第2章 クロス集計

※集計方法に関して※

- ・集計結果は、コンピュータにより機械的に、小数点第2位を四捨五入し、百分率で表示しているため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・クロス集計の際、無回答を除いて集計しているため、集計結果の合計が100.0%にならない場合がある。

「あいねっと」の認知度

【1】近隣との関わり別

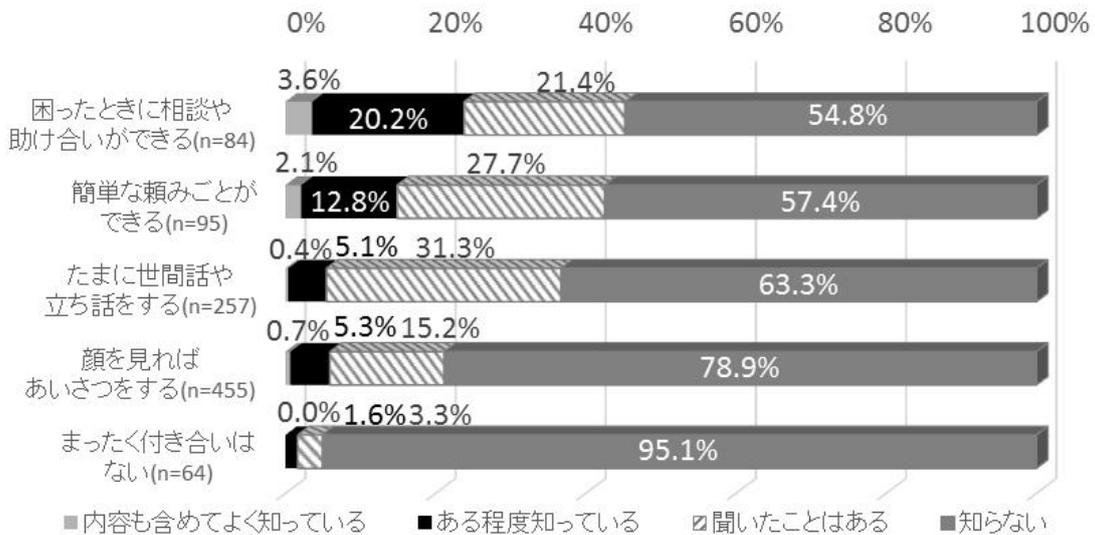


図9-1. あいねっとの認知度（近隣との関わり別）

■コメント

「あいねっと」の認知度は近隣との関わりがある人ほど高い結果となった。“内容も含めてよく知っている”の回答に大きな差は見られなかったが、“聞いたことはある”まで範囲を広げると“困ったときに相談や助け合いができる”と回答した人は“まったく付き合いはない”と回答した人に対して認知度が約40%高い結果となり、関係性が認められた。

【2】情報収集方法別

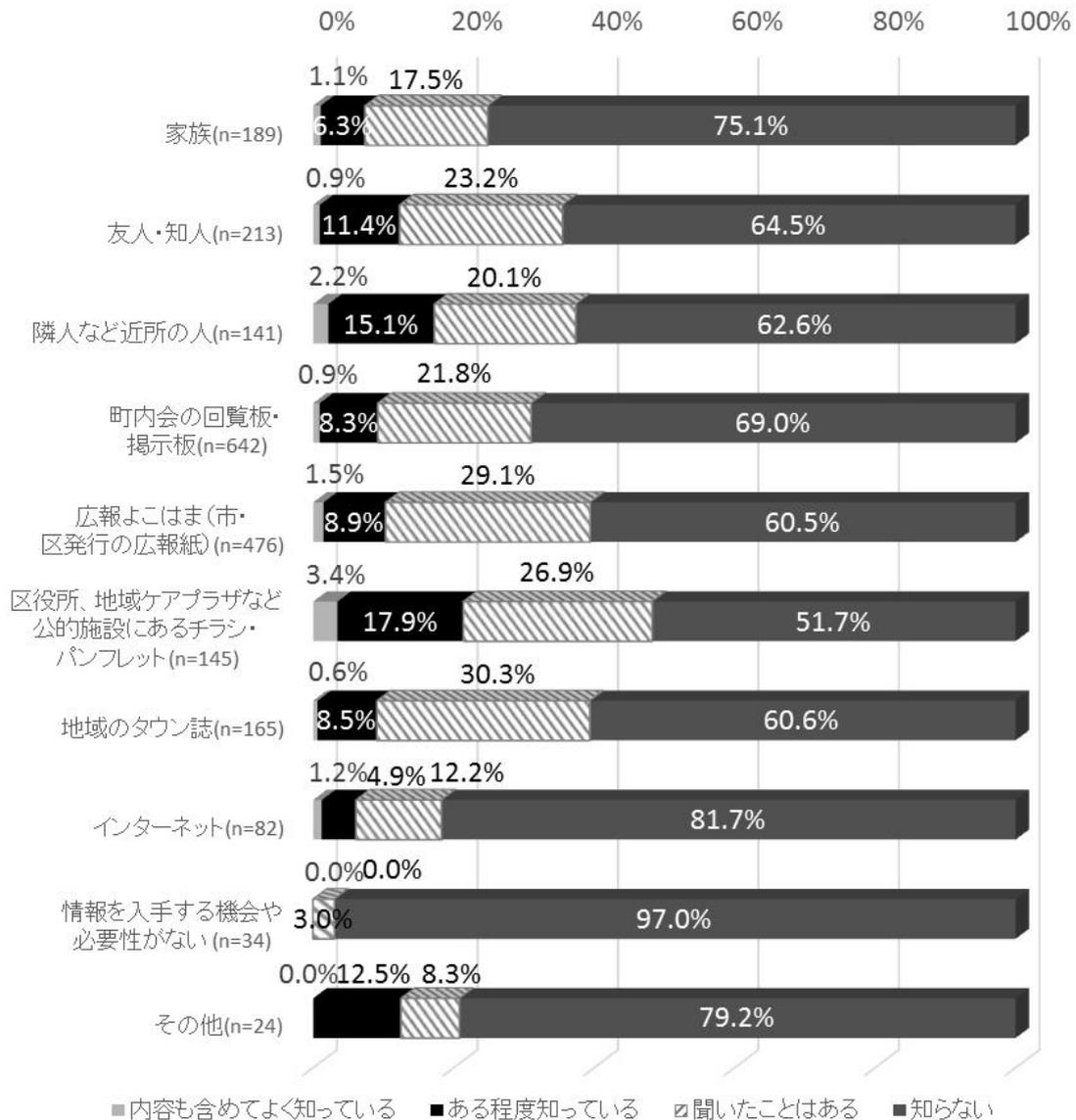


図9-2. あいねっとの認知度（情報収集方法別）

■コメント

「あいねっと」を“内容も含めてよく知っている”“ある程度知っている”“聞いたことがある”と回答した人で1番回答が多かった情報収集の方法は“区役所、地域ケアプラザなど公的施設にあるチラシ・パンフレット”の48.4%、次いで“広報よこはま(市・区発行の広報紙)”の39.5%、さらに“地域のタウン誌”39.4%という結果となった。紙媒体の情報収集が主となっているが、“隣人など近所の人”が37.4%、“友人・知人”が35.5%と地域の身近な人間関係からの情報収集の割合も高く、地域のコミュニティーの拡大が認知度の向上に繋がるとみられる。

【3】年齢別

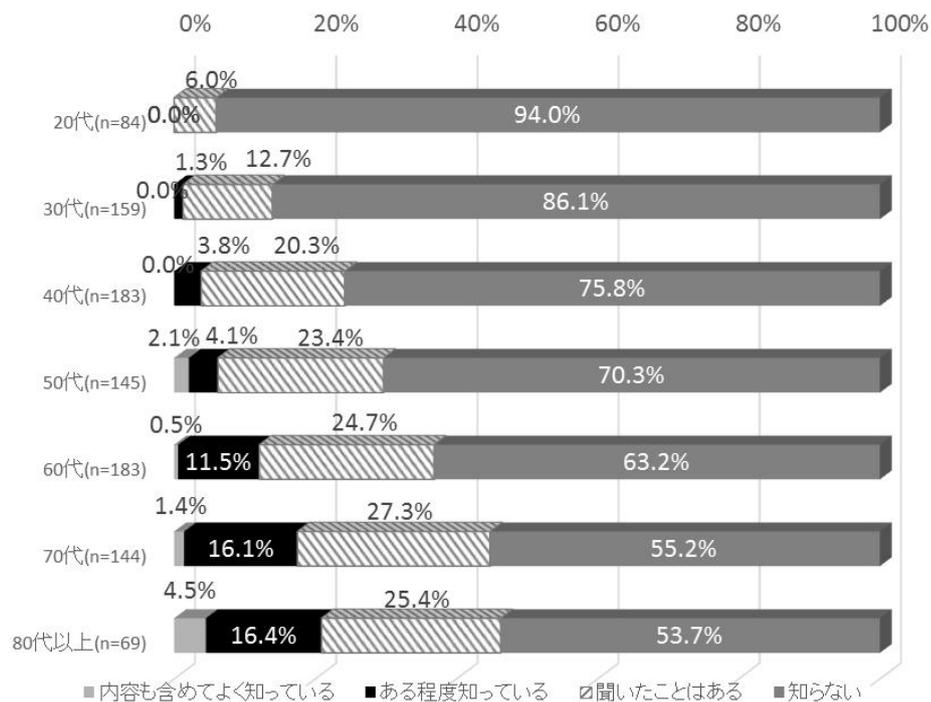


図 9-3. あいねっとの認知度（年齢別）

■コメント

年代別で「あいねっと」の認知度を見てみると、年代が上になるほど認知度が高い傾向がある。認知度の底上げには若い世代への周知活動が必要となる。紙媒体の周知ほか、若者の利用が多いインターネット等の電子媒体の周知活動や地域コミュニティーの参加を促す活動に力を入れるべきではないか。

【4】町内会加入別

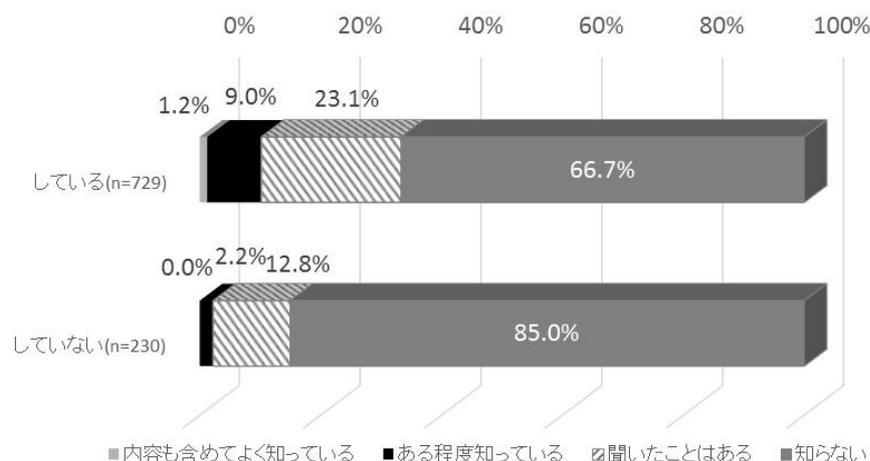


図 9-4. あいねっとの認知度（町内会加入別）

■コメント

町内会の加入別で「あいねっと」の認知度を比べると、加入している人ほど認知度が高い。地域コミュニティーから情報が得られる分、認知度が高くなるようである。

【5】就業状況別

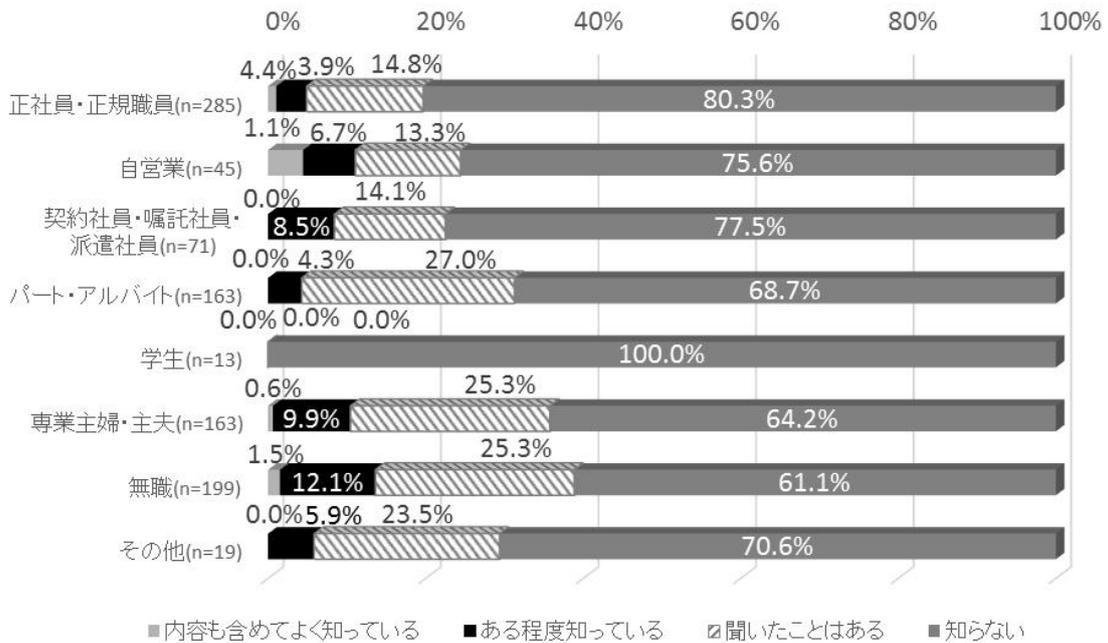


図 9-5. あいねっとの認知度（就業状況別）

■コメント

就業状況別の認知度を見てみると“無職”や“専業主婦・主夫”の割合が高いことがわかる。学生や労働者に地域への関心を持ってもらうことが必要ではないか。

「民生委員・児童委員」の認知度

【1】年齢別

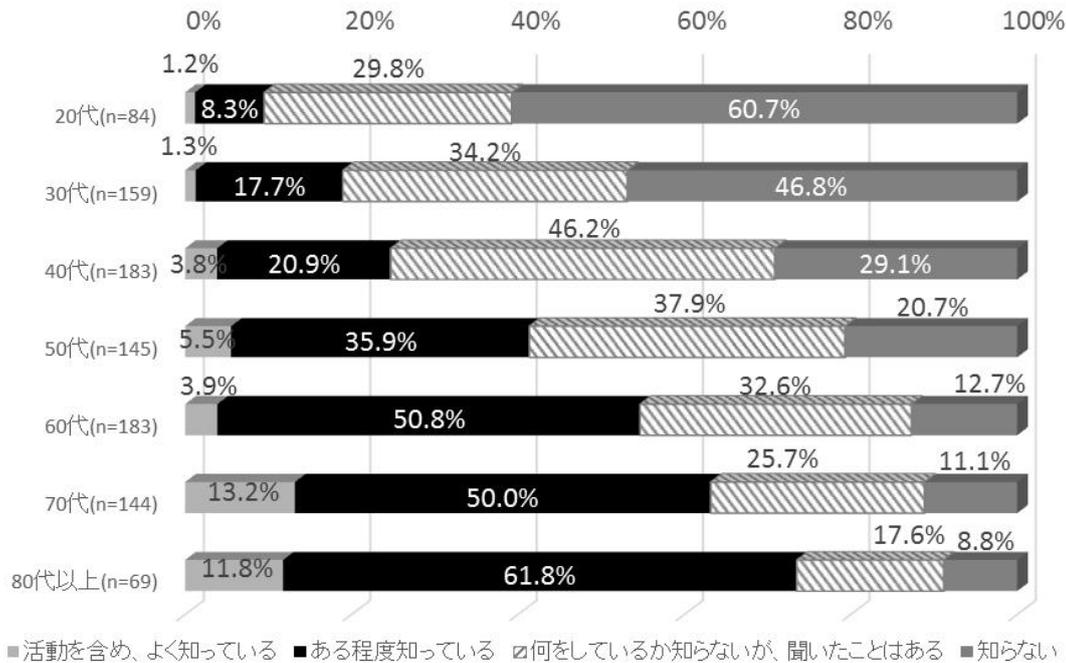


図 10-1. 民生委員・児童委員の認知度（年齢別）

【2】町内会加入別

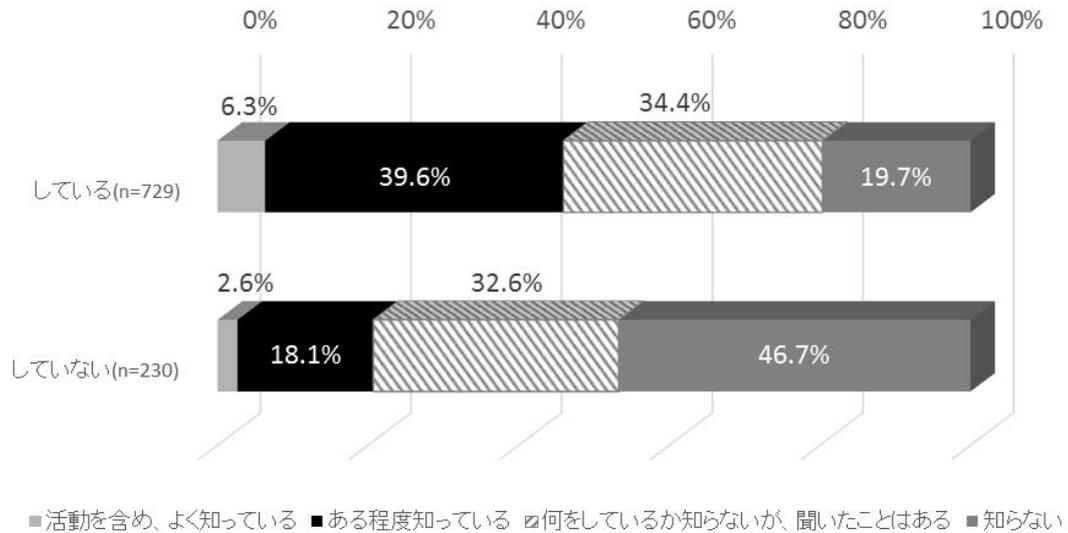


図 10-2. 民生委員・児童委員の認知度（町内会加入別）

「地区社会福祉協議会」の認知度

【1】年齢別

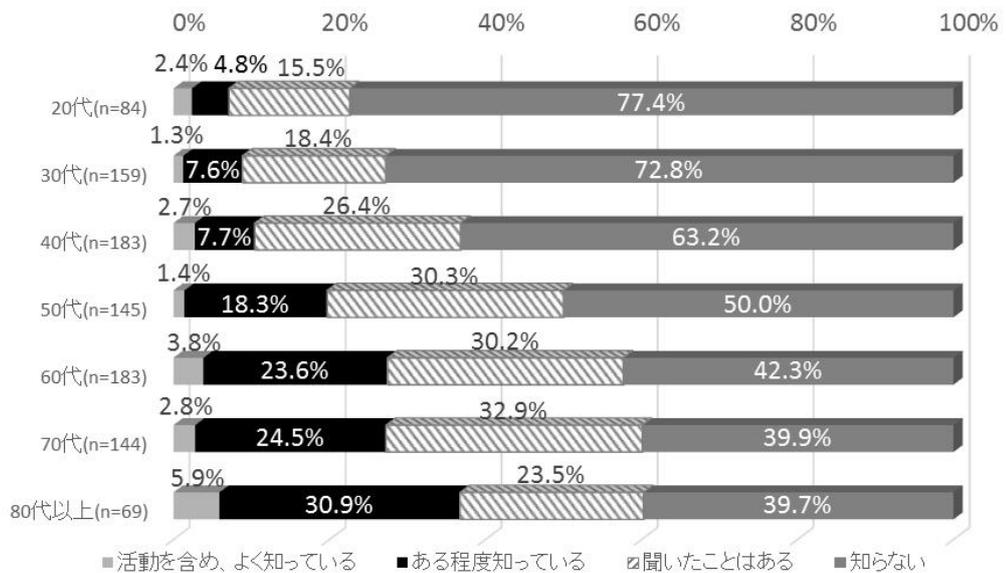
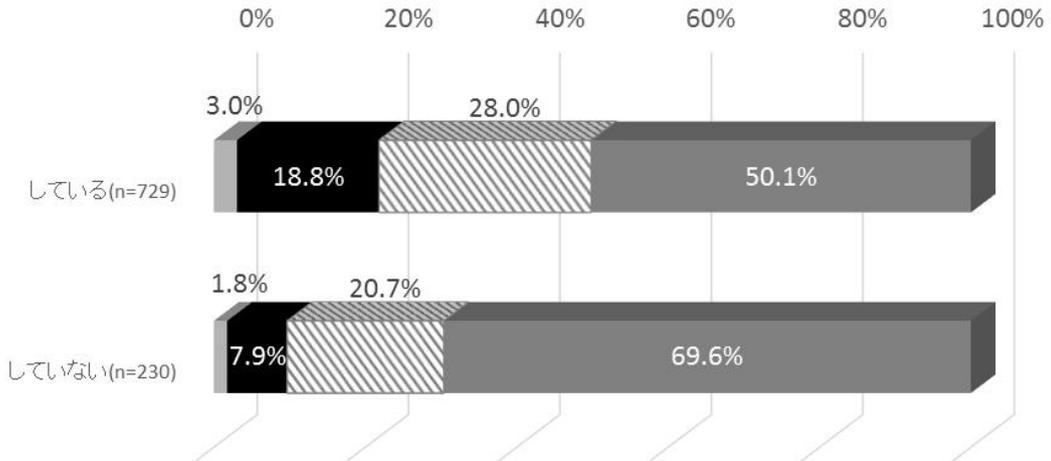


図 11-1. 地区社会福祉協議会の認知度（年齢別）

【2】町内会加入別



■活動を含め、よく知っている ■ある程度知っている ▨何をしているか知らないが、聞いたことはある ■知らない

図 11-2. 地区社会福祉協議会の認知度（町内会加入別）

「地域ケアプラザ」の認知度

【1】年齢別

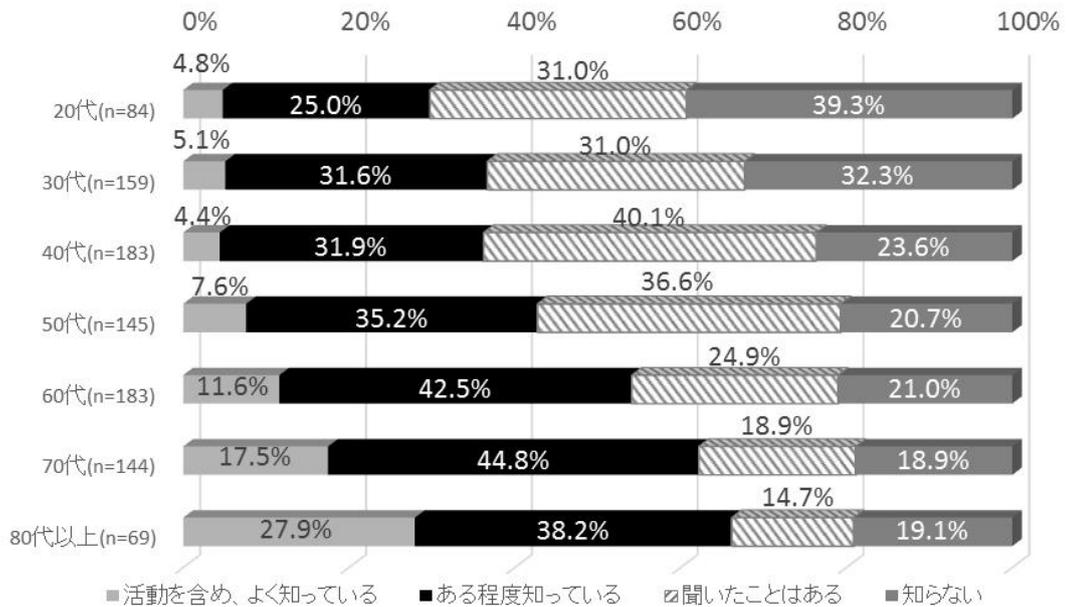
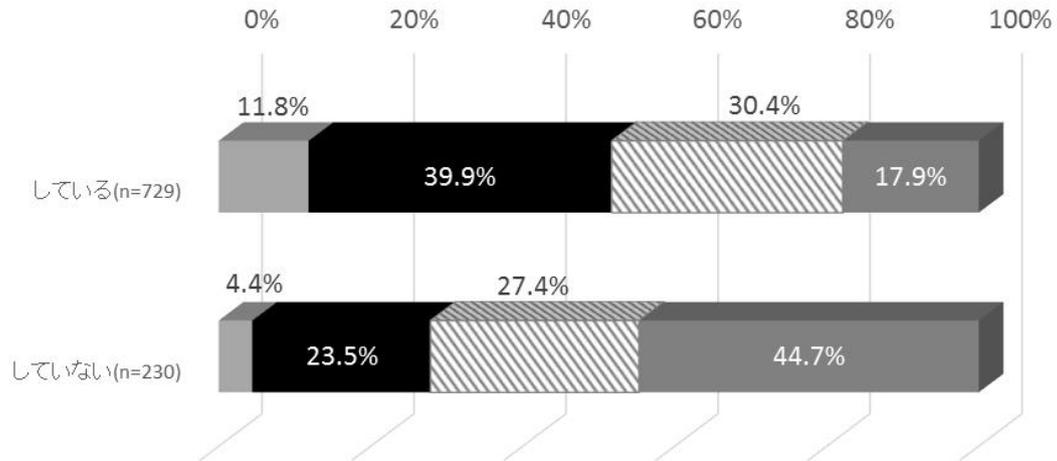


図 12-1. 地域ケアプラザの認知度（年齢別）

【2】町内会加入別

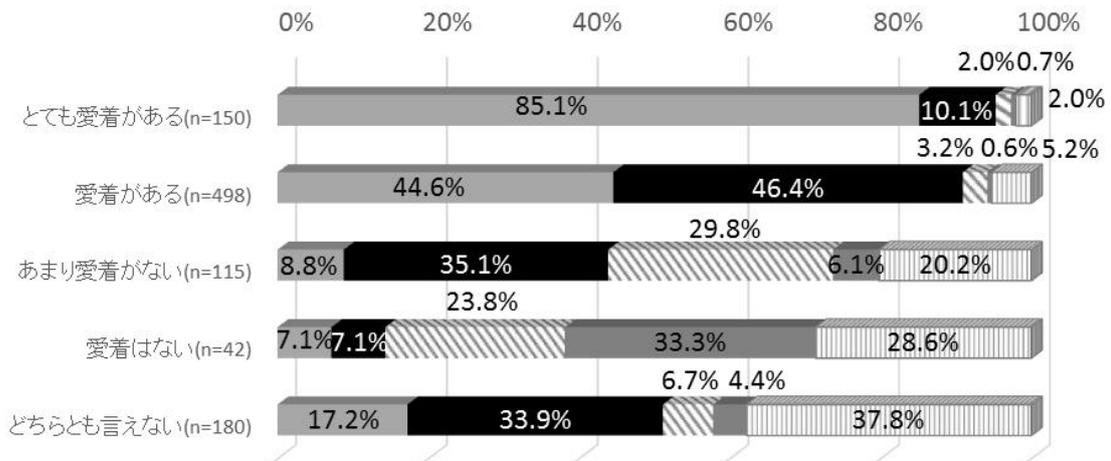


■活動を含め、よく知っている ■ある程度知っている ▨何をしているか知らないが、聞いたことはある ■知らない

図 12-2. 地域ケアプラザの認知度（町内会加入別）

鶴見区への愛着

【1】継続居住の希望別



■そう思う ■どちらかといえばそう思う ▨どちらかといえばそう思わない ■思わない ▨どちらとも言えない

図 13-1. 鶴見区への愛着（継続居住の希望別）

■コメント

鶴見区に愛着を感じているほど継続居住の希望がある。その差は歴然であり、“とても愛着がある”と回答した人は“愛着はない”と回答した人に対して“そう思う”の割合が78.0%高い結果となった。鶴見区に継続居住してもらうためには鶴見区に対して愛着を持ってもらう必要がある。

【2】近隣との関わり別

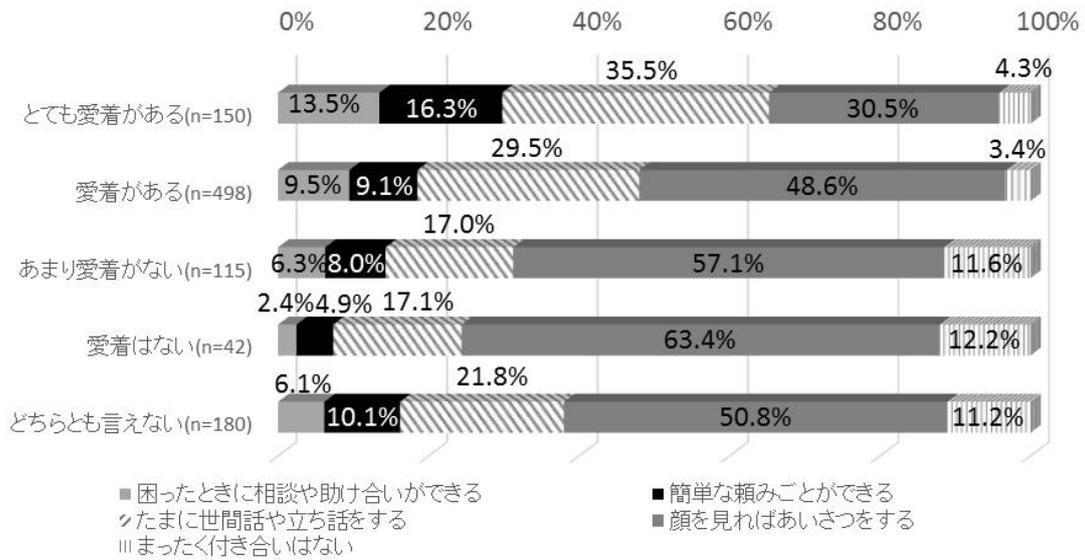


図 13-2. 鶴見区への愛着（近隣との関わり別）

■コメント

鶴見区に愛着を感じている人ほど近隣と深い関わり合いがあるようだ。地域コミュニティーの活性化によって、鶴見区への愛着が深まるのではないかな。

【3】地域活動参加状況別

1. 地域活動に参加している

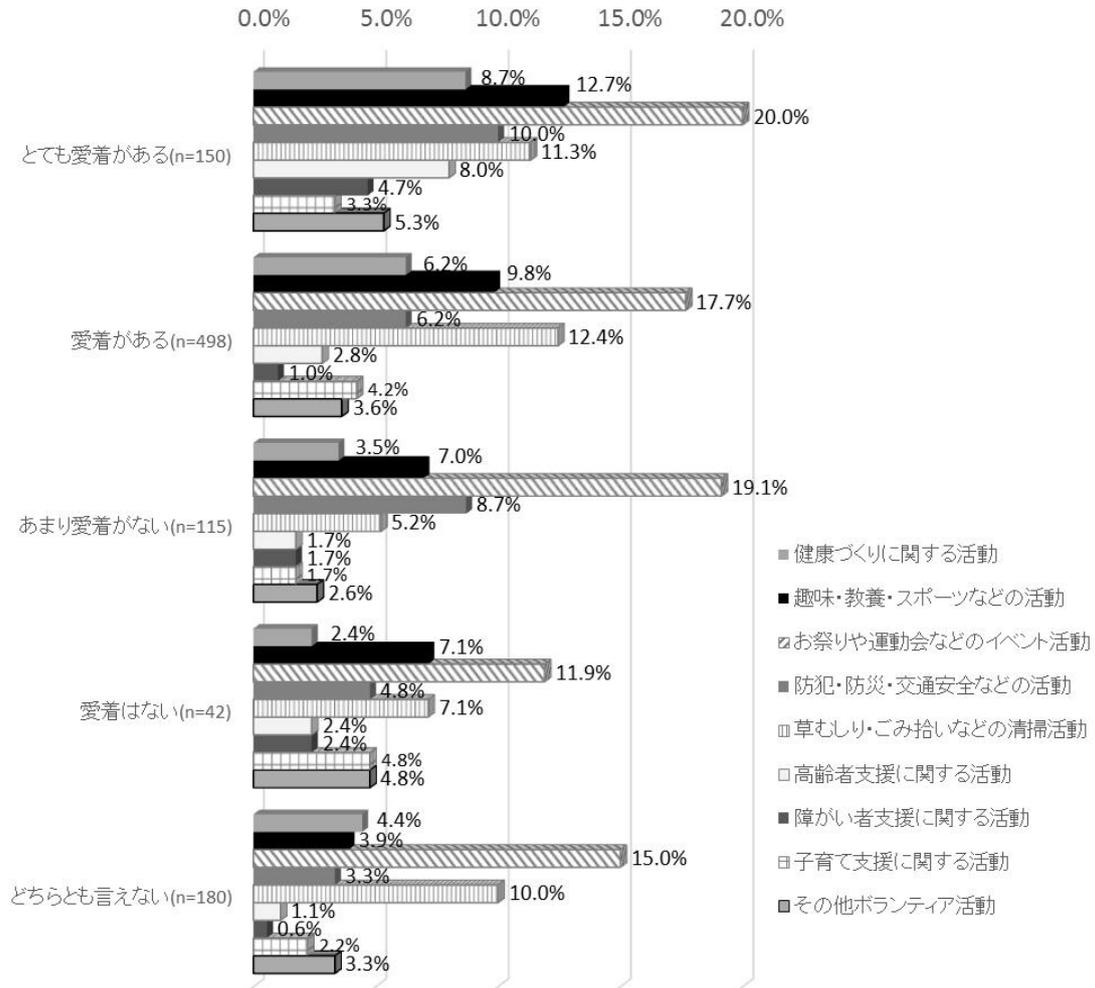


図 13-3. 鶴見区への愛着（近隣との関わり別・地域活動に参加している）

■コメント

鶴見区に“とても愛着がある”“愛着がある”と回答した人ほど地域活動に参加している。“お祭りや運動会などのイベント活動”と“防犯・防災・交通安全などの活動”に関しては、自己や家族の関わりが強い活動であるため、“愛着はない”と回答した層であっても地域活動に参加している。地域活動への参加がきっかけとなり、愛着が深まることを期待したい。

2. 地域活動に今は参加していないし、今後も参加するつもりはない

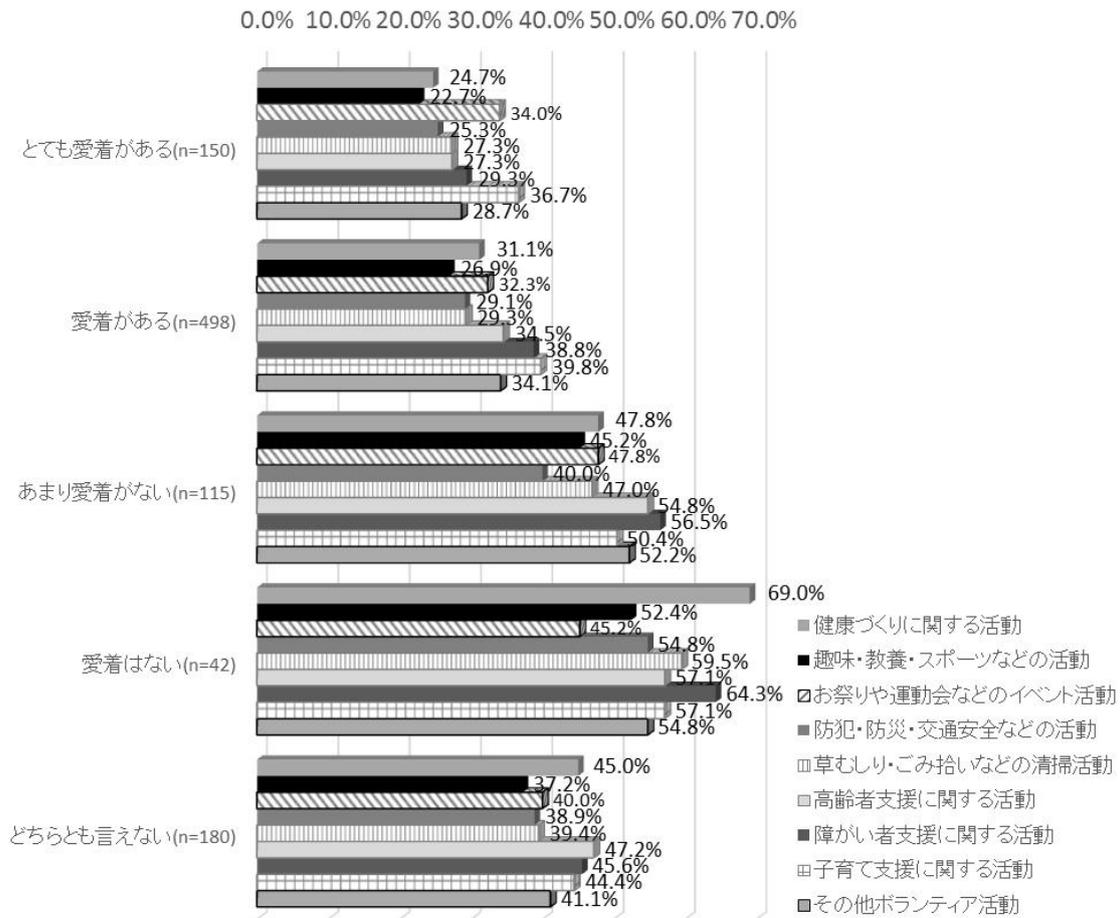


図 13-4. 鶴見区への愛着（近隣との関わり別・地域活動に今は参加していないし、今後も参加するつもりはない）

■コメント

鶴見区に愛着を感じていない層ほど地域活動に対して関心が薄い。この傾向は、すべての回答項目で共通の様である。

【4】年齢別

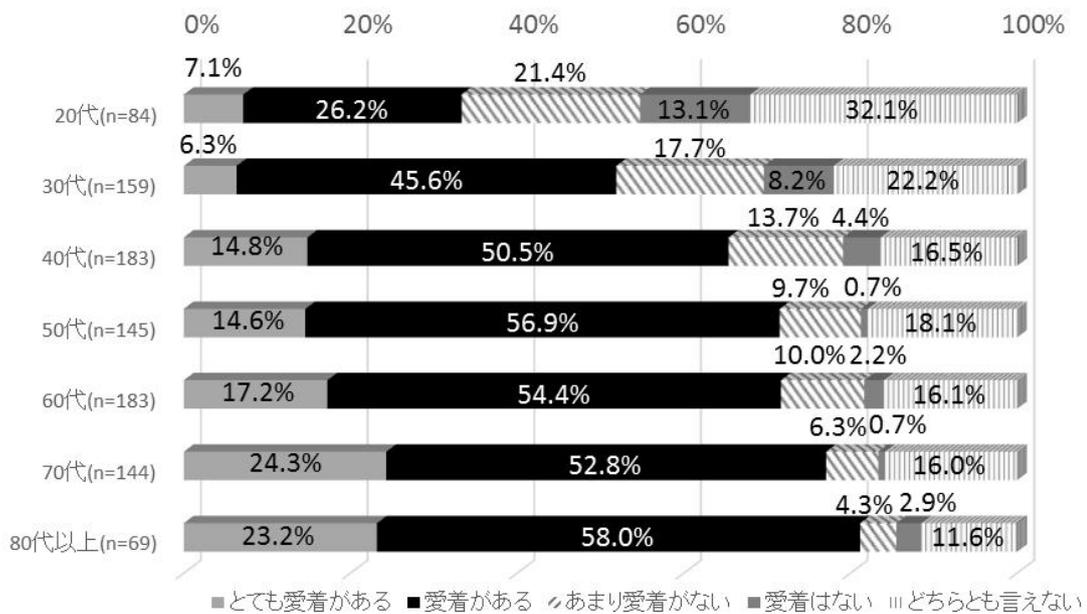


図 13-5. 鶴見区への愛着（年齢別）

■コメント

年代が上になるほど鶴見区に愛着があるようだ。

【5】町内会加入別

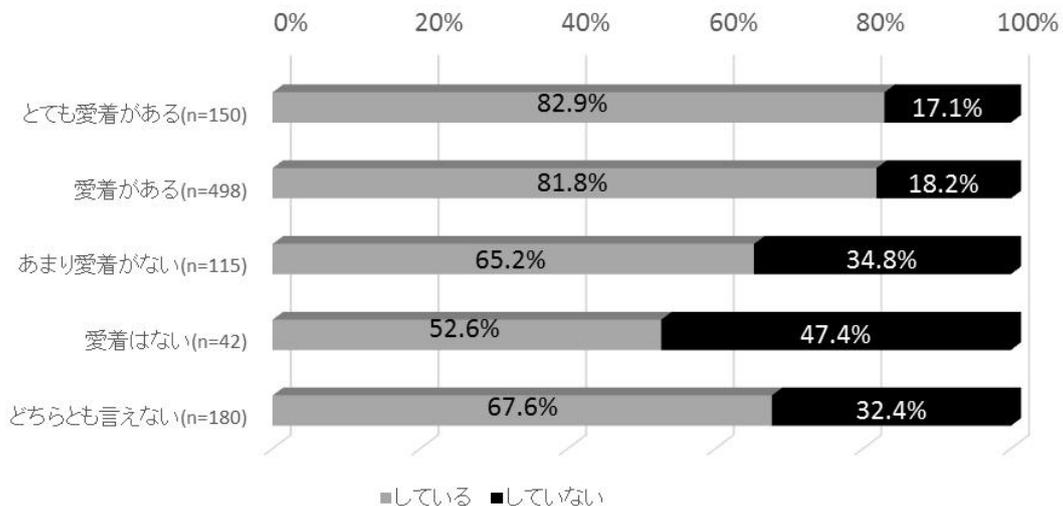


図 13-6. 鶴見区への愛着（町内会加入別）

■コメント

町内会に加入しているほど“とても愛着がある”または“愛着がある”と回答しており、その割合は8割を超える。町内会への加入率を上げることが鶴見区への愛着に繋がるのではないかと。

近隣との関わり方

【1】今後の望ましい近隣との関わり方別

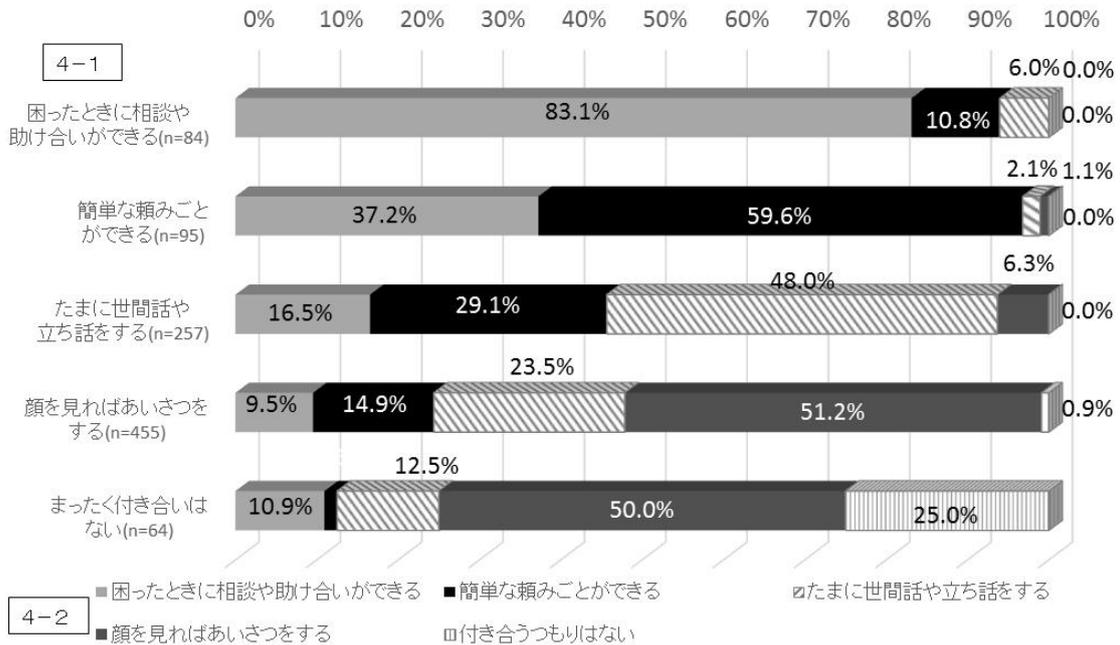


図 14-1. 近隣との関わり（今後の望ましい近隣との関わり方別）

■コメント

現状の近隣との関わり方が、今後、望ましい近隣との関わり方と同じ人は、現状の近隣との関わりが深い人ほど割合が高い傾向がある。逆に現状の近隣との関係が薄い人の方が、より近隣との関係を深めたいと回答している。特に“まったく付き合いはない”と回答した人の75.0%がより近隣となんらかの関わりたいと希望している。現在は付き合いがなくても近隣との関係をより深めたいという潜在的なニーズがあるようだ。この層に地域の活動の参加を促すのが効果的ではないか。

【2】必要と思われること別

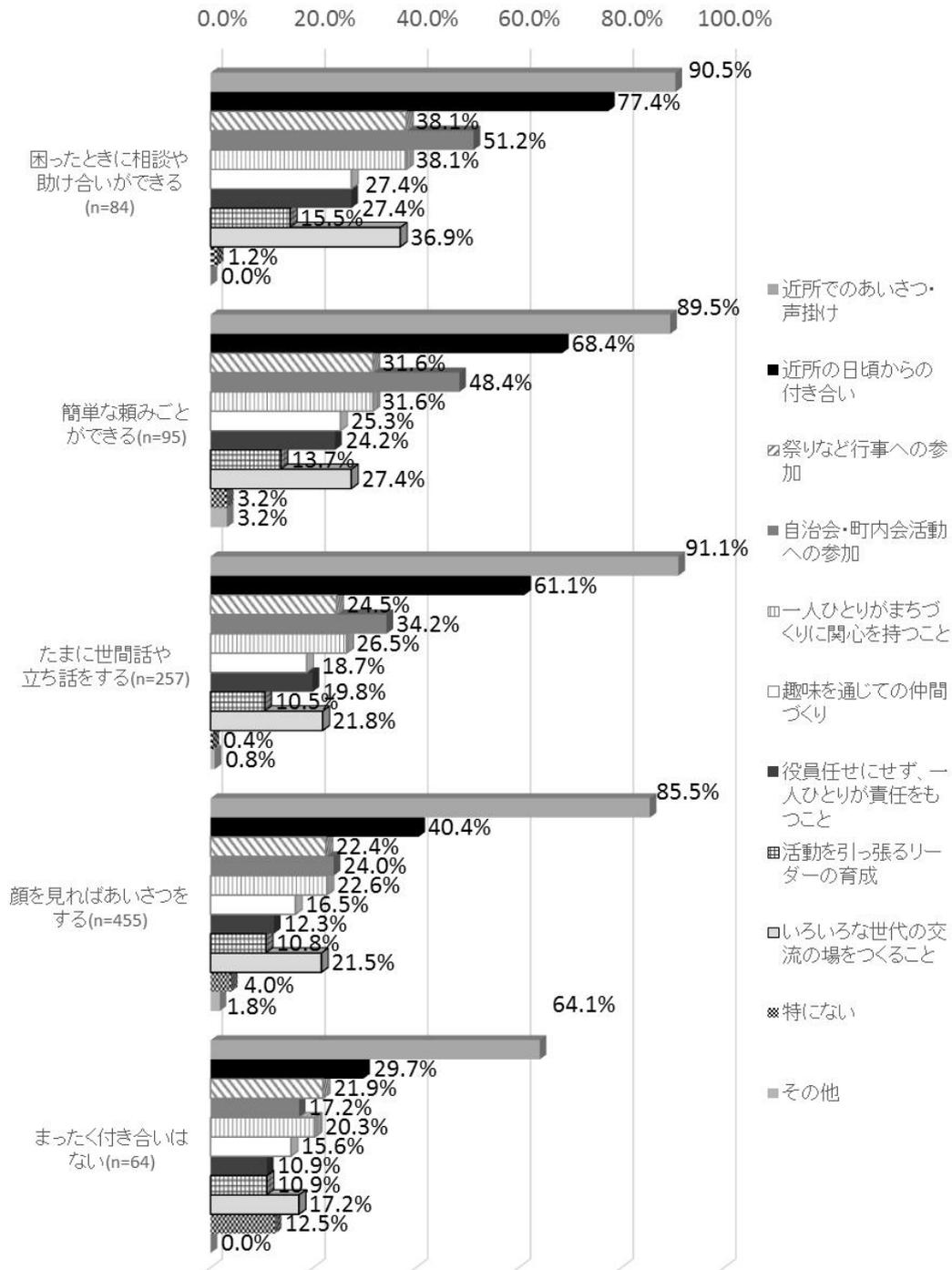


図 14-2. 近隣との関わり（必要と思われること別）

■コメント

全ての層において“近所でのあいさつ・声掛け”が必要であるとする割合が高い。現状“まったく付き合いはない”と回答している人でも64.1%もの人があいさつや声掛けを必要と感じている。ここでも近隣との関係を深めたいというニーズが感じられる。

【3】地域活動状況別

1. 地域活動に参加している

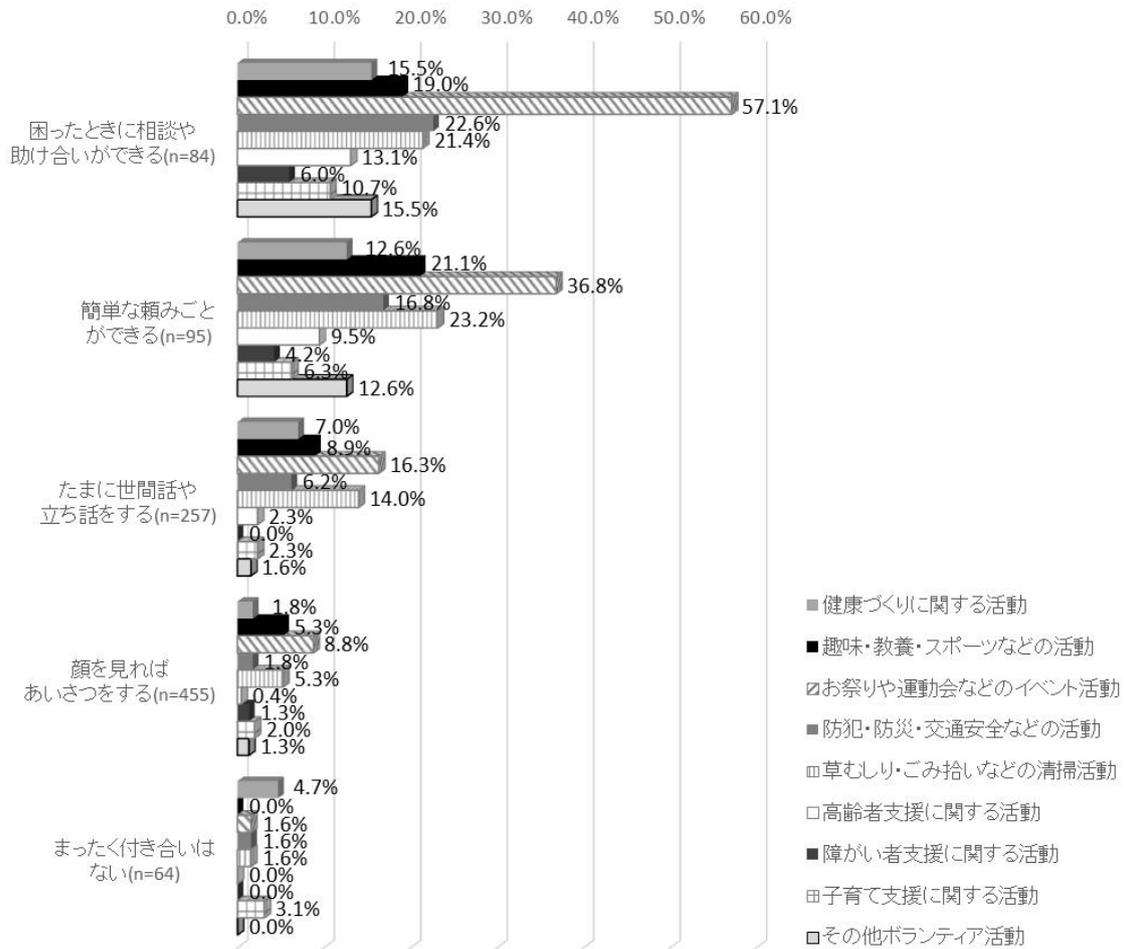


図 14-3. 近隣との関わり（地域活動状況別・地域活動に参加している）

■コメント

地域活動に参加している人ほど近隣との関わりも深くなる傾向がある。“まったく付き合いはない”と回答している人は潜在的には近隣との関係を深くしたいと考えている傾向があるので、やはり地域活動への参加を呼び掛けることが重要である。

2. 地域活動に今は参加していなし、今後も参加するつもりはない

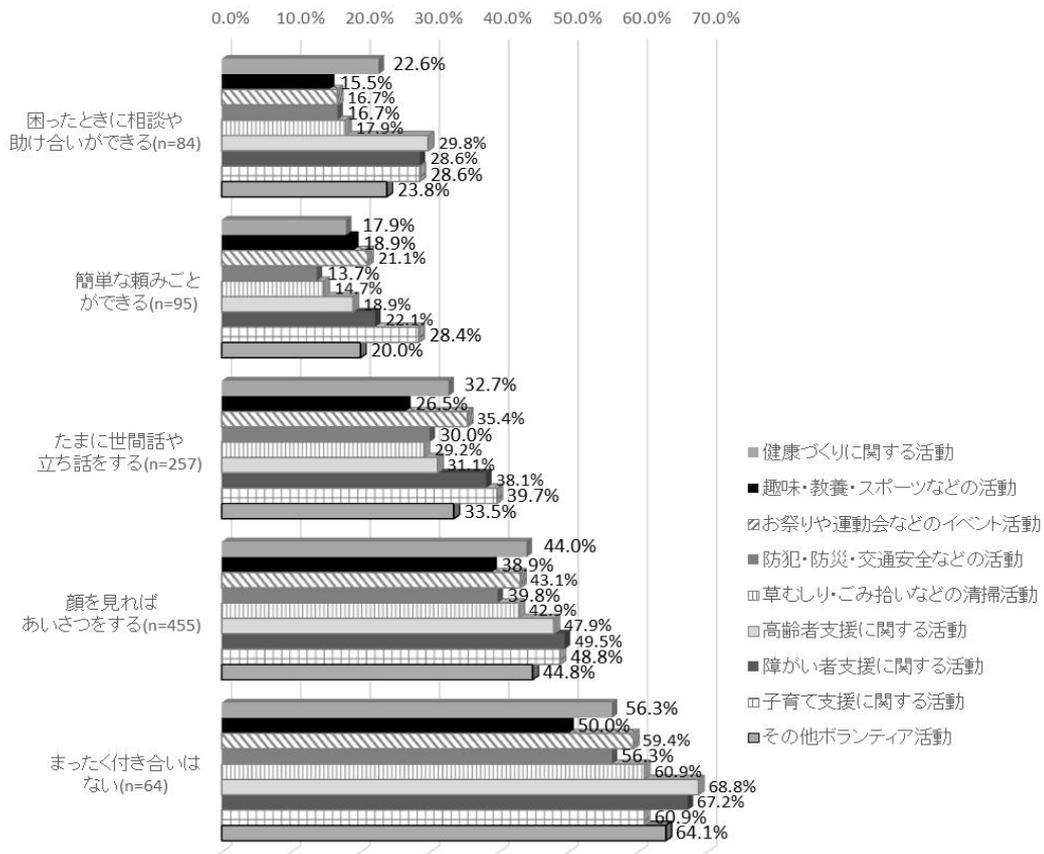


図 14-4. 近隣との関わり（地域活動状況別・地域活動に今は参加していなし、今後も参加するつもりはない）

【4】今後充実すると良いと思われること別

1. 「困ったときに相談や助け合いができる」と回答した人の結果 (n=83)

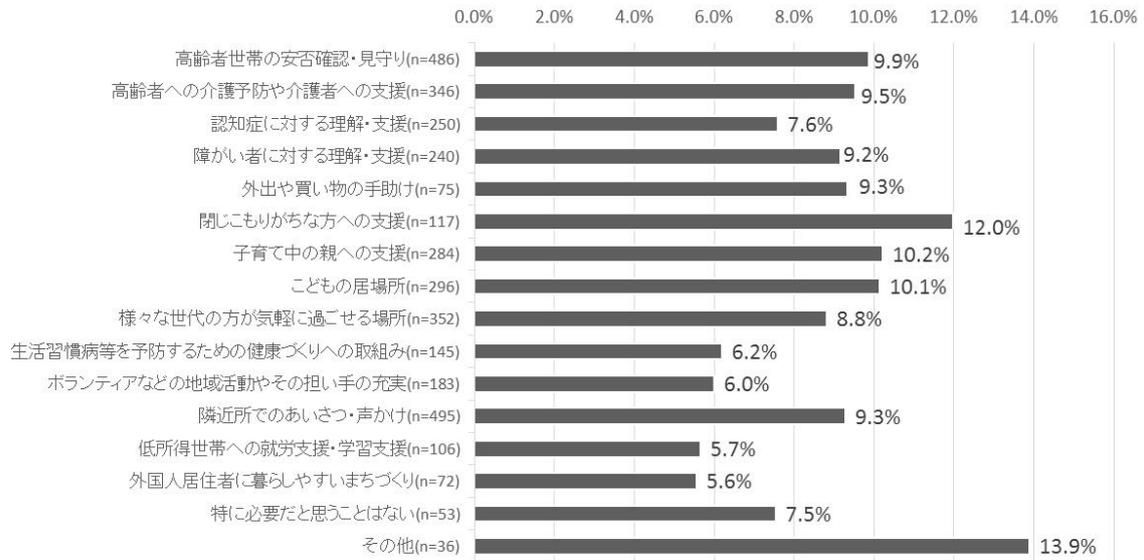


図 14-5. 近隣との関わり（今後充実すると良いと思われること別・「困った時に相談や助け合いができる」と回答した人の結果）

2. 簡単な頼みごとができる」と回答した人の結果 (n=94)

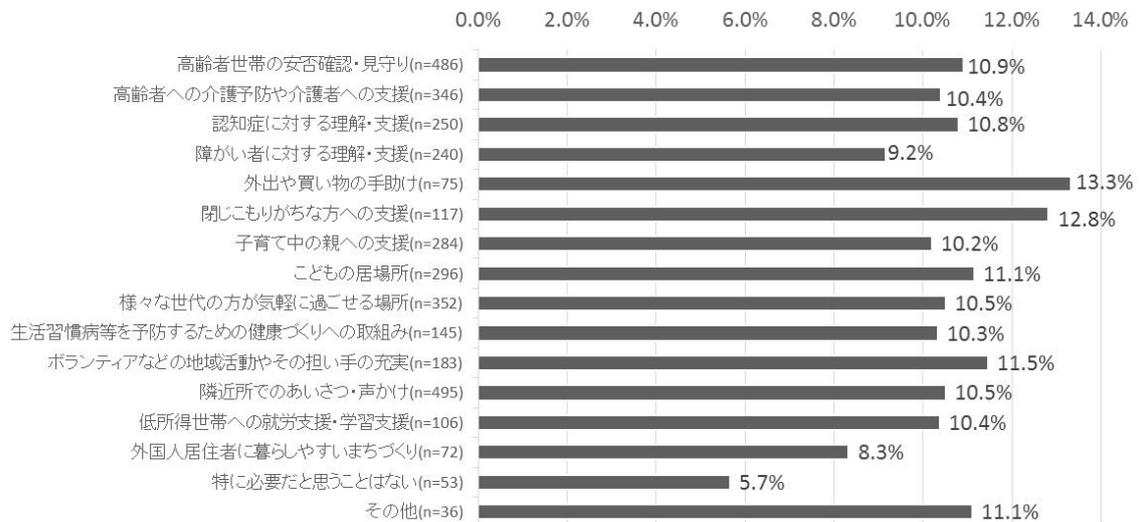


図 14-6. 近隣との関わり（今後充実すると良いと思われること別・「簡単な頼みごとができる」と回答した人の結果）

3. 「たまに世間話や立ち話をする」と回答した人の結果 (n=255)

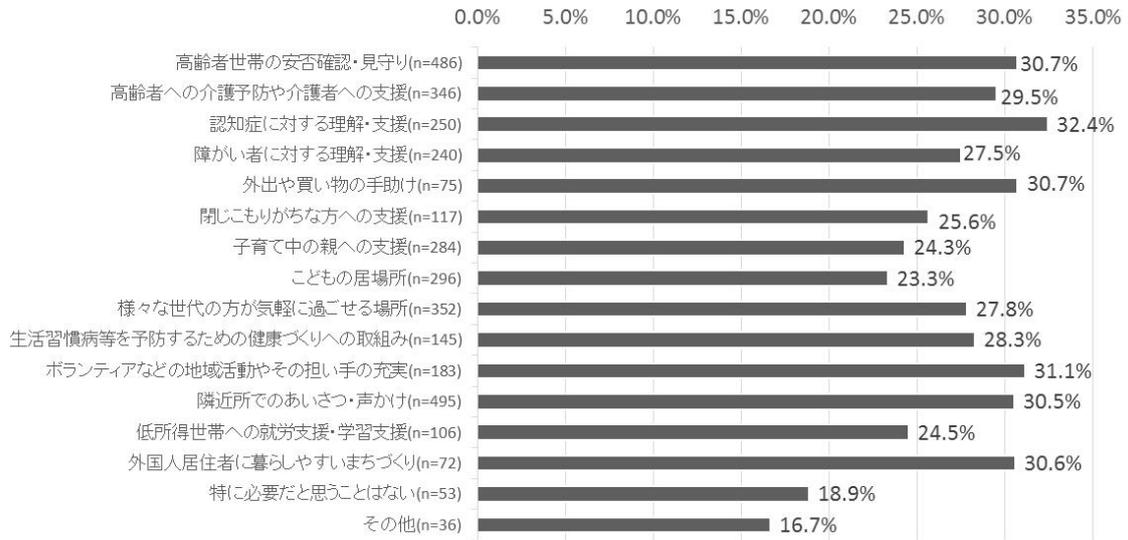


図 14-7. 近隣との関わり（今後充実すると良いと思われること別・「たまに世間話や立ち話をする」と回答した人の結果）

4. 「顔を見ればあいさつをする」と回答した人の結果 (n=452)

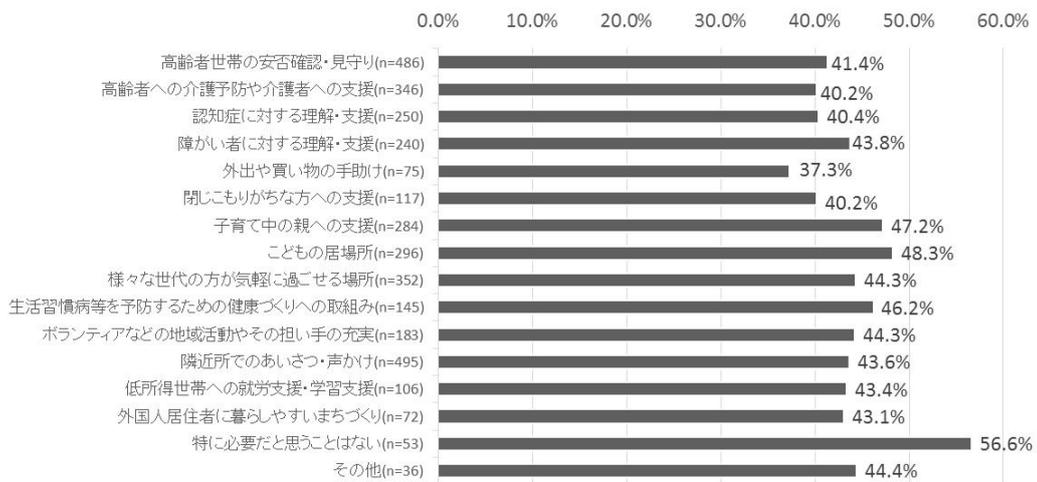


図 14-8. 近隣との関わり（今後充実すると良いと思われること別・「顔を見ればあいさつをする」と回答した人の結果）

5. 「まったく付き合いはない」と回答した人の結果 (n=64)

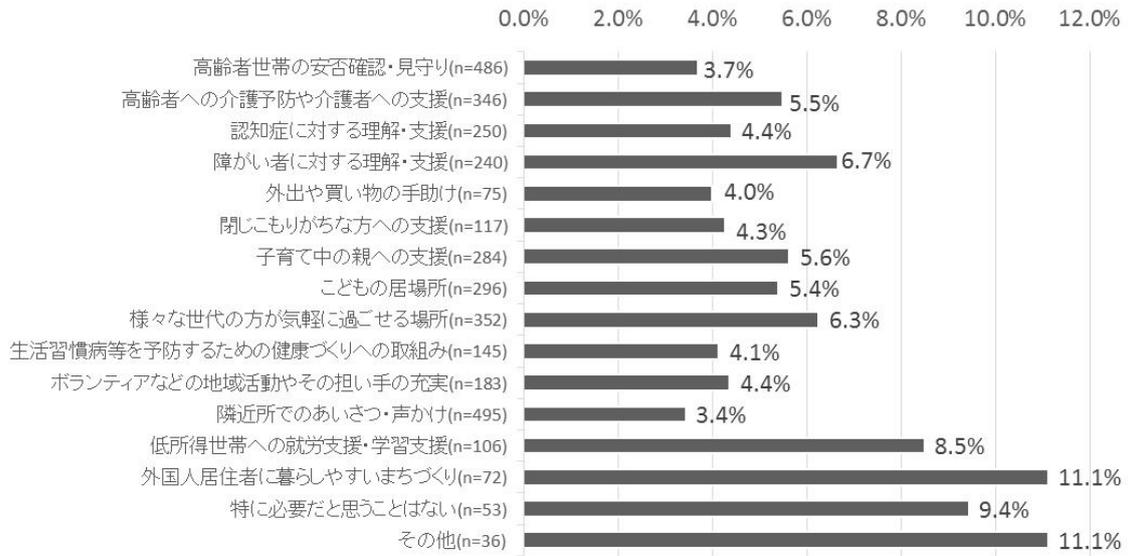


図 14-9. 近隣との関わり（今後充実すると良いと思われること別・「まったく付き合いはない」と回答した人の結果）

【5】自身の健康度別

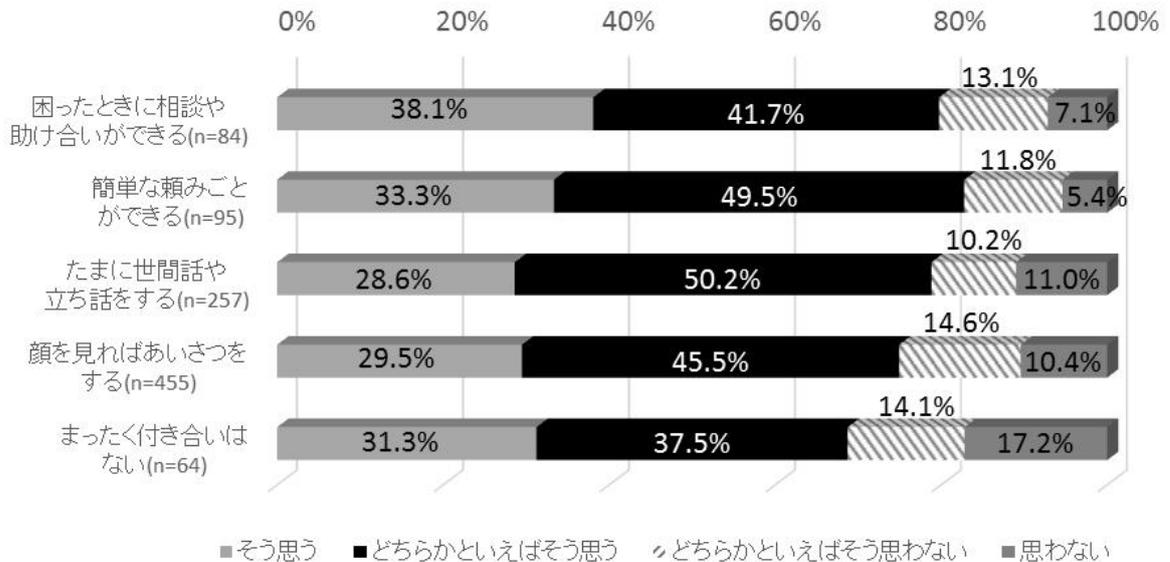


図 14-10. 近隣との関わり（自身の健康度別）

■コメント

健康に不安がある人ほど近隣との関わりが浅い傾向がある。特に“簡単な頼みごとができる”と“まったく付き合いはない”とでは約14%の差がある。“困ったときに相談や助け合いができる”にまで近隣との関わりが深まると、健康に不安がある人が少し高まる。自身の身を守るためにも地域と深く関わりたいと考えている人がいるのではないかと。

【6】年齢別

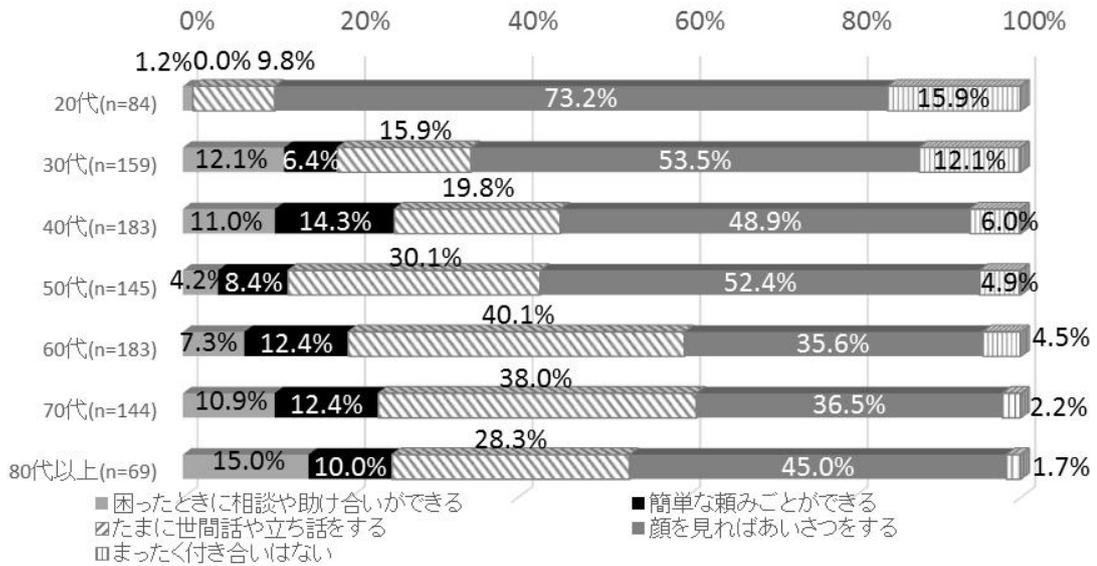


図 14-11. 近隣との関わり（年齢別）

■コメント

年代別の近隣との関わりであるが、年代が上になるほど近隣との関わりが深くなる傾向がある。“たまに世間話や立ち話をする”以上の関係で見ると、特に差が顕著となり、80代以上と20代の差は42.3%になる。

【7】居住年数別

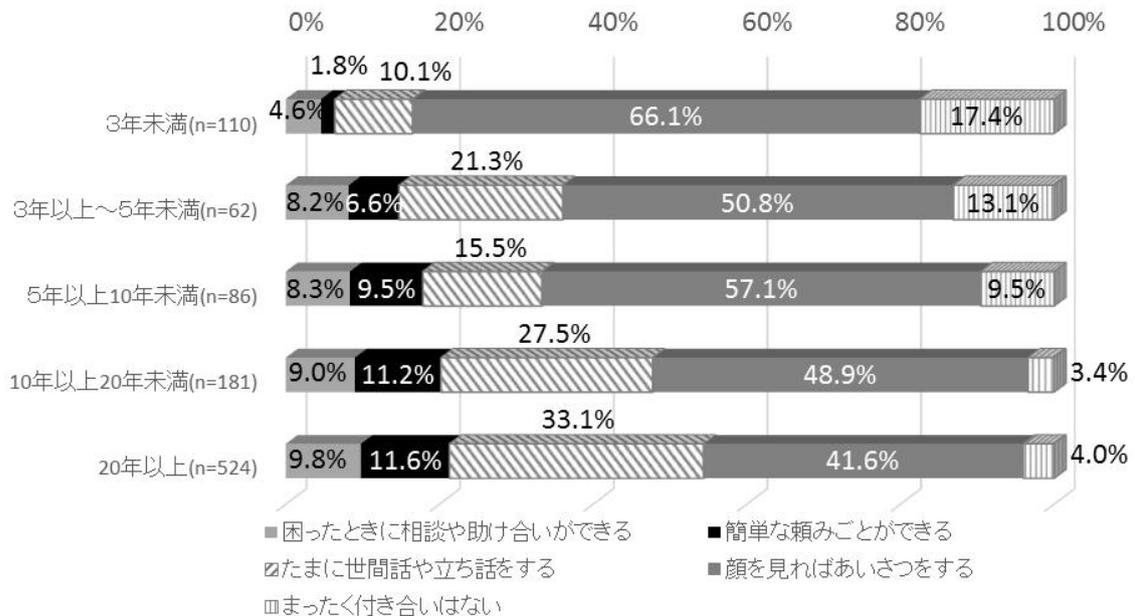


図 14-12. 近隣との関わり（居住年数別）

■コメント

居住年数が長い人ほど近隣との関わりが深くなる傾向がある。

【8】住居形態別

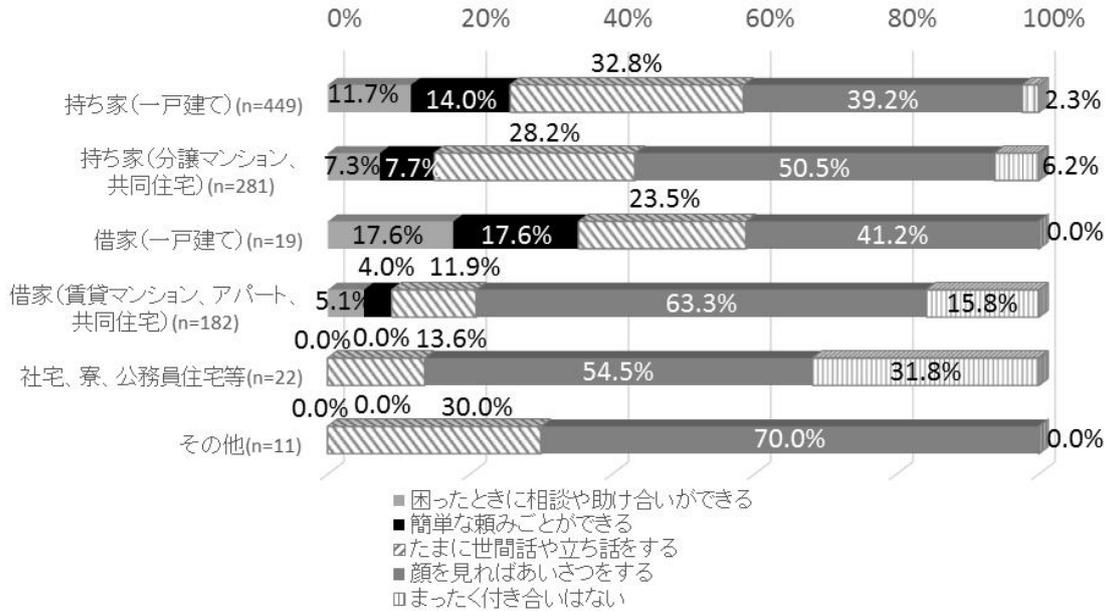


図 14-13. 近隣との関わり (住居形態別)

■コメント

持ち家や借家の一戸建てに居住する人は借家のマンションやアパート、社宅等に居住する人に比べて近隣との関わりが深いようである。

近隣との希望する関わり方

【1】年齢別

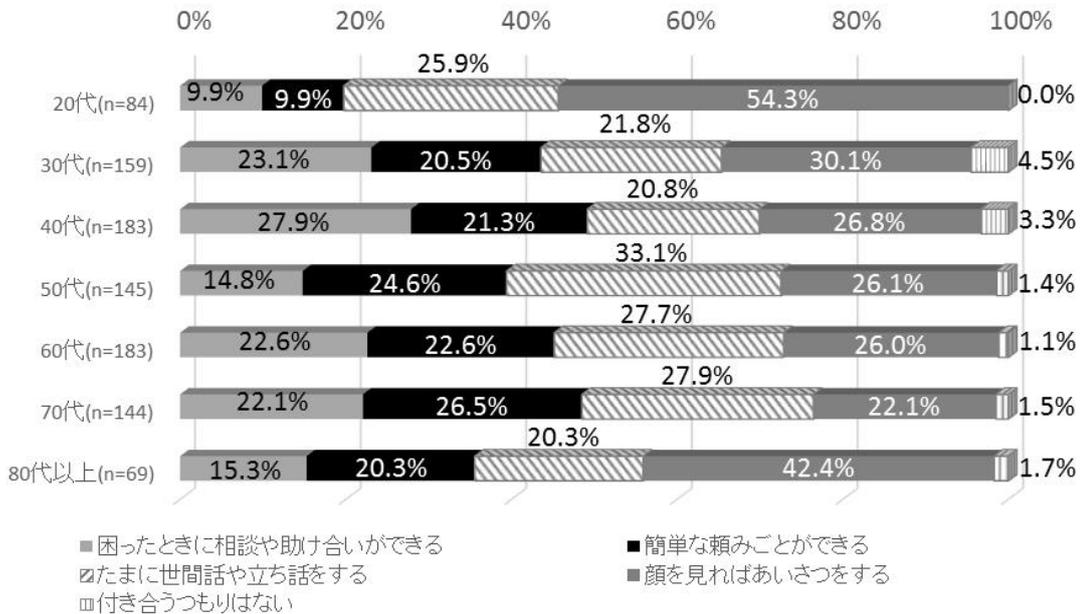


図 15-1. 近隣との希望する関わり (年齢別)

■コメント

20代の半数以上が“顔を見ればあいさつをする”程度 of 関係を望み、30代以降の半数以上は“たまに世間話や立ち話をする”以上の深い付き合いを希望している。“付き合うつもりはない”は全体でもごく少数であった。

【2】居住形態別

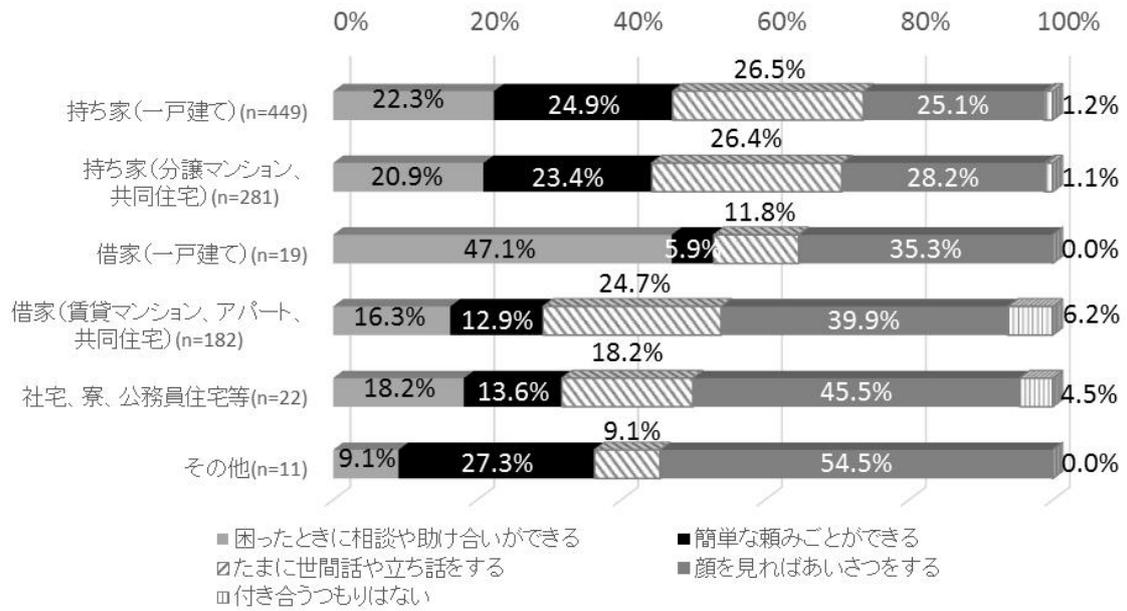


図 15-2. 近隣との希望する関わり（居住形態別）

■コメント

持ち家の人ほど深い関係を望み、借家や社宅の人ほど“顔を見ればあいさつする”程度 of 関係を望んでいる。

関係づくりのために必要と考えること

【1】年齢別

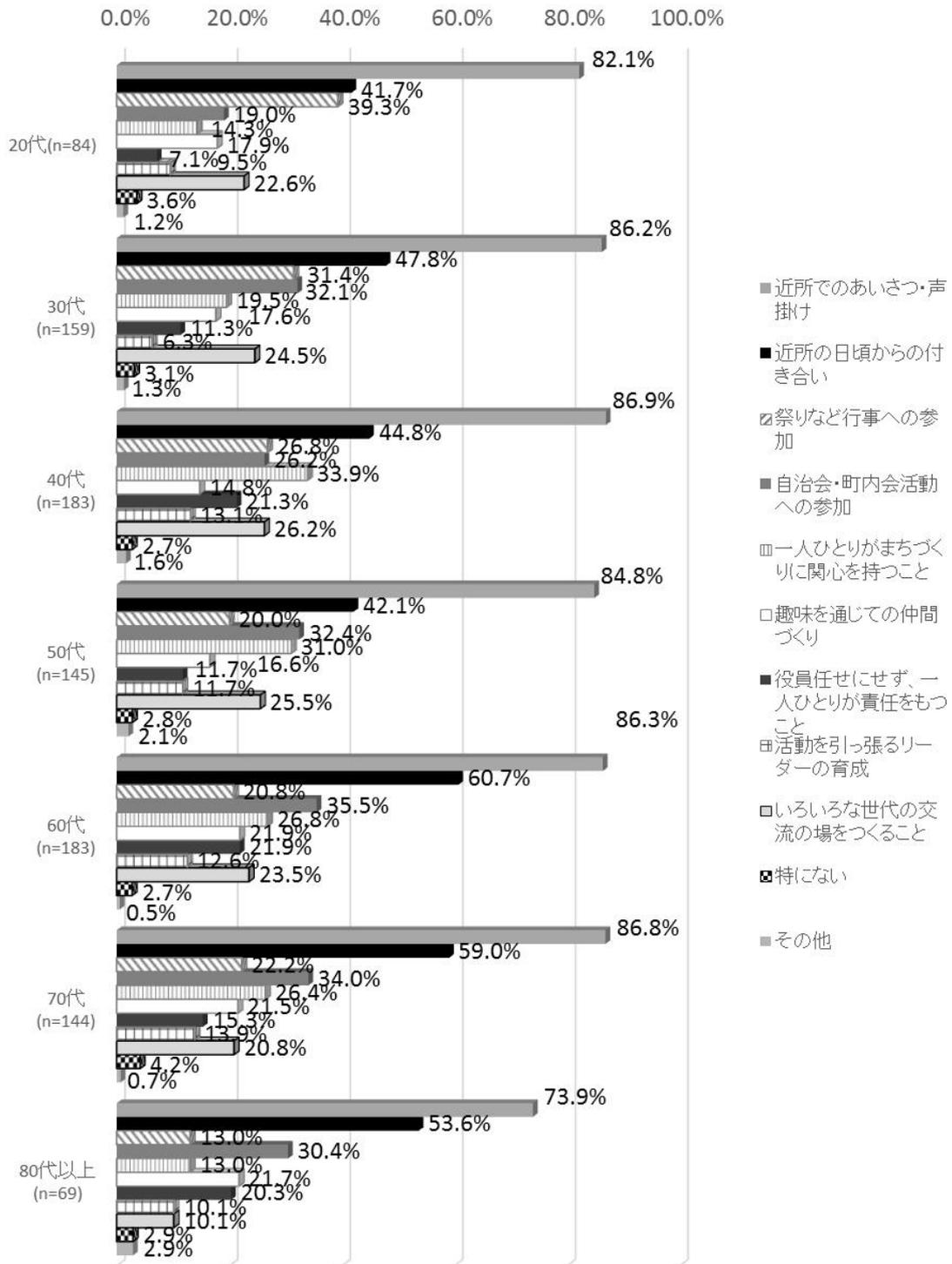


図 16. 関係づくりのために必要と考えること（年齢別）

■コメント

全ての年代で“近所でのあいさつ・声掛け”が重要であると考えており、60代以降になると“近所の日ごろからのつきあい”が重要と考える割合が5割を超えた。

地域活動への参加状況

【1】自身の健康度別

1. 地域活動に参加している

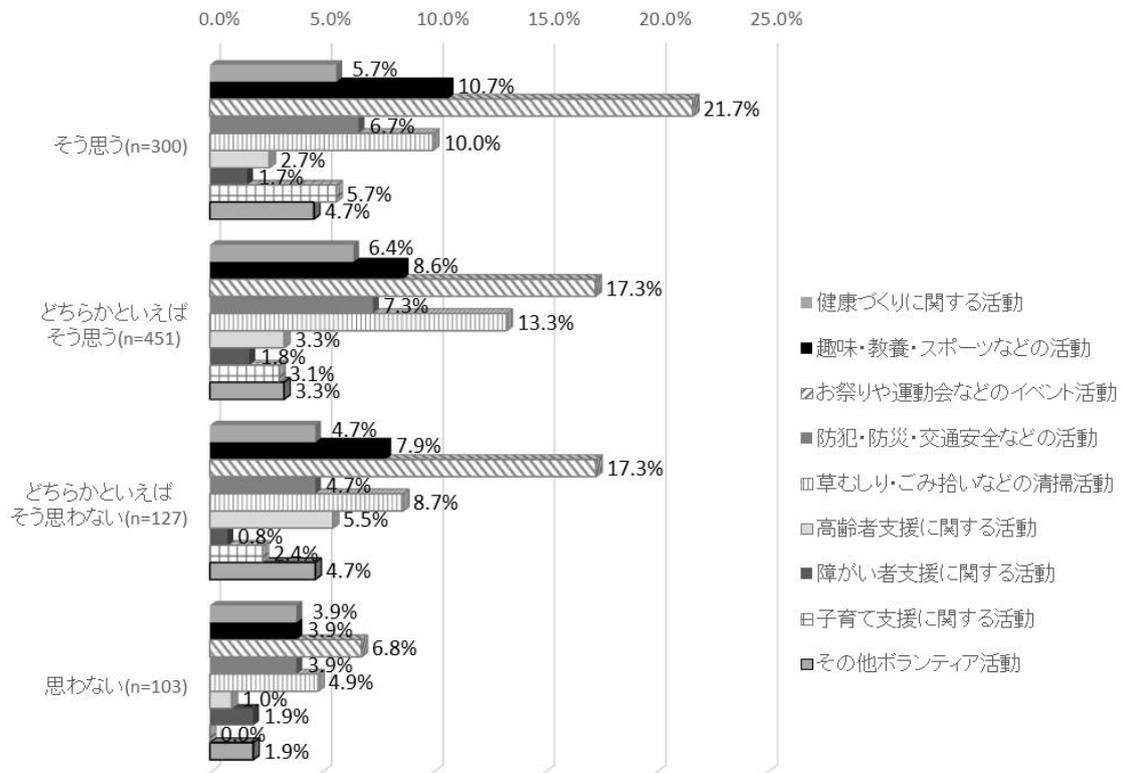


図 17-1. 地域活動への参加状況（健康度別・地域活動に参加している）

■コメント

大きな差はないが、健康に自信がある人ほど地域活動に参加している傾向がある。

2. 地域活動に今は参加していないし、今後もしるつもりはない

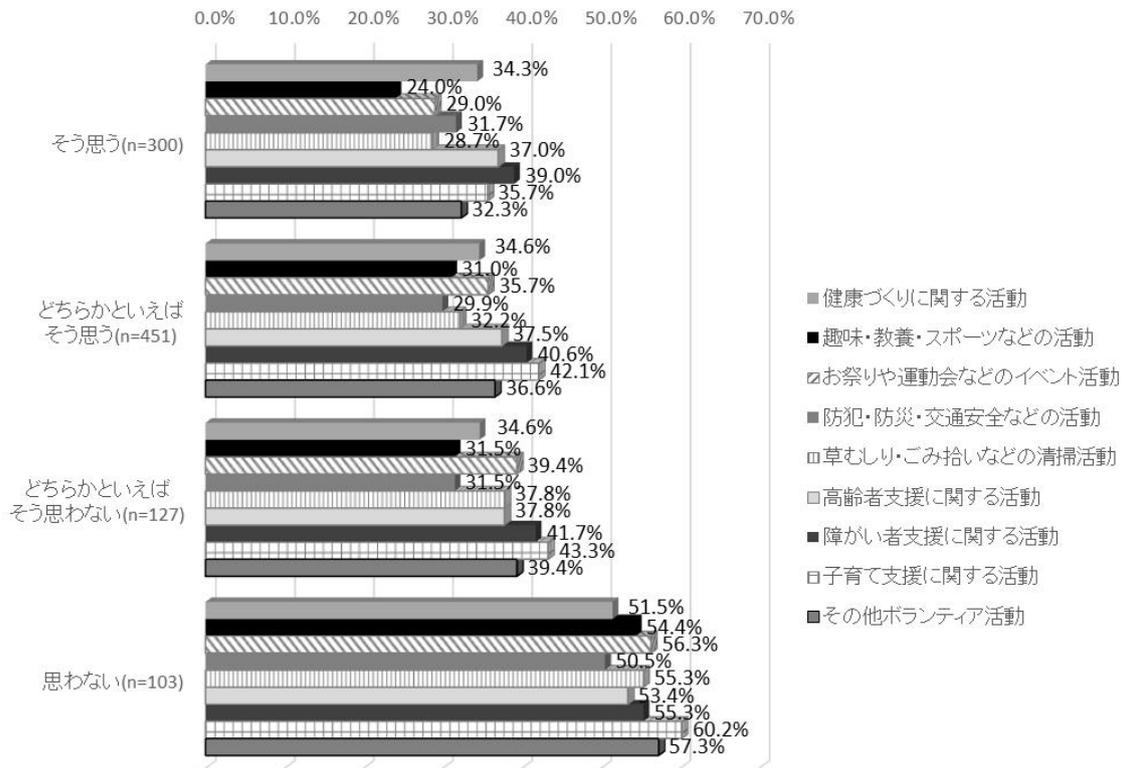


図 17-2. 地域活動への参加状況（健康度別・地域活動に今は参加していないし、今後もしるつもりはない）

【2】性別別

1. 地域活動に参加している

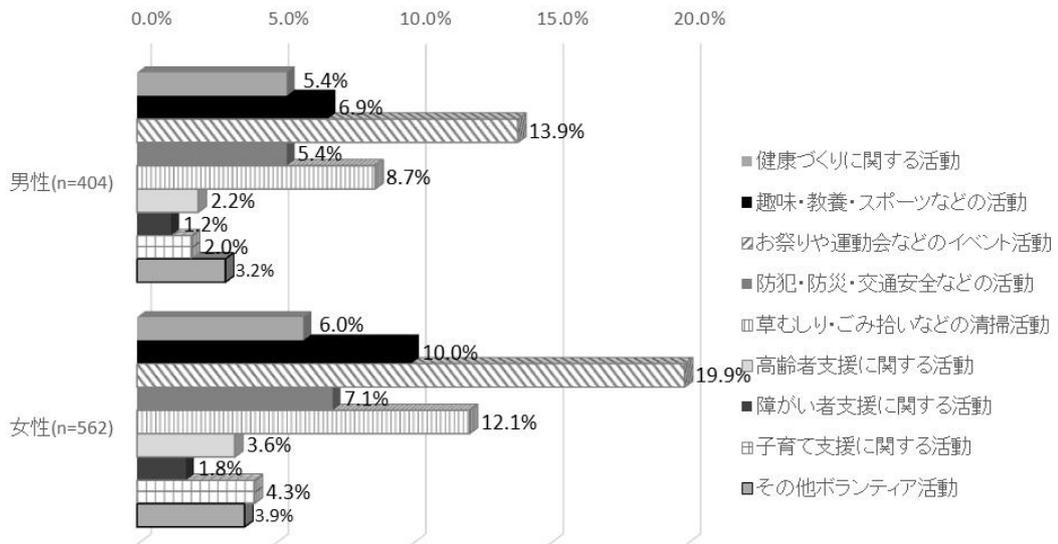


図 17-3. 地域活動への参加状況（性別別・地域活動に参加している）

■コメント

全ての項目において女性の方が男性よりも地域活動に参加している。男性の参加を促すことが有効ではないか。

2. 地域活動に今は参加していないし、今後もするつもりはない

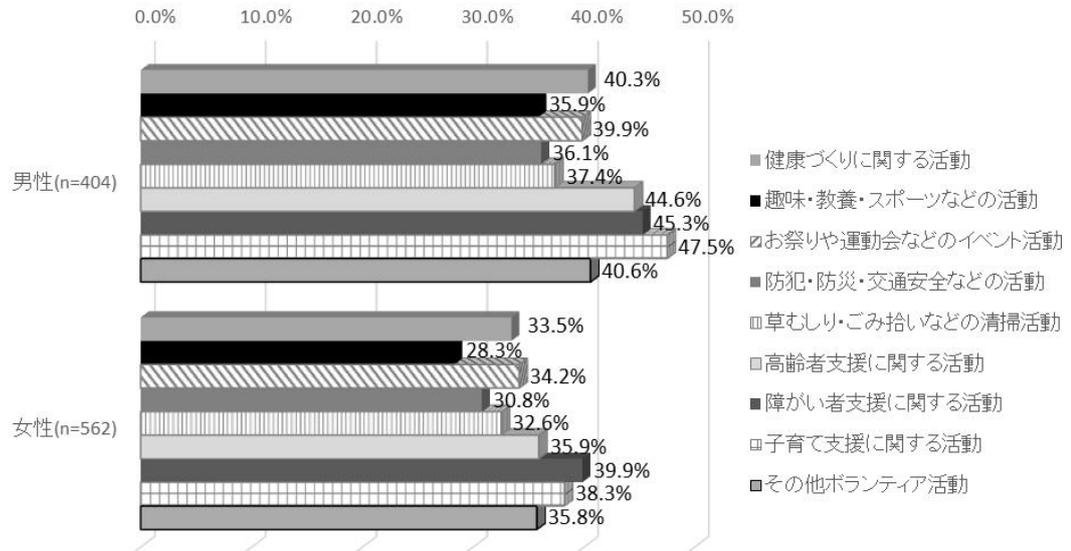


図 17-4. 地域活動への参加状況（性別別・地域活動に今は参加していないし、今後もするつもりはない）

【3】年齢別

1. 地域活動に参加している

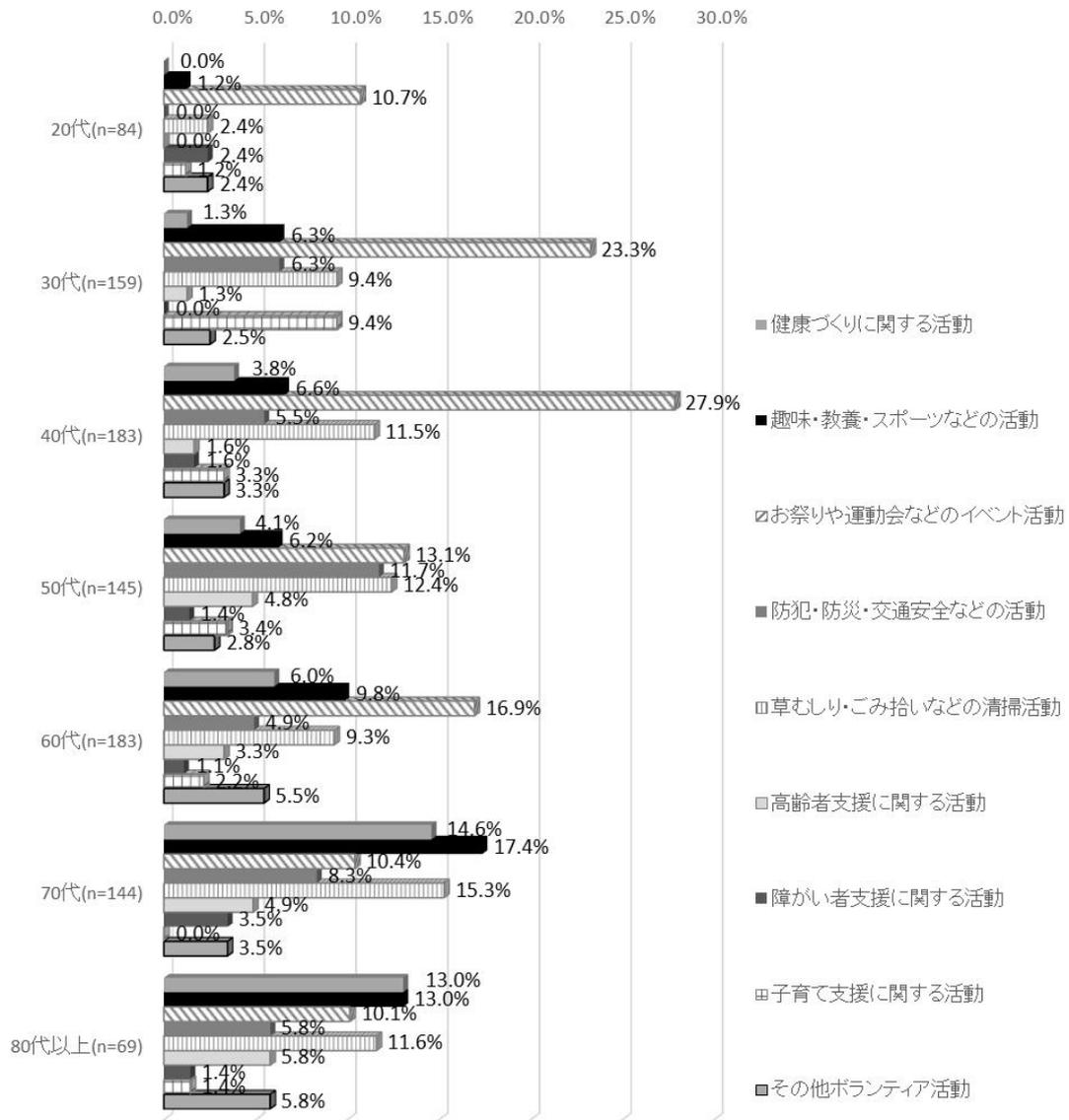


図 17-5. 地域活動への参加状況（年齢別・地域活動に参加している）

■コメント

全体的に年代が上になるほど地域活動への参加が増えるようである。しかし、“子育て支援に関する活動”は子育て世代の30代の参加が多く、“お祭りや運動会などの清掃活動”は30代と40代の参加が多い。自身の環境が影響しているようである。

2. 地域活動に今は参加していないし、今後もするつもりはない

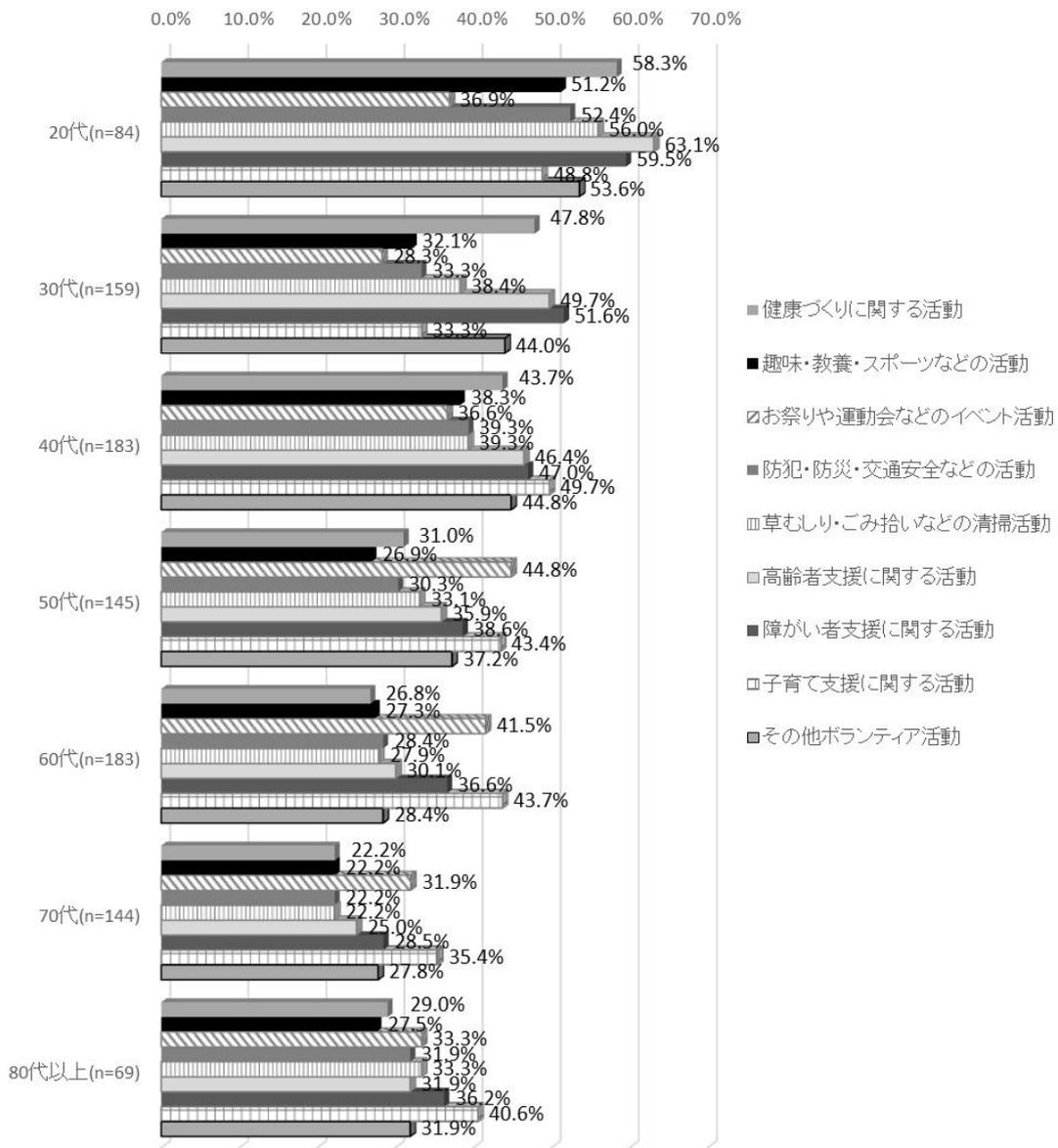


図 17-6. 地域活動への参加状況（年齢別・地域活動に今は参加していないし、今後もするつもりはない）

■コメント

年代別の地域活動に参加しない意思是下の年代ほど高い割合になっている。しかし、“お祭りや運動会などのイベント活動”に関しては20代、30代であっても低い割合となっており、若者の興味がある活動を周知推進することが、地域活動の参加の促進になるのではないか。

【4】居住年数別

1. 地域活動に参加している

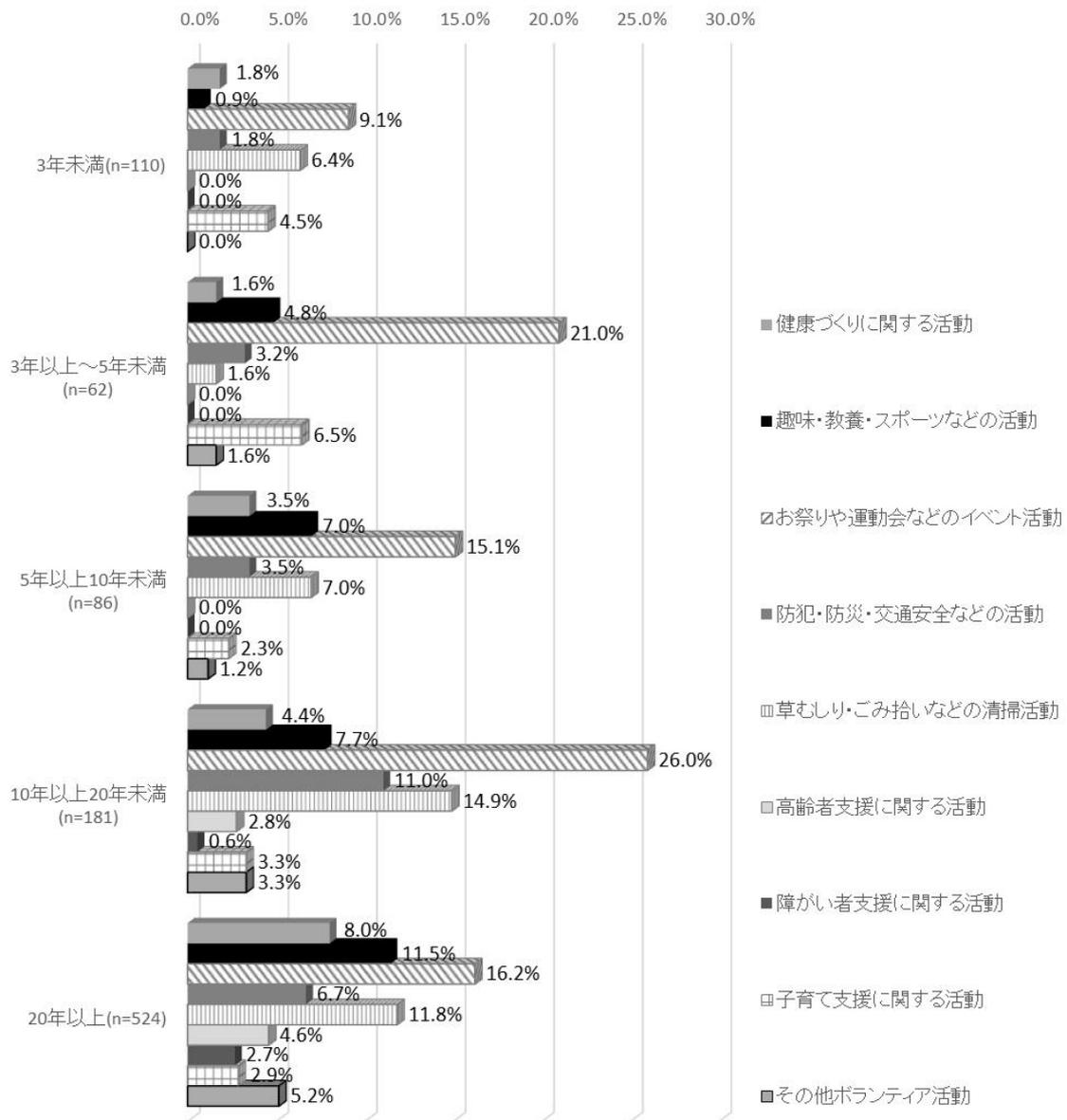


図 17-7. 地域活動への参加状況（居住年数別・地域活動に参加している）

■コメント

居住年数と地域活動の関係であるが、居住年数が長いほど地域活動に参加している傾向がある。総数は少ないが“子育て支援”に関しては居住年数との相関関係はあまり認められなかった。

2. 地域活動に今は参加していないし、今後もするつもりはない

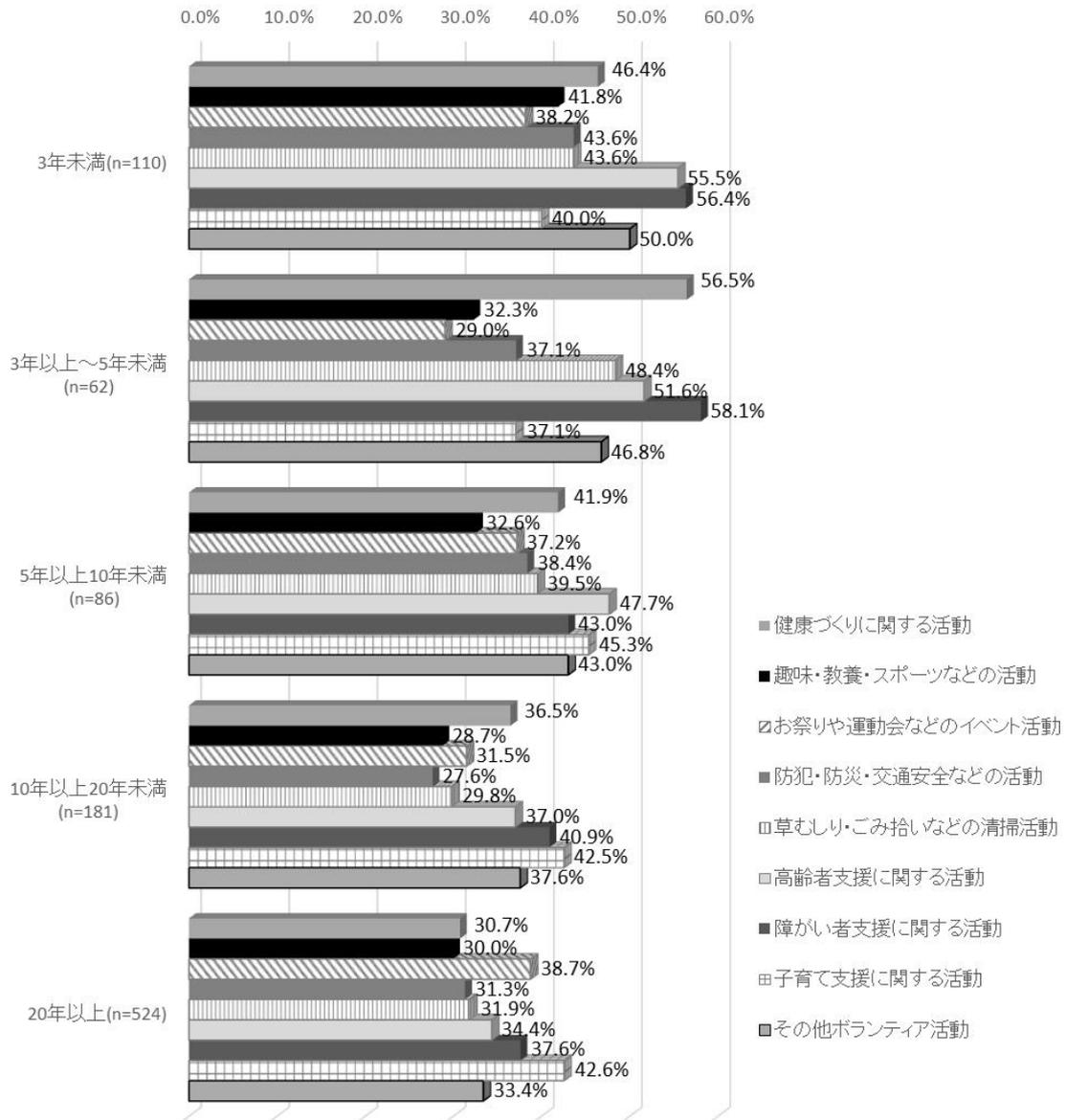


図 17-8. 地域活動への参加状況（居住年数別・地域活動に今は参加していないし、今後もするつもりはない）

【5】就業状況別

1. 地域活動に参加している

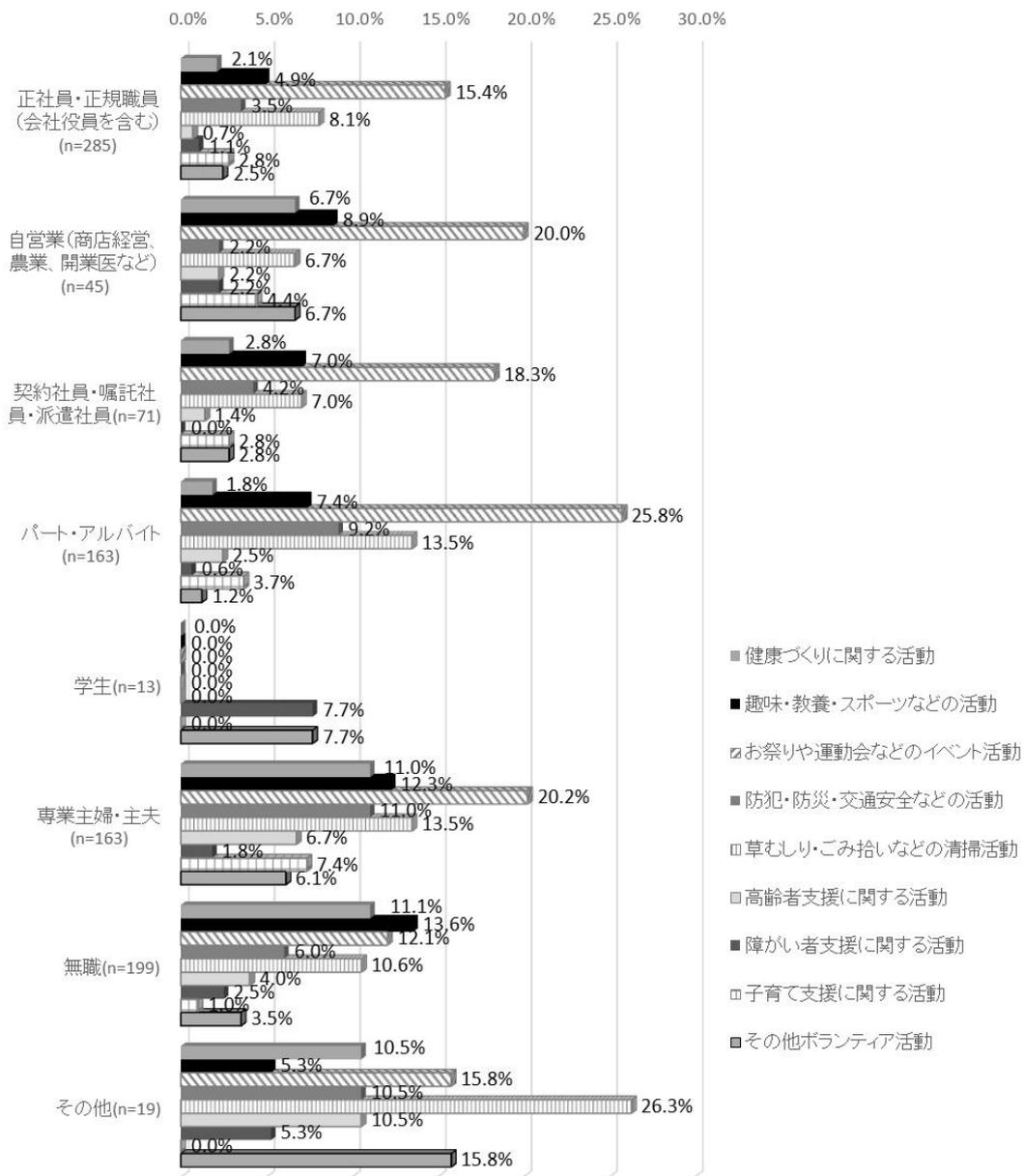


図 17-9. 地域活動への参加状況（就業状況別・地域活動に参加している）

■コメント

労働者と学生は地域活動の参加割合が低い。しかし、“お祭りや運動会などのイベント活動”に関しては、学生を除いて割合が高い。自身や家族に関係のあるイベントに関しては地域活動に参加する傾向がある。

2. 地域活動に今は参加していないし、今後もするつもりはない

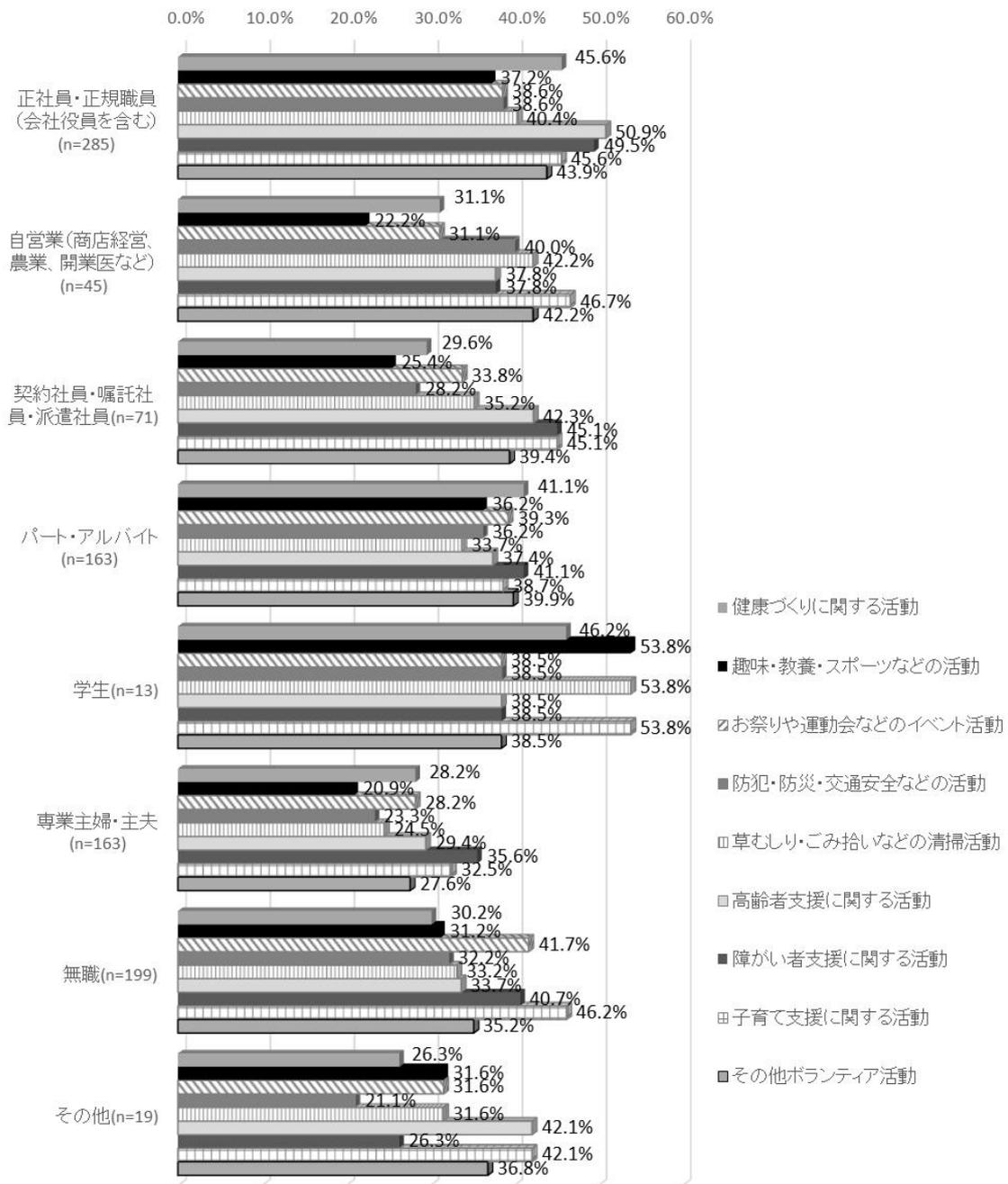


図 17-10. 地域活動への参加状況 (就業状況別・地域活動に今は参加していないし、今後もするつもりはない)

地域活動に参加したきっかけ

【1】性別別

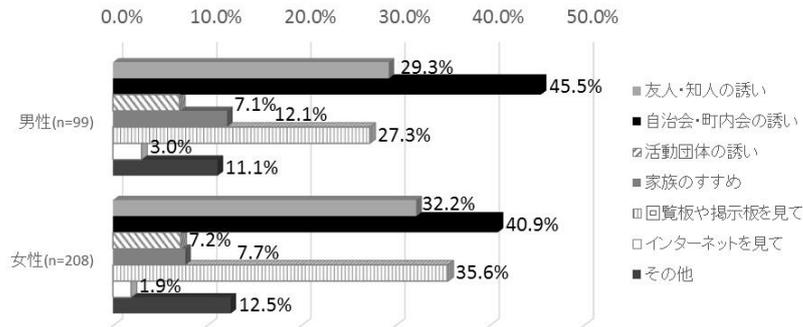


図 18-1. 地域活動に参加したきっかけ（性別別）

■コメント

男性は“自治会・町内会の誘い”と“家族のすすめ”の割合が女性に比べて約4%高く、女性は“回覧板や掲示板を見て”の割合が男性よりも8.3%高い。

【2】年齢別

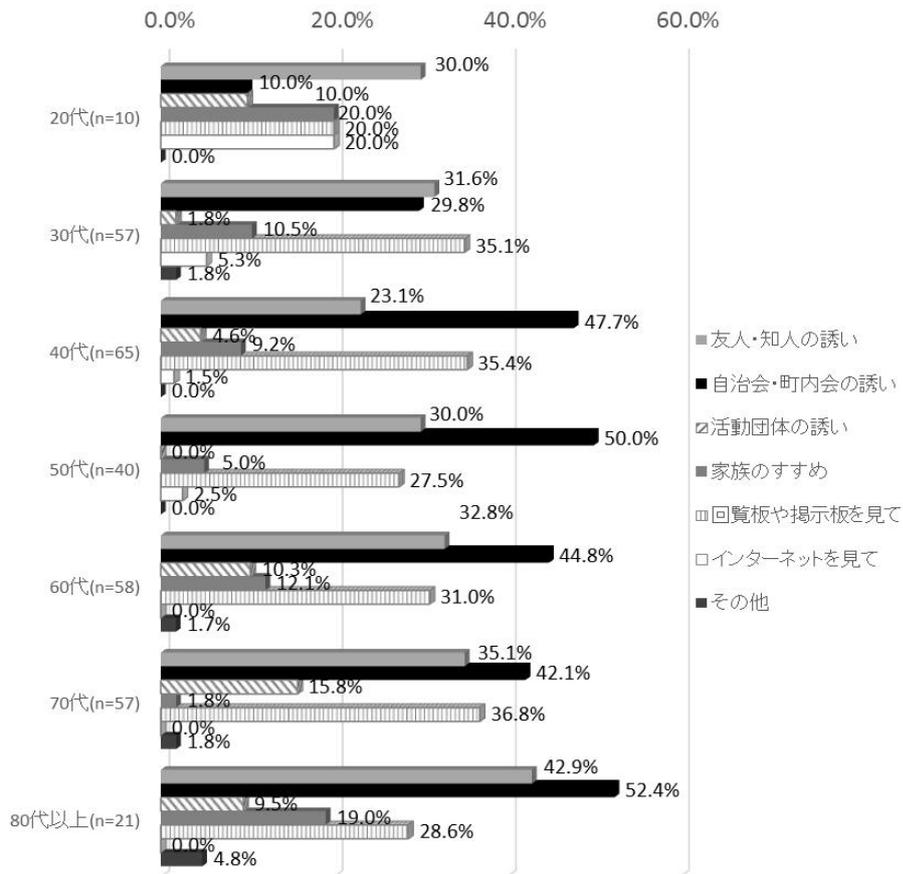


図 18-2. 地域活動に参加したきっかけ（年齢別）

■コメント

20代、30代は“友人・知人の誘い”と“回覧板や掲示板を見て”の割合が高い。40代以降は“自治会・町内会の誘い”の割合が高くなる。

地域活動に参加してよかったと思うこと

【1】年齢別

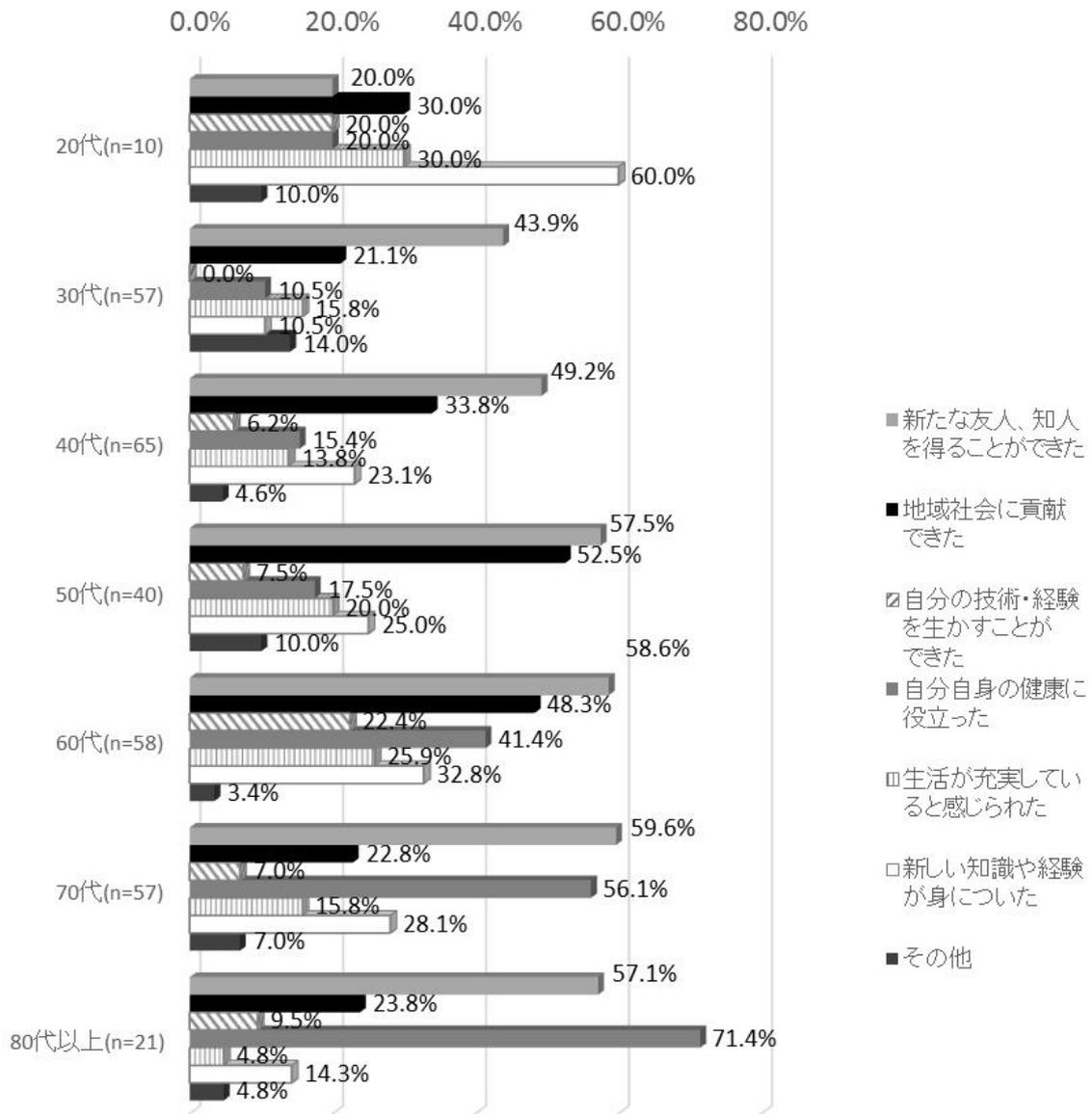


図 19. 地域活動に参加してよかったと思うこと（年齢別）

■コメント

年代が上になるほど“新たな友人、知人を得ることができた”と“自分自身の健康に役立った”の割合が高くなった。20代では“新しい知識や経験が身についた”の割合が60.0%と他の年代を大きく引き離して高い割合となっている。若者は自分が持っていない知識と経験を習得する機会を求めている可能性がある。

地域活動に関する情報収集方法

【1】年齢別

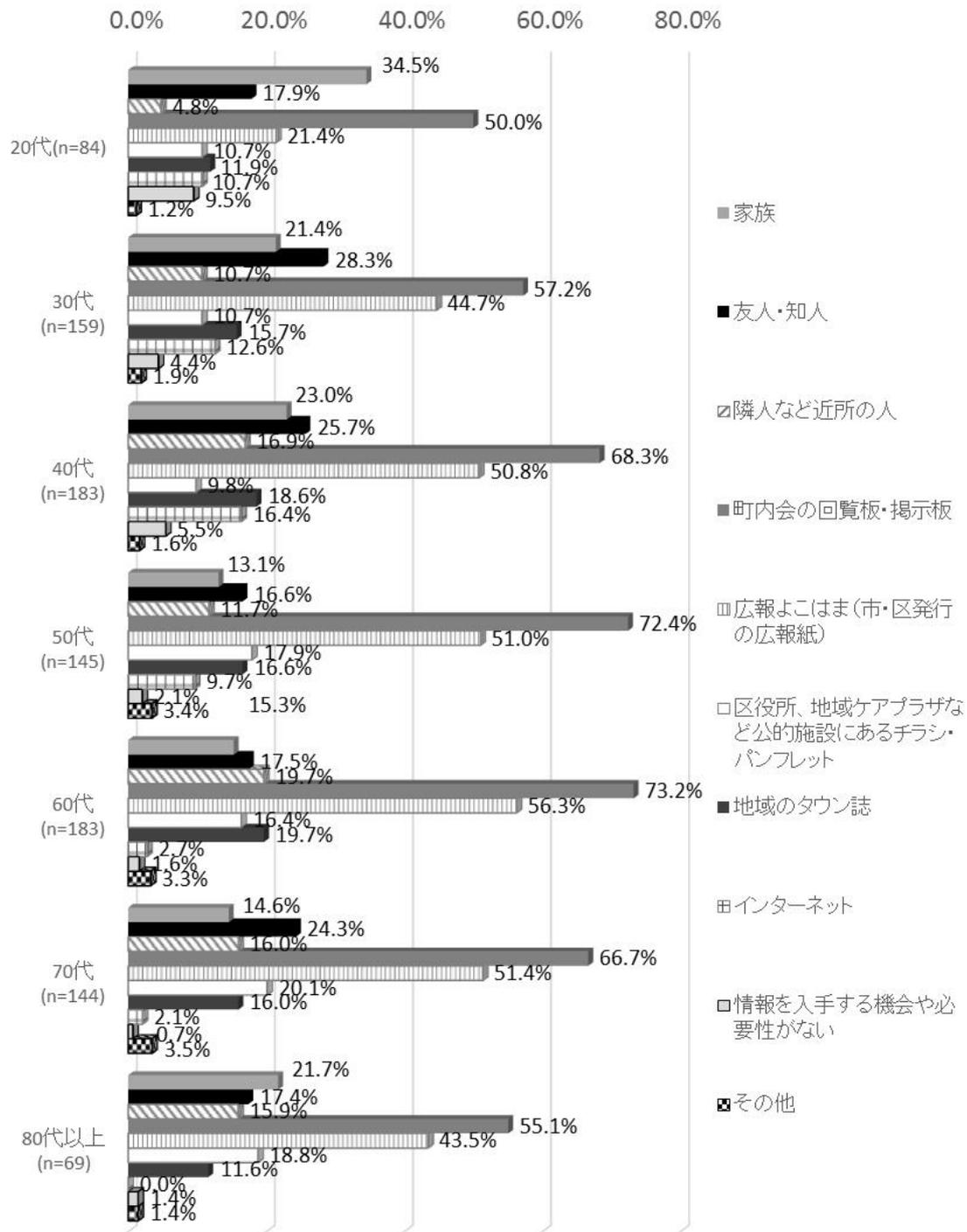


図 20. 地域活動に関する情報収集方法（年齢別）

■コメント

全ての年代において“町内会の回覧版・掲示板”で情報収集している割合が高く、すべて50%を超えている。20代は“家族”から情報収集している割合が他の年代と比べて高い。家庭内のコミュニケーションの促進も重要ではないか。

近所で手伝ってもらいたいこと

【1】年齢別

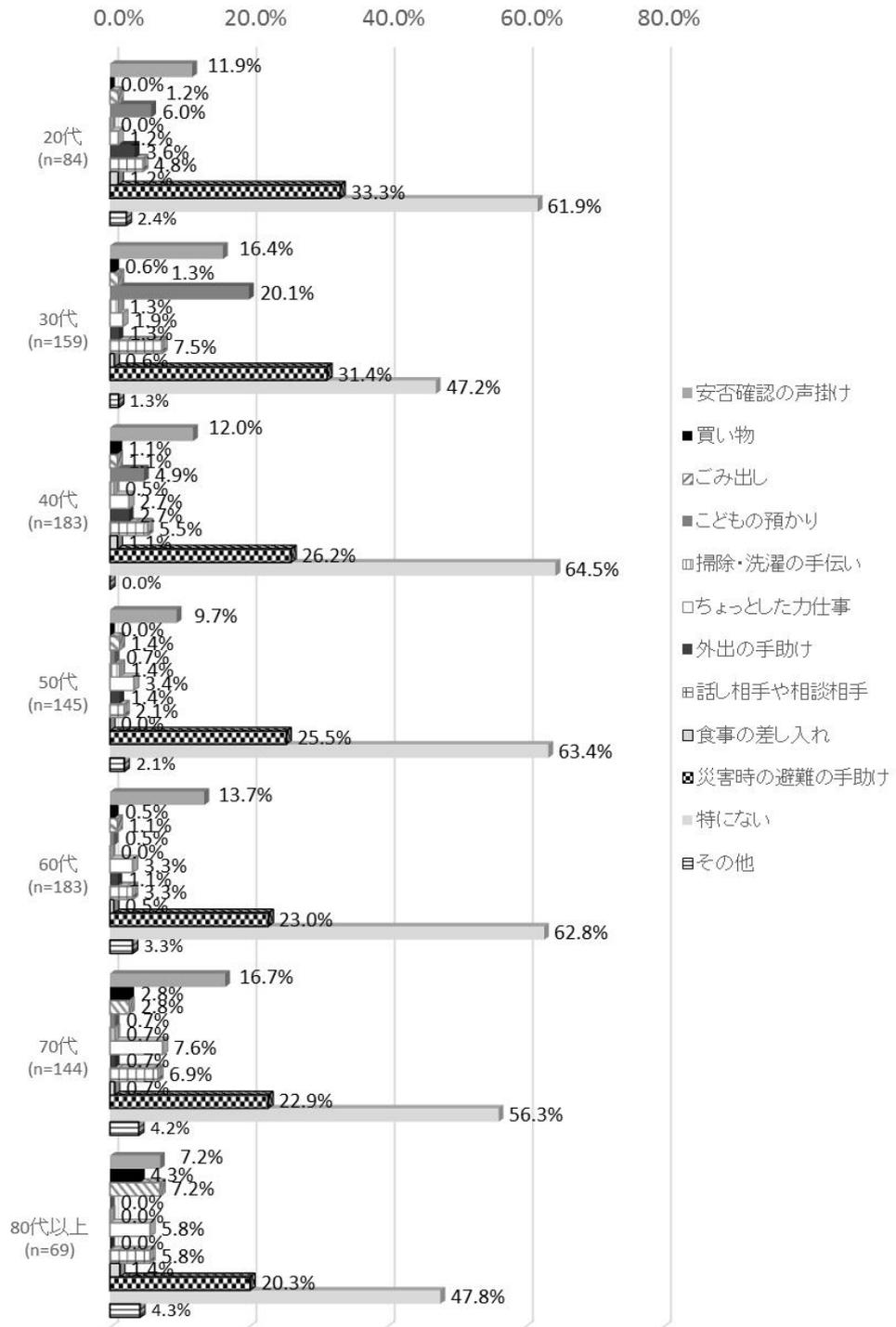


図 21-1. 近所で手伝ってもらいたいこと（年齢別）

■コメント

“特にない”という意見が全体的に多いが、年代が下の方が“災害時の避難の手助け”を望んでいる。子育て世代にとっては災害の心配が強いようだ。

【2】家族形態別

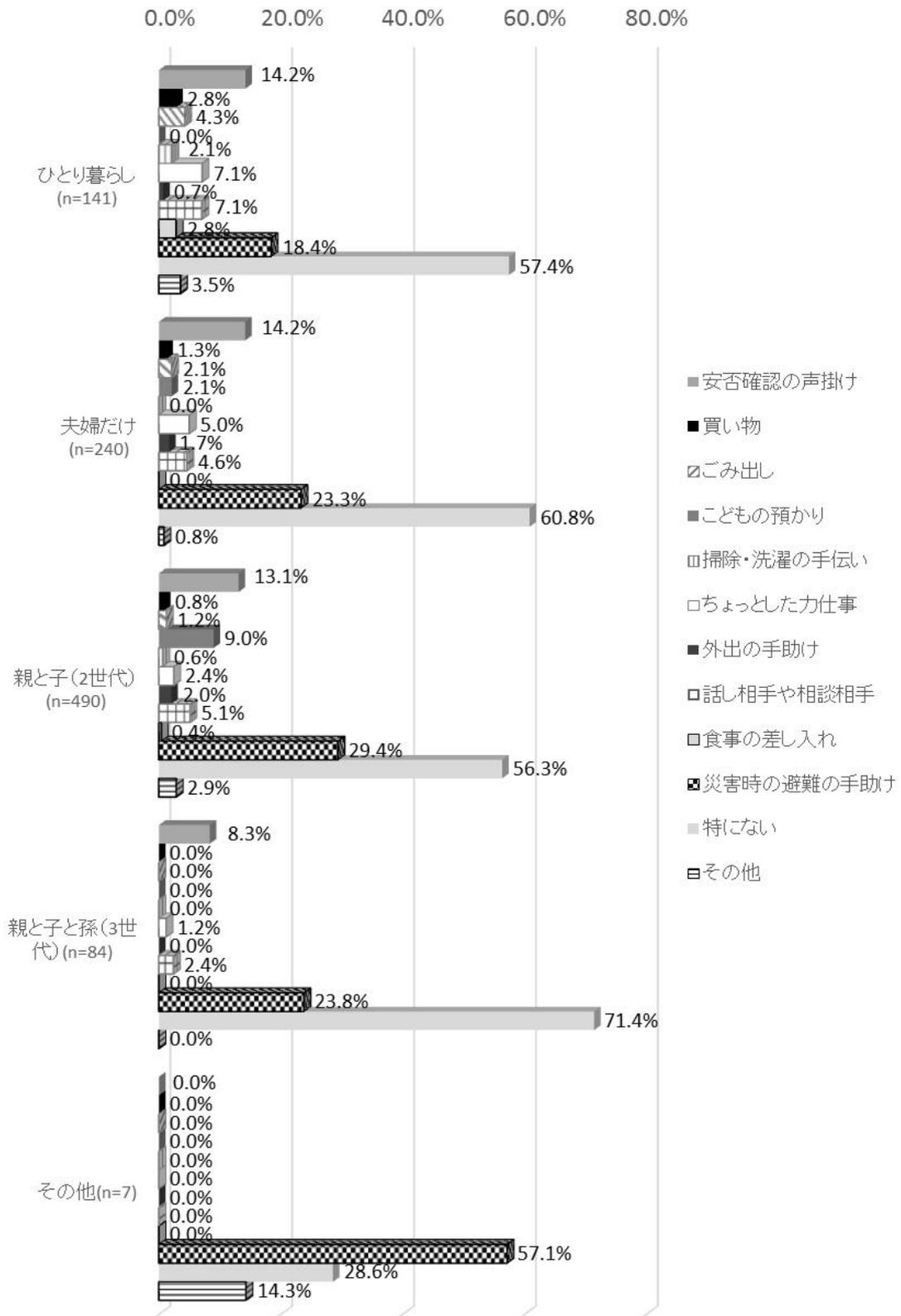


図 21-2. 近所で手伝ってもらいたいこと（家族形態別）

近所の困っている人にできる手伝い

【1】性別別

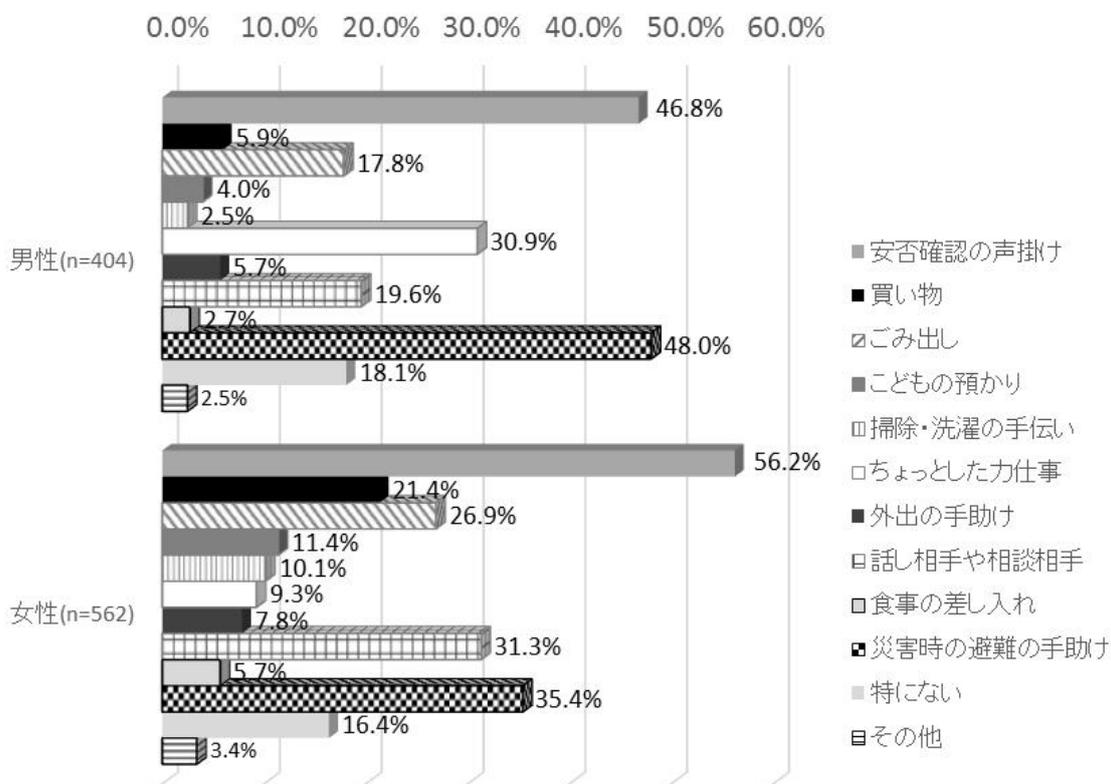


図 22-1. 近所の困っている人にできる手伝い（性別別）

■コメント

男性は“ちょっとした力仕事”の割合が女性に比べて21.6%高い。次いで“災害時の避難の手助け”も12.6%高い割合となった。女性は“話し相手や相談相手”の割合が男性に比べて11.7%高い。次いで“安否確認の声掛け”の割合が9.4%高い結果となった。

【2】年齢別

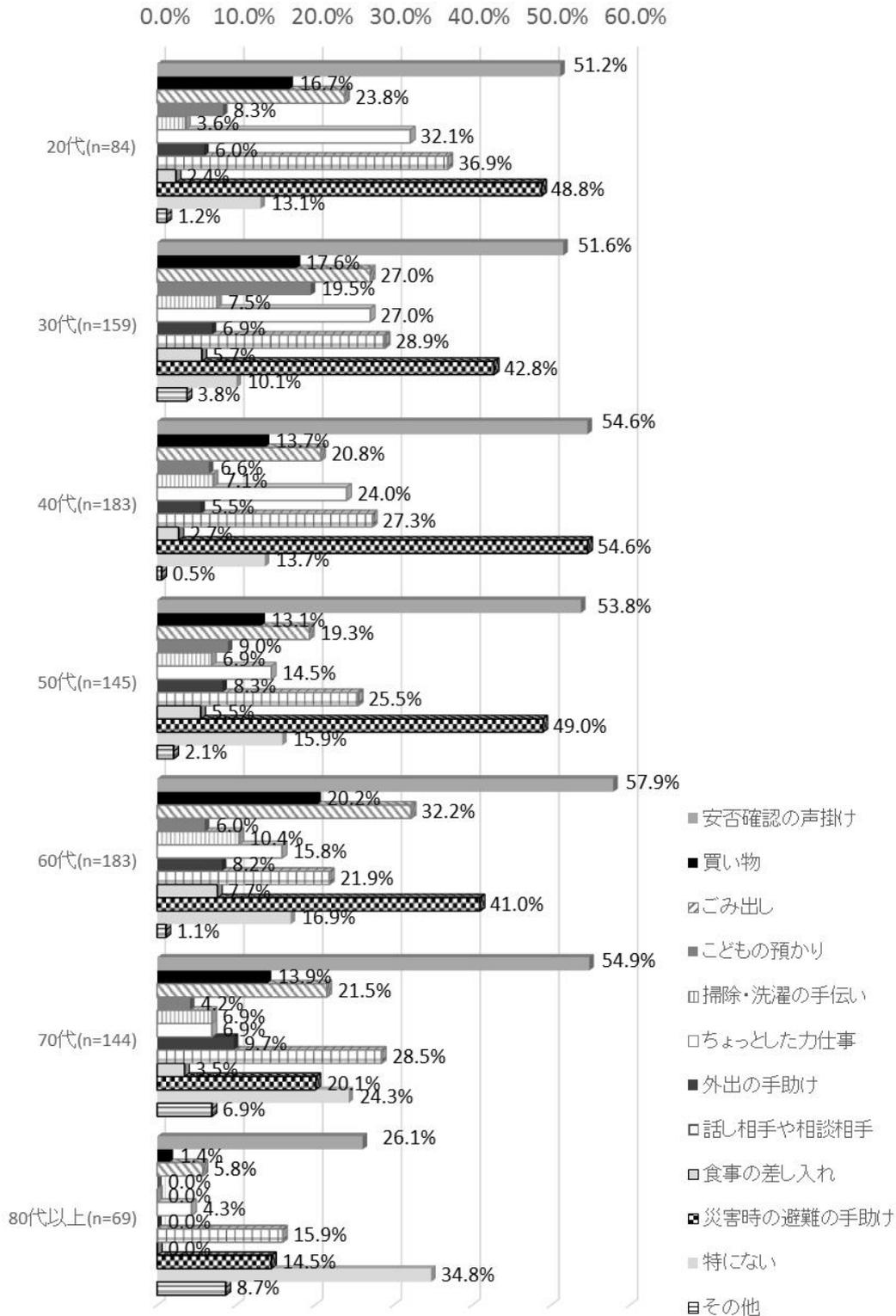


図 22-2. 近所の困っている人にできる手伝い（年齢別）

■コメント

年代が下になるほど、困っている人にできる手伝いが多いと考える傾向がある。

【3】就業状況別

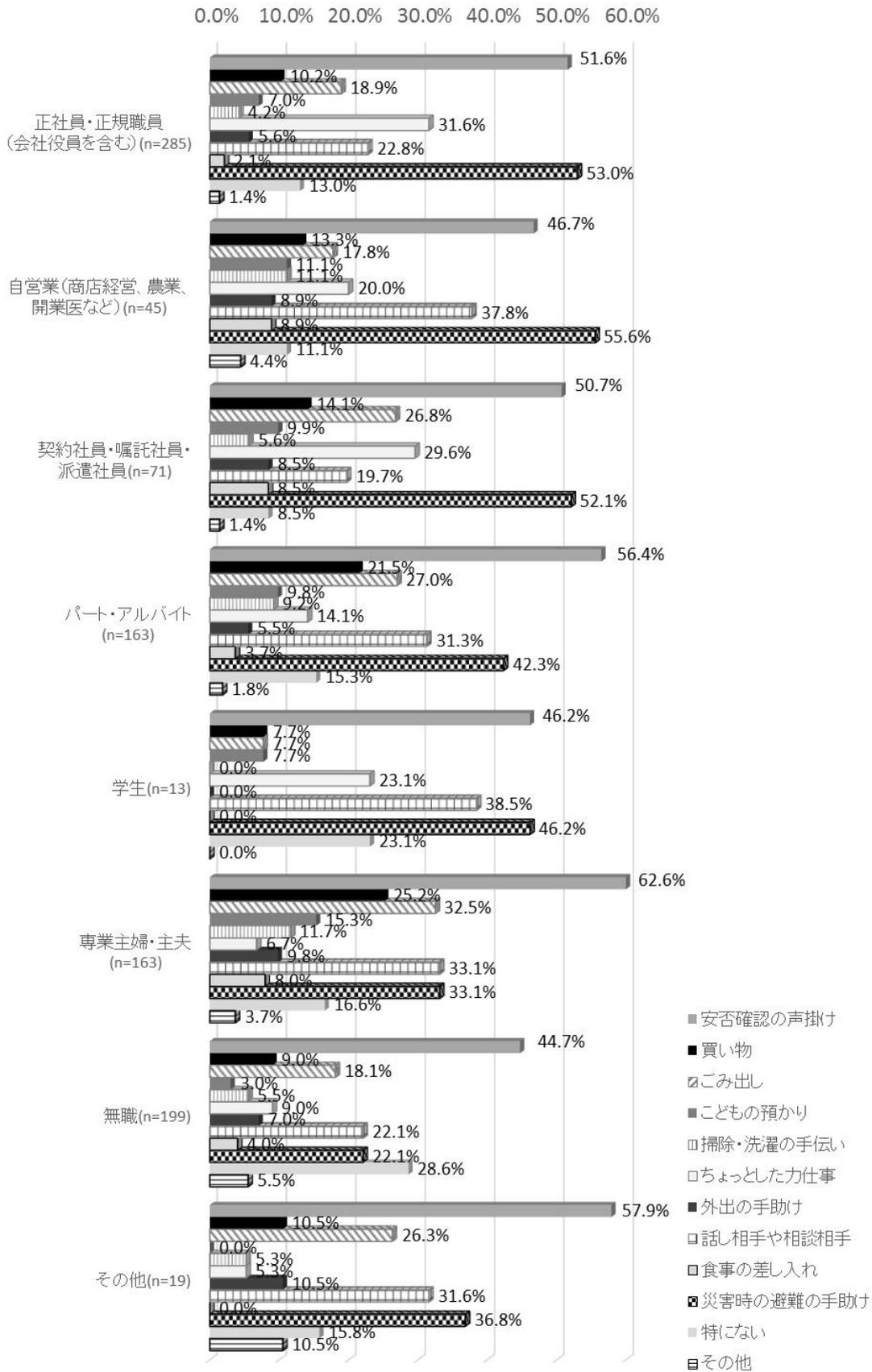


図 22-3. 近所の困っている人にできる手伝い（就業状況別）

住みやすくなるために、今後充実するとよいこと

【1】自身の健康度別

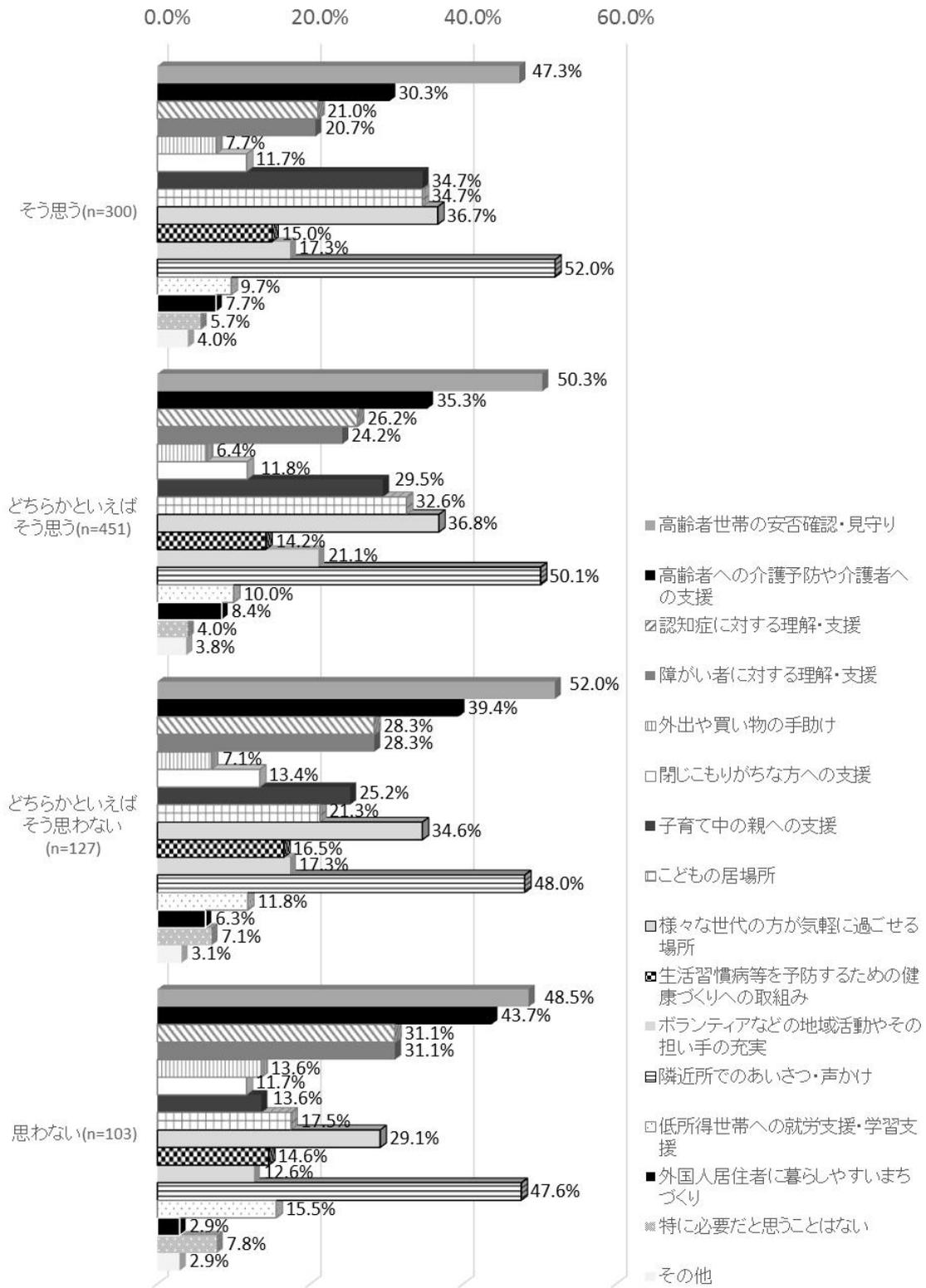


図 23-1. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（自身の健康度別）

【2】年齢別

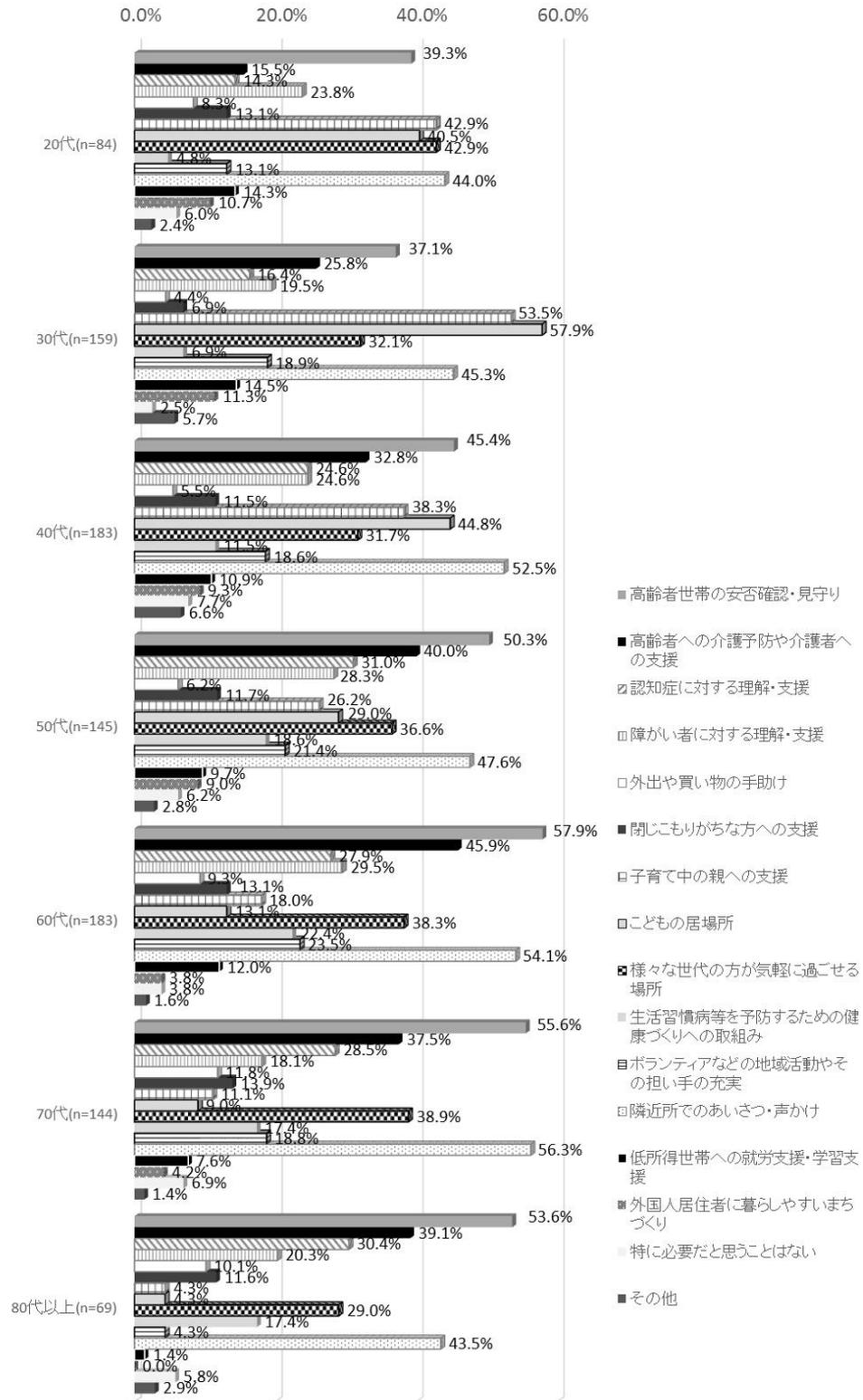


図 23-2. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（年齢別）

■コメント

20代から60代は年齢が上になるほど“高齢者世帯の安否確認・見守り”と“高齢者への介護予防や介護者への支援”の割合が高くなる。“子育て中の親への支援”と“こどもの居場所”に関しては子育て世代の20代～40代の割合が高い。

【3】家族形態別

1. ひとり暮らし (n=141)

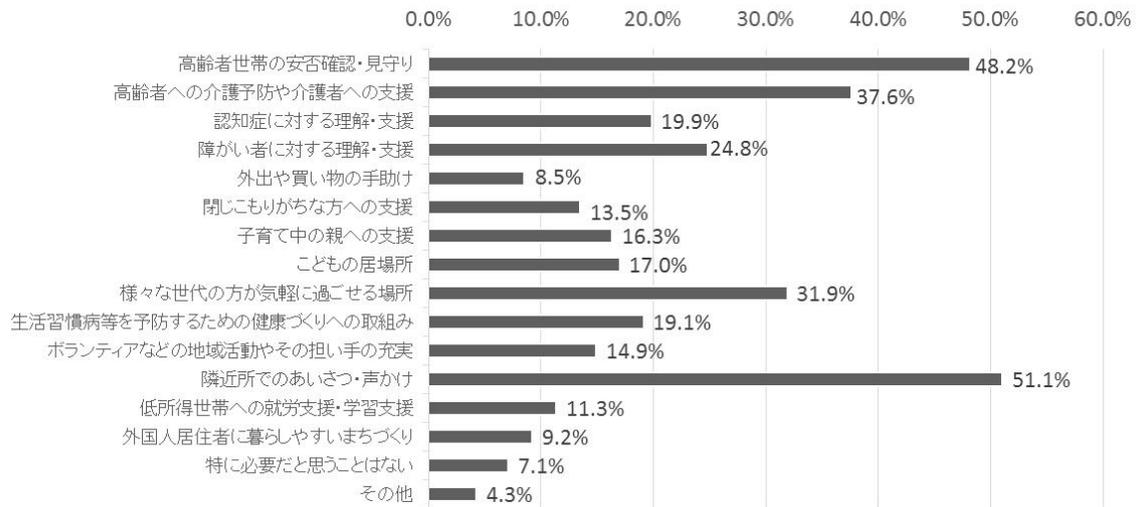


図 23-3. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（家族形態別・ひとり暮らし）

2. 夫婦だけ (n=240)

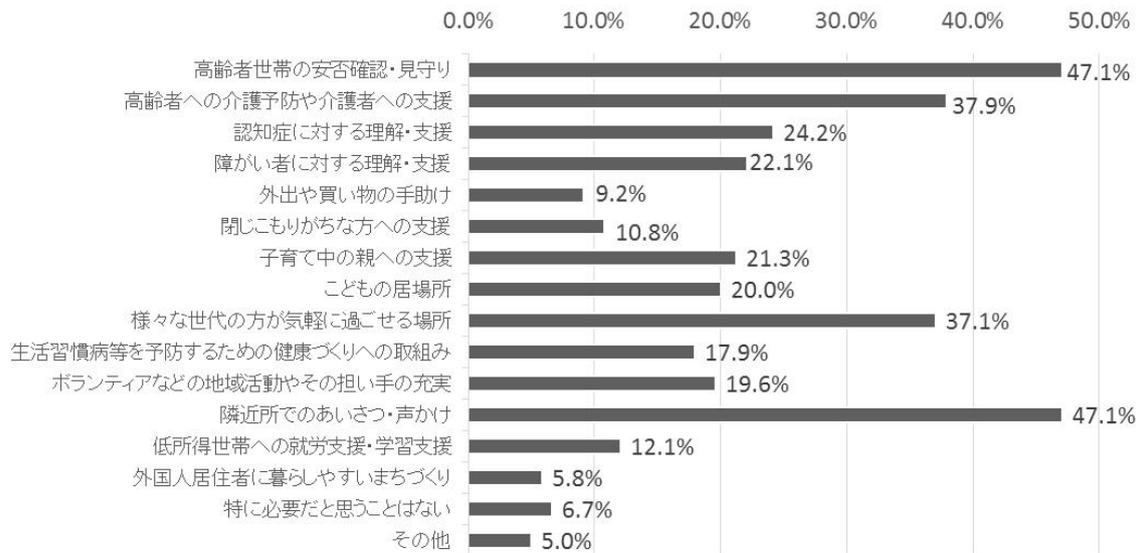


図 23-4. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（家族形態別・夫婦だけ）

3. 親と子（2世代）（n=490）

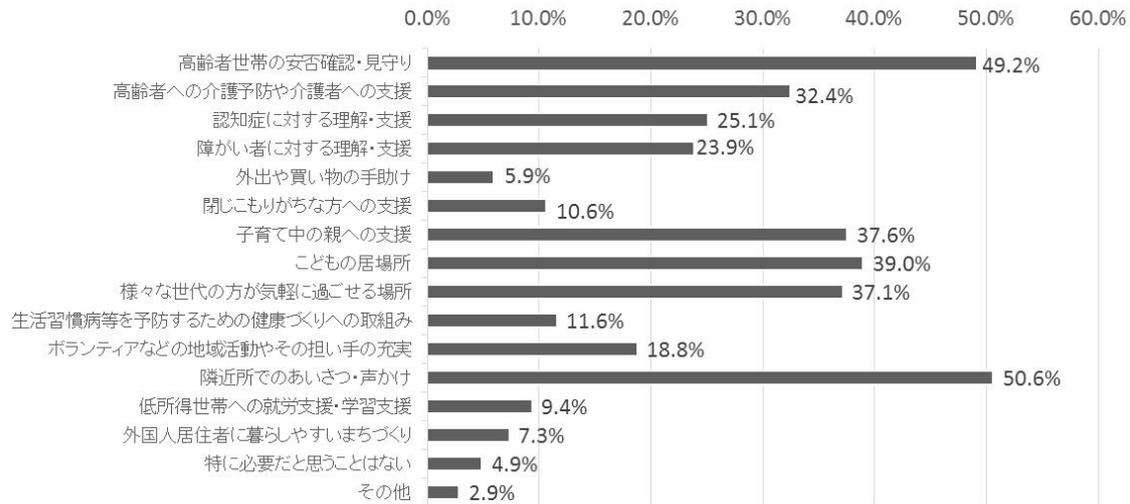


図 23-5. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（家族形態別・親と子（2世代））

4. 親と子（3世代）（n=84）

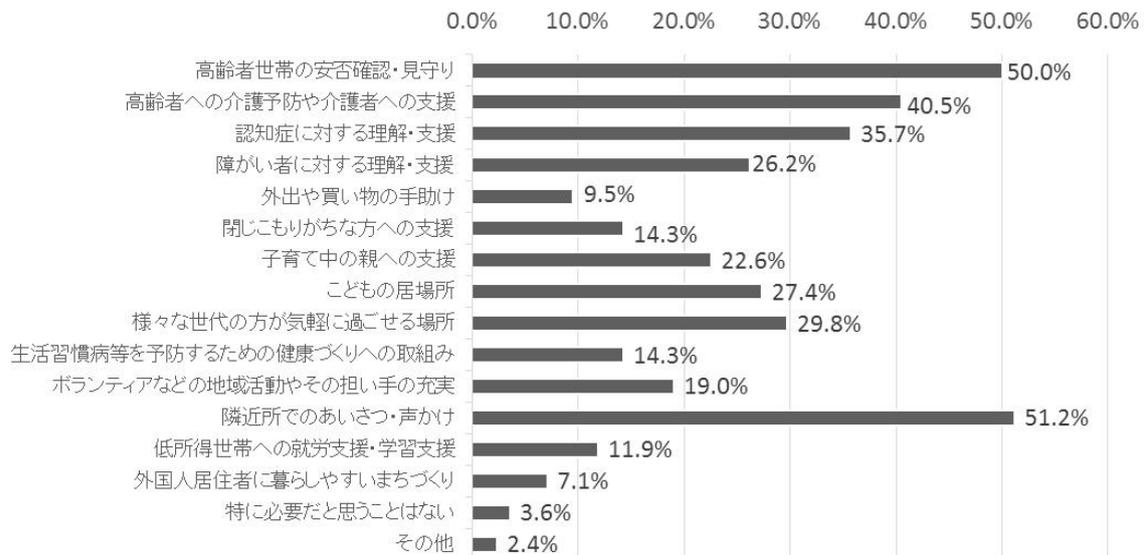


図 23-6. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（家族形態別・親と子（3世代））

5. その他 (n=7)

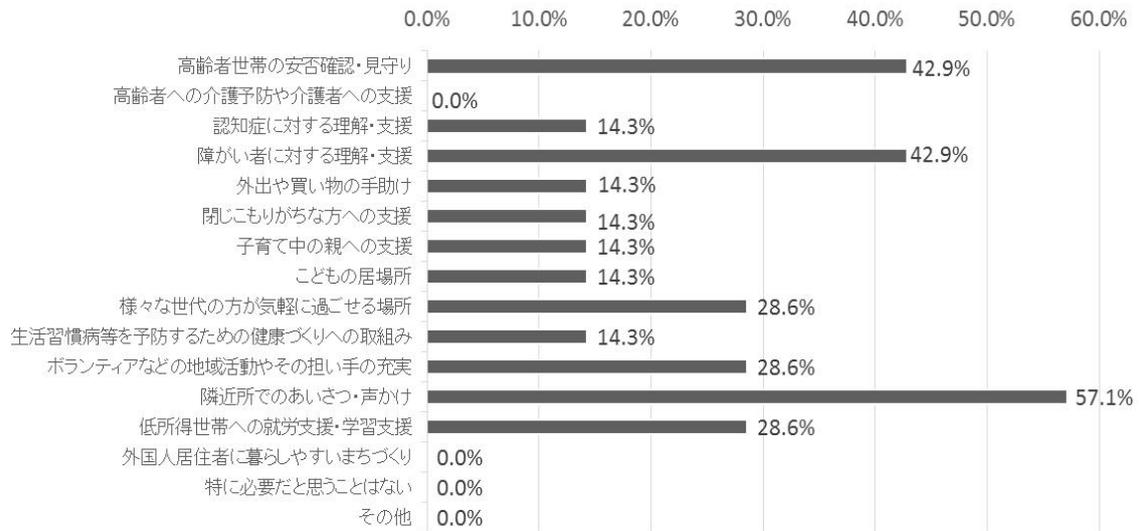


図 23-7. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（家族形態別・その他）

【4】就業状況別

1. 正社員・正規職員（会社役員を含む）(n=285)

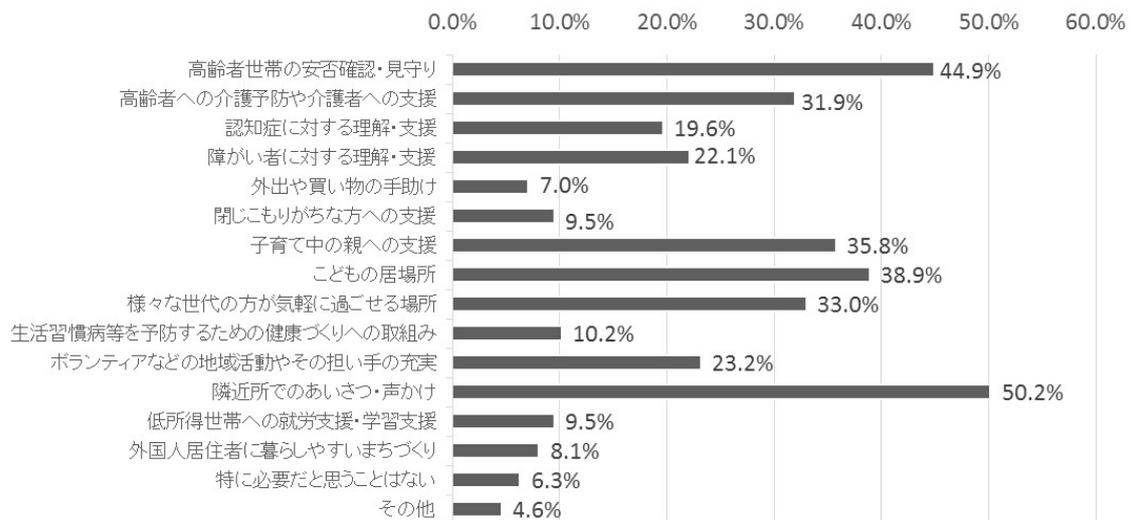


図 23-8. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（就業状況別・正社員、正規職員）

2. 自営業（商店経営、農業、開業医など）（n=45）

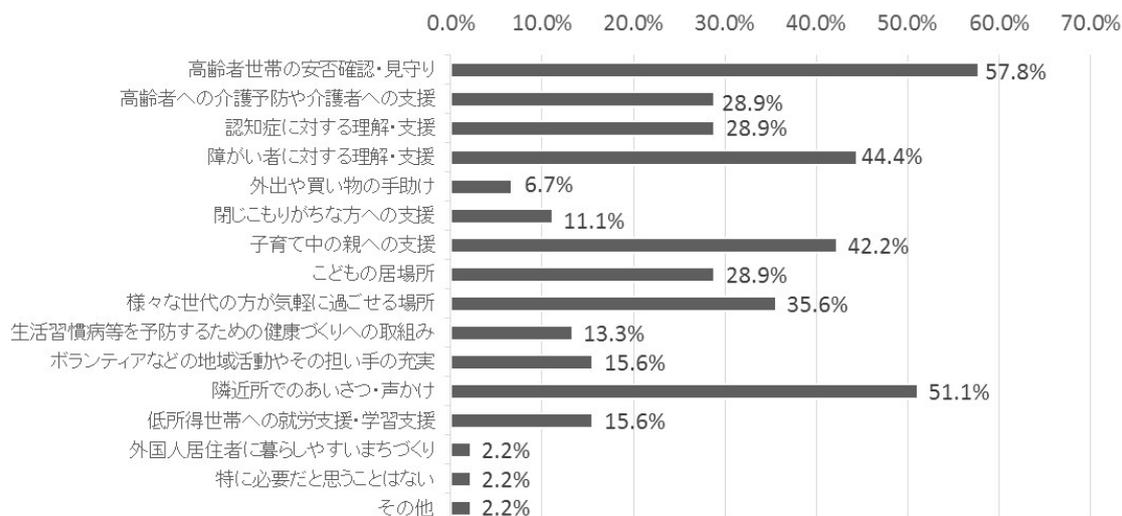


図 23-9. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（就業状況別・自営業）

3. 契約社員・嘱託社員・派遣社員（n=71）

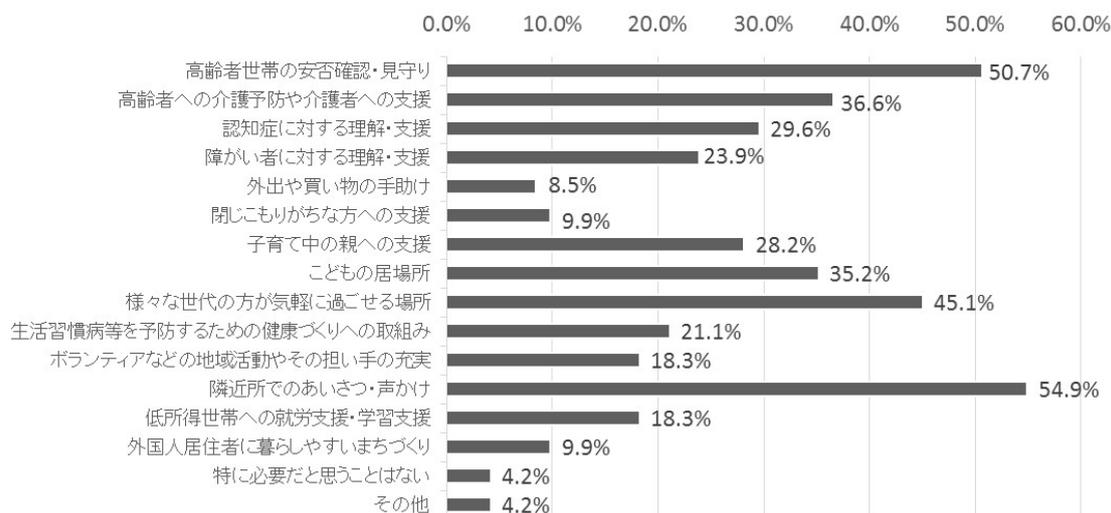


図 23-10. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（就業状況別・契約社員、嘱託社員、派遣社員）

4. パート・アルバイト (n=163)

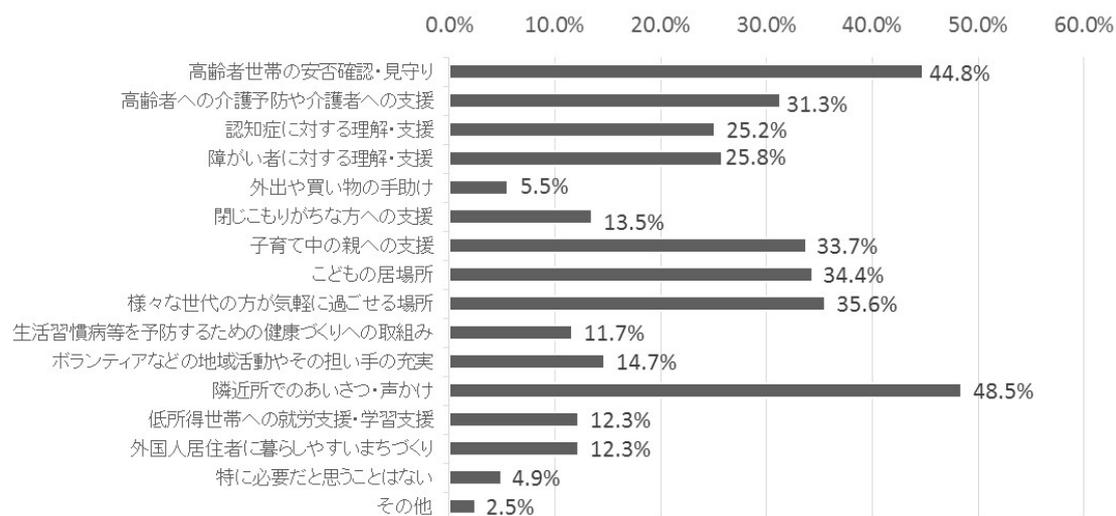


図 23-11. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（就業状況別・パート、アルバイト）

5. 学生 (n=13)

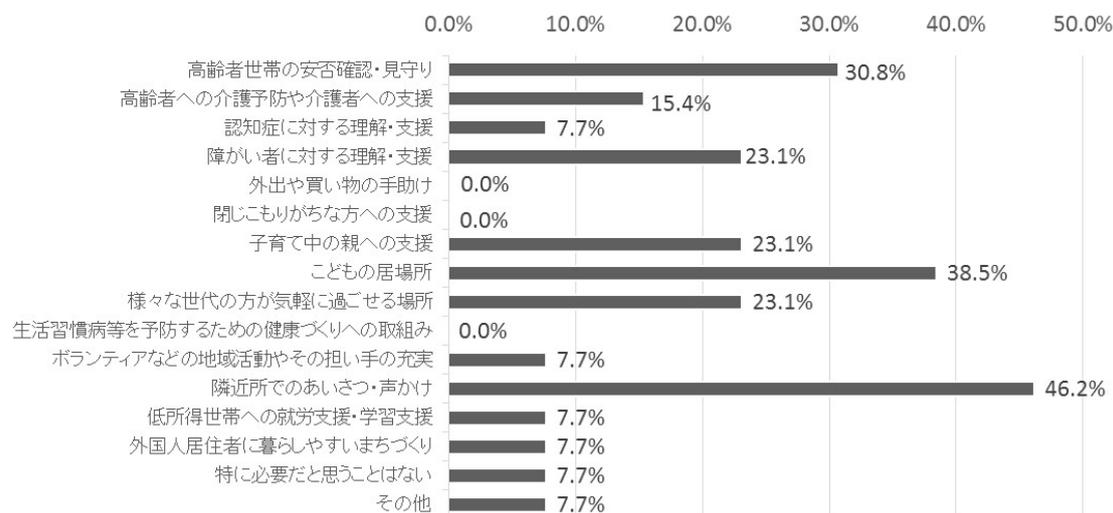


図 23-12. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（就業状況別・学生）

6. 専業主婦・主夫 (n=163)

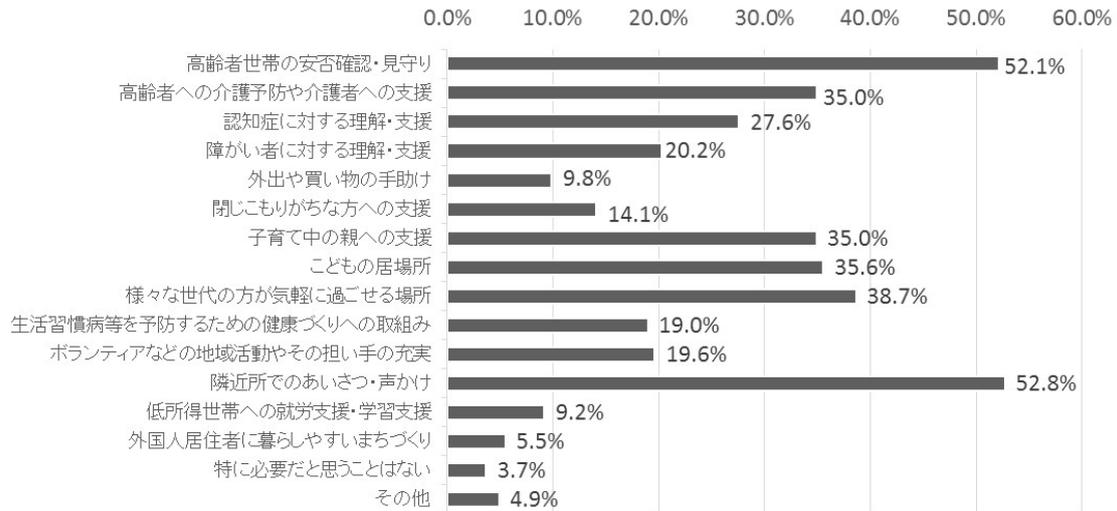


図 23-13. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（就業状況別・専業主婦、主夫）

7. 無職 (n=199)

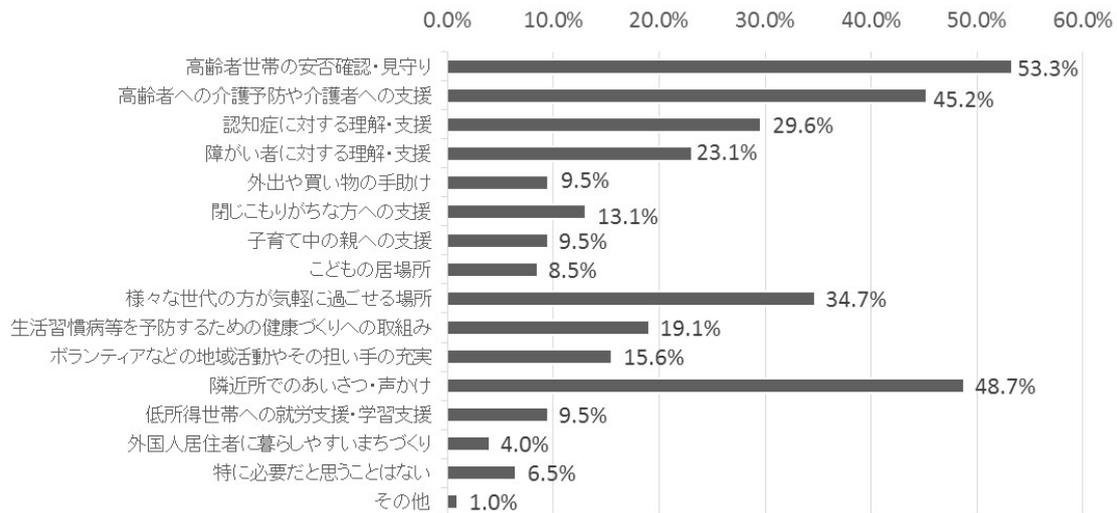


図 23-14. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（就業状況別・無職）

8. その他(n=19)

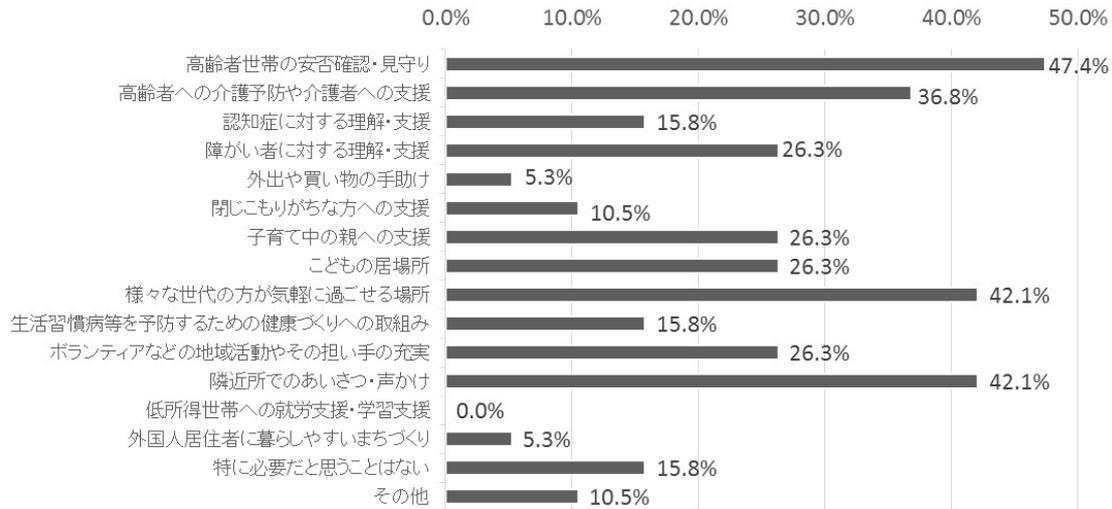


図 23-15. 住みやすくなるために、今後充実するとよいこと（就業状況別・その他）

健康について

【1】就業状況別

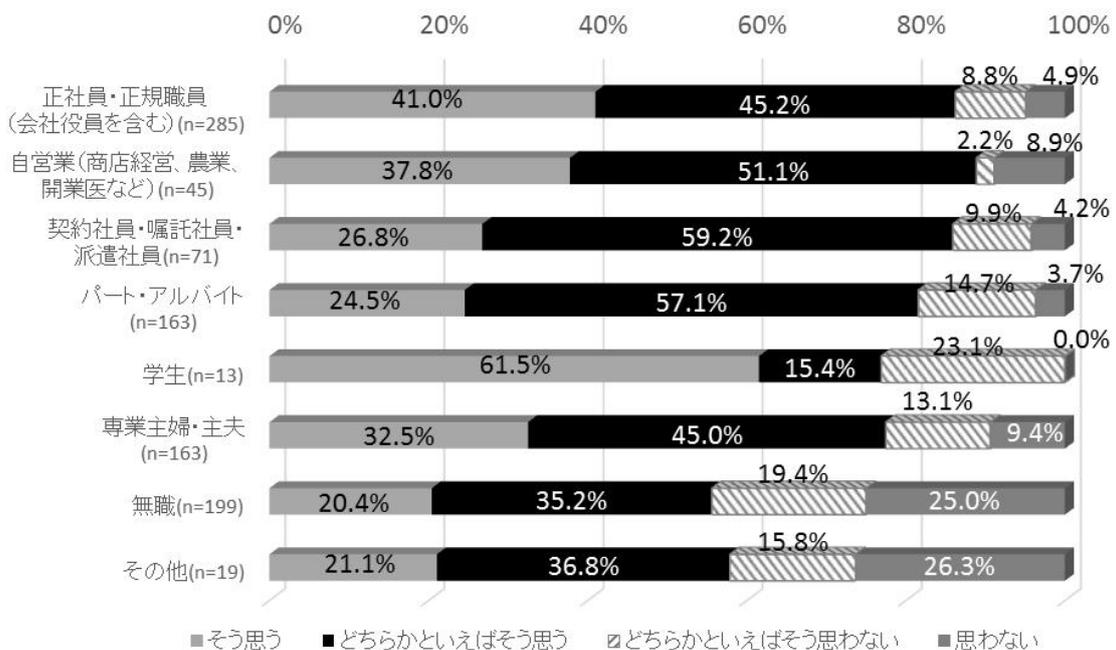


図 24. 自身の健康について（就業状況別）

■コメント

“無職”“その他”を除くと8割前後が一定の健康状態にあるようだ。“学生”を除くと“正社員・正規職員”と“自営業”がより健康と感じている。“無職”は55.6%の人が一定の健康を感じているが、他の就業状況に比べて割合が低くなっている。

運動の程度について

【1】就業状況別

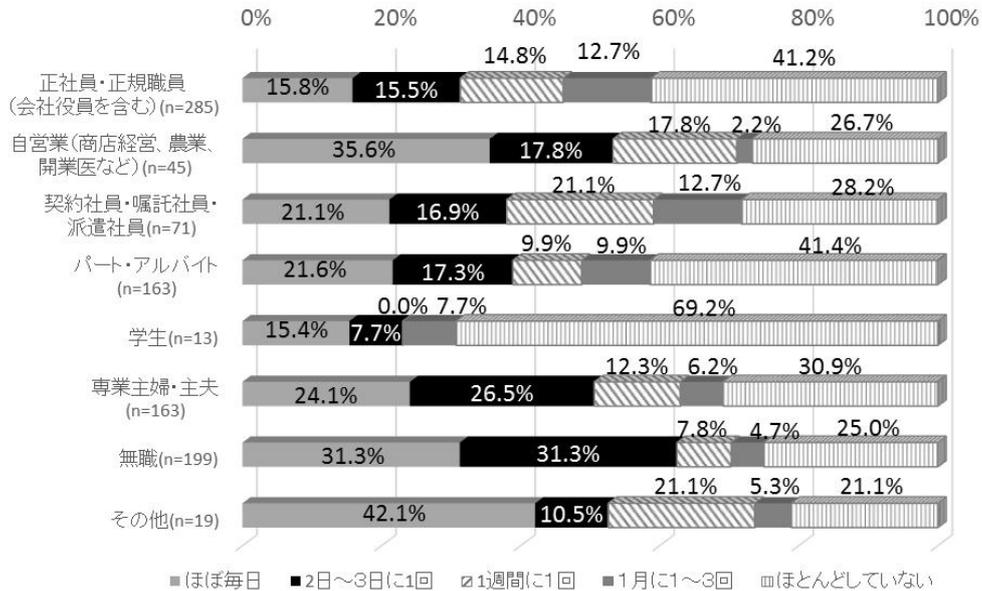


図 25. 運動の程度について (就業状況別)

過去1年間の健診の受診について

【1】就業状況別

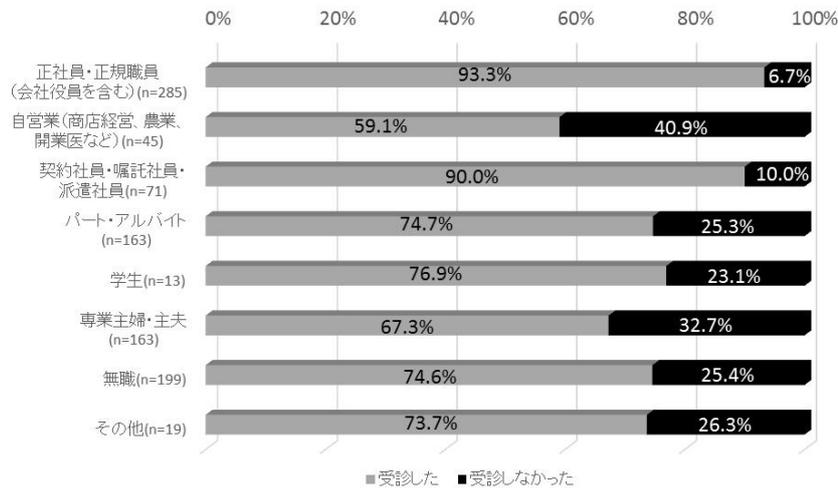


図 26. 過去1年間の健診の受診について (就業状況別)

■コメント

“正社員・正規職員”“派遣社員・嘱託社員”等の会社勤務の人は健康診断が義務付けられていることもあり、受診率が高かった。一方“自営業”や“専業主婦・主夫”は受診率が低く、周知が必要である。

受診しなかった理由について

【1】就業状況別

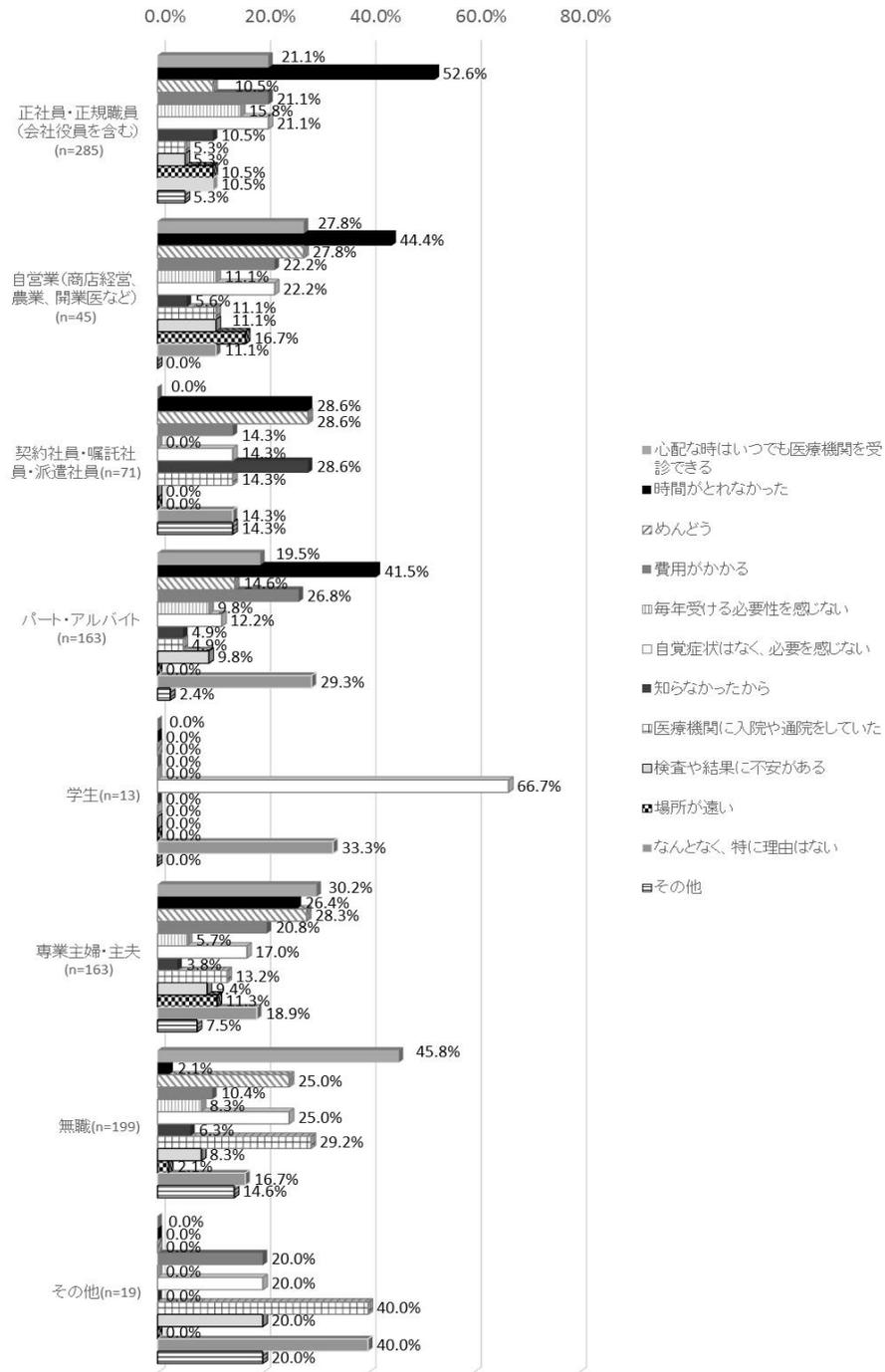


図 27. 受診しなかった理由について（就業状況別）

■コメント

受診率の低い“自営業”の人は“時間がとれなかった”が44.4%と最も高く、次いで“心配な時はいつでも医療機関を受診できる”と“めんどく”の割合が27.8%と同率で高かった。“専業主婦・主夫”は“心配な時はいつでも医療機関を受診できる”が30.2%と最も高く、次いで“めんどく”が28.3%と高かった。自覚症状のない病気のリスクもあるため、健康診断の受診意識を向上させる必要がある。

健診を受けるうえで必要なこと

【1】就業状況別

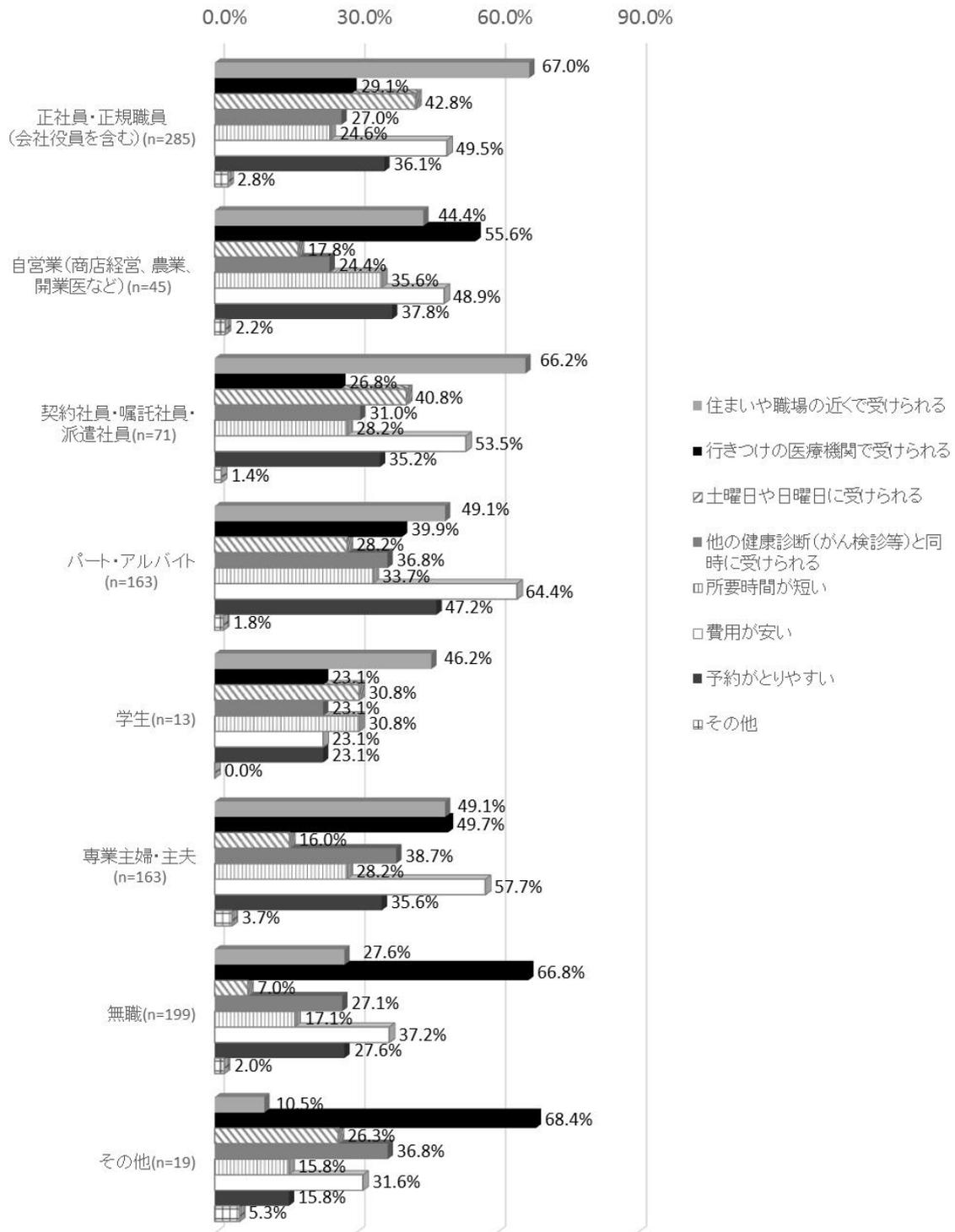


図 28. 健診を受けるうえで必要なこと (就業状況別)

■コメント

“自営業”の人は“行きつけの医療機関で受けられる”が55.6%と最も高く、次いで“費用が安い”が48.9%となった。“専業主婦・主夫”は“費用が安い”が57.7%と最も高く、次いで“行きつけの医療機関で受けられる”の49.7%であった。

健康行動への影響

【1】就業状況別

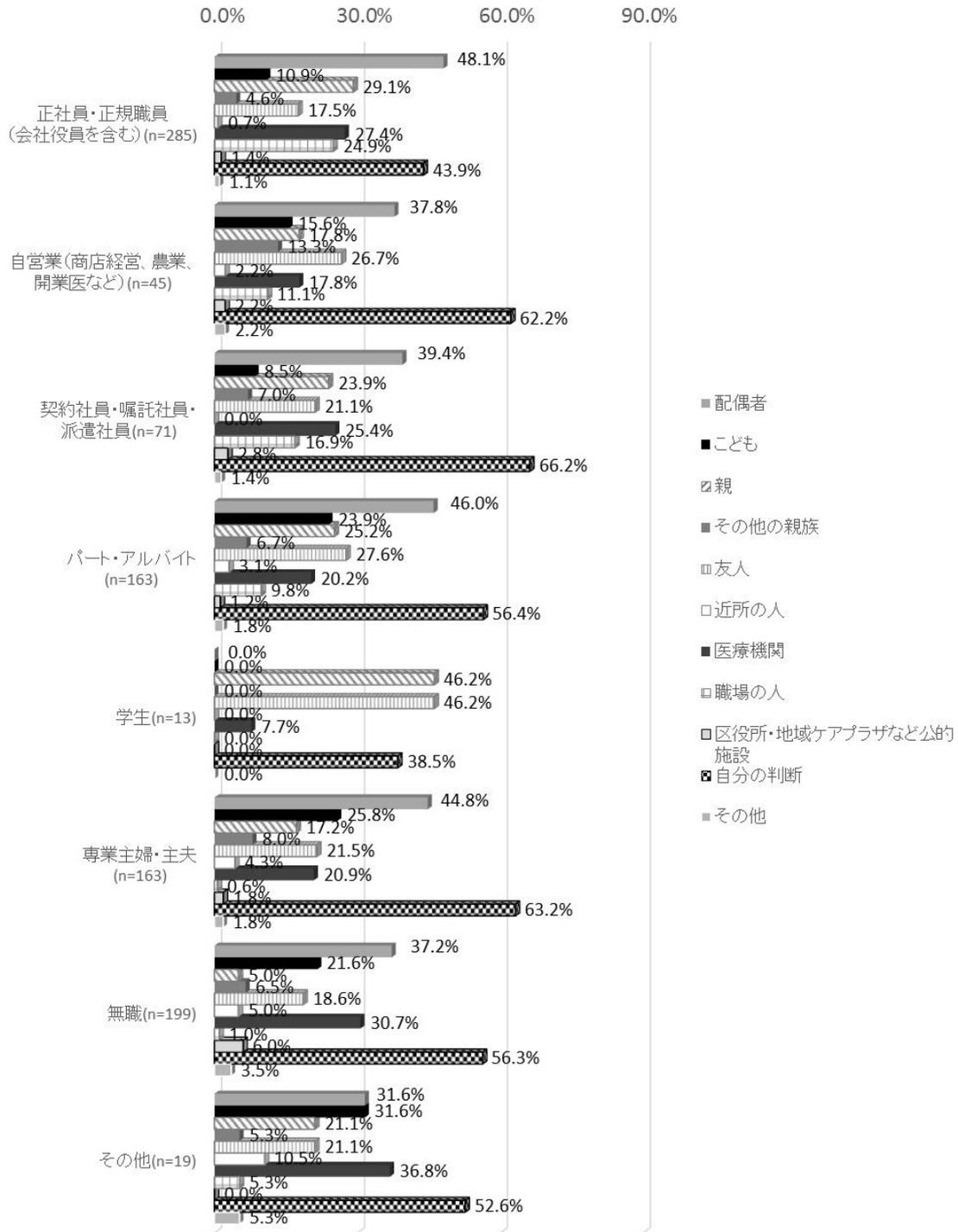


図 29. 健康行動への影響（就業状況別）

■コメント

“正社員・正規職員”は“配偶者”の割合が最も高く、“学生”は“親”と“友人”が同率で高い。他は全て“自分の判断”が最も高かった。自分自身を除くと家族からの助言の影響が大きいので、家庭内の声掛け促進が有効である。